

ライフデザイン総合学科通信教育課程

シラバス

2026年度



ワクワクにとらわれない、ワクワクを。

小田原短期大学 通信教育課程 ライフデザイン総合学科

通信教育課程		印刷教材	科目
ナンバリング	Lg2n201	ディプロマポリシー	DP1、DP2
経済学		履修年次	2前
		単 位	2
Economics		卒業要件	選択
		授業区分	教養科目
担当・シラバス執筆教員：市川 千尋/小祝 慶紀		授業形態	講義
		授業方法	印刷教材
【実務経験との関連性】 なし			
【授業の概要】 この講座では「生活」に関わる金融・経済にクローズアップし、生活者として欠かせない経済の基礎を学習する。社会に出るまでに身につけておきたい金融・経済の基礎知識を多様な領域から学ぶ内容となっている。学んだ先で生活に活かし行動を選んでいけることが目標で、広く金融・経済に興味を持ち、経済ニュースなどにも関心が向くよう事例を取り上げる。			
【授業の到達目標 及び テーマ】 ① 経済の仕組み、経済史、企業、貿易、金融、財政など、経済学の各分野の基礎知識を学ぶ。 ② 社会の構成員として福祉や労働、金融などの観点から主体的に経済を理解する素地を身に着ける。			
【成績評価】 科目修得試験により評価する。			
【教科書】 『ゼロからはじめる経済入門〔新版〕 経済学への招待』（2024 年 横浜国立大学経済学部 テキスト・プロジェクトチーム編・著 有斐閣） 【参考文献】 なし			
【アクティブラーニング】 【学習の手引き】における「より学びを深めるために」に主体的に取り組むこと。 【事前事後学習】 教科書の該当部分の読み込み、【学習の手引き】における「学習のポイント」の振り返りなど、予習や復習を行うこと。 【ICT の活用】 学習、科目修得試験は、すべてWEB 上で行う。			
[備考]			

授業計画

回	テーマ	学習内容
1	現代経済の仕組み—社会を形作る経済への接近	経済の基本概念とその役割を理解し、経済活動の仕組みとその影響、経済の主要な構成要素を学ぶ。
2	世界経済発展の軌跡—循環するグローバリズム	グローバリズムの歴史とその影響、世界経済の発展とその要因、グローバル経済の課題と展望を学ぶ。
3	生産性と経済成長—なぜ豊かな国と貧しい国があるのか？	生産性の概念とその重要性、経済成長のメカニズムを理解し、豊かな国と貧しい国の違いとその要因を学ぶ。
4	現代日本経済の形成—戦後日本経済史の視点から	戦後日本経済の発展とその背景を理解し、日本経済の特徴と課題、現代日本経済の展望を学ぶ。
5	企業と市場—企業の経済における役割とは何か	企業の基本概念とその役割、市場経済の仕組みと企業との関係、企業の経済活動とその影響を学ぶ。
6	国際貿易と外国投資—グローバル化の進展の中で	国際貿易の基本概念とその重要性、外国投資の役割とその影響を理解し、グローバル化の進展とその課題を学ぶ。
7	現代経済と金融—金融システムの安定に向けて	金融システムの基本概念とその役割を理解し、金融市場の仕組みとその影響、金融システムの安定化策を学ぶ。
8	労働市場と労働政策—働きがいのある人間らしい仕事へ	労働市場の基本概念とその役割、労働政策の現状と課題を学び、働きがいのある仕事の実現方法を理解する。
9	少子高齢化と社会政策—福祉をめぐる政策の特徴と課題	少子高齢化の現状とその影響、社会政策の基本概念とその役割を理解し、福祉政策の特徴とその課題を学ぶ。
10	社会保障の存在理由	社会保障の基本概念とその役割、社会保障制度の歴史とその発展、社会保障の課題とその解決策を学ぶ。
11	社会と財政—私たちの暮らしを支える政府の役割	財政の基本概念とその役割を理解し、政府の財政政策とその影響、財政健全化のための施策を学ぶ。
12	税制と福祉国家	税制の基本概念とその役割を理解し、福祉国家の特徴とその課題、税制改革の必要性とその方向性を学ぶ。
13	途上国の経済と社会—貧困の諸要因と経済的自立の可能性	途上国の経済状況とその課題、貧困の要因とその解決策、経済的自立のための施策を学ぶ。
14	環境と経済—持続可能な社会に向けて	環境問題の現状とその影響、持続可能な経済の概念とその重要性、環境保護と経済成長の両立策を学ぶ。
15	経済から経済学へ	これまでの学びを概観したうえで経済学の基本概念とその役割を振り返り、経済学の歴史とその発展、経済学の現代的課題とその展望を学ぶ。

通信教育課程		印刷教材	科目
ナンバリング	Lg1n202	ディプロマポリシー	DP1、DP2
心理学			履修年次
			1 後
Psychology			単 位
			2
担当・シラバス執筆教員：亀田佐知子			卒業要件
			選択
担当形態：単独			授業区分
			教養科目
			授業形態
			講義
			授業方法
			印刷教材
【実務経験との関連性】			
なし			
【授業の概要】			
大学で学ぶ心理学とは様々な事柄を研究テーマとして取り上げる「心の科学」であり、仮にその対象は何であっていてもあくまでも事実と証拠に基づくということが前提となっている。この授業では、なるべく自分の日常に照らし合わせ考えていけるように、自分がどのように物を見て考え、行動しているのかなど、普段の生活では当たり前になっていることを心理学の見地から考え、自分の視野を広げることを試みる。			
【授業の到達目標 及び テーマ】			
① 心のしくみや働きを理解する。脳科学、感覚・知覚、感情など生理学的な視点から学ぶ。			
② 学びのメカニズムを理解する。学習、記憶、思考などの学習心理学の視点から学ぶ。			
③ 自分の発達過程を辿り自己を理解し将来を考える。発達、性格心理学の視点から学ぶ。			
④ 人間関係で生じる問題の心のメカニズムを理解する。家族、社会、臨床心理学の視点から学ぶ。			
【成績評価】			
科目修得試験により評価する。			
【教科書】			
『実践につながる新しい教養の心理学』大浦賢治編 ミネルヴァ書房			
【参考文献】			
①下山晴彦他編 『誠信心理学辞典（新版）』 誠信書房			
②宮沢秀次・二宮克美他 『自分でできる心理学』 ナカニシヤ出版			
③無藤隆他編 『新版心理学』 有斐閣			
【アクティブラーニング】			
【学習の手引き】における「より学びを深めるために」に主体的に取り組むこと。			
【事前事後学習】			
教科書の該当部分の読み込み、【学習の手引き】における「学習のポイント」の振り返りなど、予習や復習を行うこと。			
【ICT の活用】			
学習、科目修得試験は、すべてWEB 上で行う。			
【備考】			

授業計画

回	テーマ	学習内容
1	心のしくみ・働きを知る	人間の心のしくみ・働きを知るために、感覚と知覚の特性について学んでいく。
2	感情の心理学	人の感情のメカニズムについて、青年期から老年期に至るまでのこころや体の変化を学び、自分の課題について考察する。
3	学習	学習することのメカニズムを学び、自然に学びを深める姿と学びたいという意欲との関係性から学びの本質を考えていく。
4	記憶	記憶することのメカニズムを学び、覚えること、忘れること、記憶が変化していくことを理解し、記憶方略を考えていく。
5	思うこと、考えること	思考するときに、私たちがハマりやすい、いくつかのパターンを紹介する。正しい思考とは何かを考えていく。
6	発達一幼児期から児童期にかけて	人間は周囲の環境、大人や友人などとの交流を通して成長する。発達の主なプロセス、発達理論、その応用について学んでいく。
7	青年期以降の心理的特徴	青年期から老年期にかけてのそれぞれのステージにおける課題を理解し、自分の現在、未来を発達の視点から学んでいく。
8	障害児・者の心理	障害の主な特徴、支援策について紹介するとともに、この社会ですべての人が共に生きていくためには何が必要か考えていく。
9	パーソナリティ	個人差をとらえる概念の1つにパーソナリティというものがある。パーソナリティはどのようにしてつくられるのか、どのように分類・測定できるのかなどについてみていく。
10	「家族」について考える	家族心理学とは何か、家族のライフサイクルとはどのようなものかを概観し、発達障害児と児童虐待の問題について、家族という視点から考える。
11	人間関係とこころ	日常の些細な出来事から「いじめ」のような社会問題まで、人のこころがどのように関与しているのか、その“こころのメカニズム”を理解する。
12	多文化理解と心理学	グローバル社会といわれている今日において、「外国語学習」「異文化理解」「多文化共生」について考える。
13	「悩み」を悩むこと・支えること	主に臨床心理学の視点から、「悩み」こと、「悩み」に対処することを学ぶ。
14	ポジティブ心理学	ポジティブ心理学ではウェルビーイングとパフォーマンスの向上を目指す。
15	キャリアの心理学	キャリアという概念の意味をはじめ、キャリアの発達、キャリアとの向き合い方に関連する考え方や理論を学ぶ。

通信教育課程		印刷教材	科目
ナンバリング	Lg2n203	ディプロマポリシー	DP1、DP2
文学			履修年次
			2後
Literature			単 位
			2
			卒業要件
			選択
担当・シラバス執筆教員：松本 亜由美			授業区分
			教養科目
担当形態：単独		授業形態	講義
		授業方法	印刷教材
【実務経験との関連性】 なし			
【授業の概要】 近現代の日本文学を分析的に読み、文学史や作家についての知識を得、社会人として生きる上で必要な読解力と文学的感性を養う。文学が時代や地域を超えて伝える人間性や感情の豊かさに触れ、自己や他者への理解を深める。テキストの読解を通して表現力の理解や批評的思考を養う。文学を通して現代社会における多様な文化に目を向け、自身の価値観や人生観を見つめることを目指す。			
【授業の到達目標 及び テーマ】 ①日本近代文学の大まかな流れについての知識を得る。 ②文学作品に親しむ読解力を身につける。 ③大衆文学を含め、文学に接する意義を学ぶ。			
【成績評価】 科目修得試験により評価する。			
【教科書】 『日本近代小説史 新装版』（2020 年 安藤宏著 中央公論新社） 【参考文献】 なし			
【アクティブラーニング】 【学習の手引き】 における「より学びを深めるために」に主体的に取り組むこと。 【事前事後学習】 教科書の該当部分の読み込み、 【学習の手引き】 における「学習のポイント」の振り返りなど、予習や復習を行うこと。 【ICT の活用】 学習、科目修得試験は、すべてWEB 上で行う。			
【備考】			

授業計画

回	テーマ	学習内容
1	近代文学とは	近代文学の概念や特徴、時代背景を学ぶ。
2	近代文学の諸相①「ロマン主義」の解釈と鑑賞	ロマン主義文学の特徴と代表作を学ぶ。
3	近代文学の諸相②「自然主義」の解釈と鑑賞	自然主義文学の思想や手法、代表作を学び、学ぶ。
4	近代文学の諸相③「反自然主義」の解釈と鑑賞	反自然主義文学の多様な表現を学ぶ。
5	近代文学の諸相④「プロレタリア文学」の解釈と鑑賞	プロレタリア文学の成立背景や社会的意義を学び、代表作を学ぶ。
6	近代文学の諸相⑤「新興芸術派」の解釈と鑑賞	芸術派文学の美的表現や文学的試みを学び、代表作を学ぶ。
7	近代文学の諸相⑥現代作家・作品の解釈と鑑賞	現代作家の作品を読み、近代文学の変遷を学ぶ。
8	近代文学における「自己」	近代文学における「自己」の表現とその変遷を学ぶ。代表作を学ぶ。
9	近代文学のテーマと表現	近代文学におけるテーマや表現技法や代表作の特徴を知る。
10	高度経済成長と文学の関係	高度経済成長が文学に与えた影響を考察する。代表作における時代の投影を学ぶ。
11	現代日本文学の課題	現代日本文学の課題と社会的背景を学ぶ。
12	大衆文学とは	大衆文学の定義や特徴、成立過程を学ぶ。
13	大衆文学の背景	大衆文学が生まれた背景とその文化的意義を考察する。代表作を学ぶ。
14	文学作品の批評と解釈	文学作品の批評と解釈の方法を学ぶ。代表作を取り上げ、批評例を学ぶ。
15	まとめと個人の価値観の再考	これまでの学びを概観し、文学を通じた価値観の再考を行う。

通信教育課程		印刷教材		科目	
ナンバリング	Lg2n204		ディプロマポリシー	DP1、 DP2	
日本国憲法				履修年次	2前
				単 位	2
Constitution of Japan				卒業要件	選択
				授業区分	教養科目
担当・シラバス執筆教員：伊奈川 秀和			担当形態：単独	授業形態	講義
				授業方法	印刷教材
【実務経験との関連性】 なし					
【授業の概要】 憲法の意義（立憲主義）や原理（基本的人権の尊重、平和主義、国民主権）を理解するとともに、そこで保障されている具体的な権利とその侵害や制約について事例に学び、憲法問題を知る。また、裁判所の判断基準や条理を知り、法律的なものの見方に触れる。					
【授業の到達目標 及び テーマ】 ① 憲法の意義や基本原理、基本的人権の具体的な内容について説明できる。 ② 教育現場の憲法問題に触れ、権利を保障するために何が必要かを考えることができる。 ③ 憲法の重要性、改正も含めた憲法の在り方に関して理解を深める。					
【成績評価】 科目修得試験により評価する。					
【教科書】 『いちばんやさしい憲法入門〔第6 版〕』（2022 年 初宿正典・高橋正俊・米沢広一・棟居快行著、有斐閣） 【参考文献】 なし					
【アクティブラーニング】 【学習の手引き】における「より学びを深めるために」に主体的に取り組むこと。 【事前事後学習】 教科書の該当部分の読み込み、【学習の手引き】における「学習のポイント」の振り返りなど、予習や復習を行うこと。 【ICT の活用】 学習、科目修得試験は、すべてWEB 上で行う。					
【備考】					

授業計画

回	テーマ	学習内容
1	個人の尊重と人一般の権利	日本国憲法の基本原理である個人の尊重と、その実現のための人権の保障について、その誕生や背景、前文の内容、種類（分類）について学ぶ。
2	人権の制約	日本国憲法の保障する基本的人権の限界、明文化されていない権利について学ぶ。
3	平等権	憲法の保障しようとする平等や禁止する差別について学ぶ。
4	思想・良心の自由、信教の自由	思想・良心の自由および信教の自由について学ぶ。
5	表現の自由	表現の自由が許される範囲と、限界について理解する。
6	学問の自由・教師の教授の自由	学問の自由の意味と教授の自由の範囲について学ぶ。
7	社会権	自由権とは対照的な性質をもつ社会権のうち生存権、労働基本権について学ぶ。
8	教育を受ける権利	教育を受ける権利の内容と保障のあり方について学ぶ。
9	経済的自由権	経済的自由にはどのような自由があるのか、またその規制の範囲について学ぶ。
10	人身の自由	奴隷・苦役からの自由、適正手続に関わる諸規定について理解する。
11	国民主権・参政権・請求権	国民主権の原理とそれを実現する参政権（選挙権）、人権が侵害された場合の救済学ぶ。
12	権力分立（1）立法権	立法、行政、司法による抑制と均衡の原理と、特に立法府（国会）の仕組みと役割について学ぶ。
13	権力分立（2）行政権・司法権	三権分立のうち、行政権と司法権についてそれを担う内閣・裁判所の仕組み、役割を学ぶ。
14	地方自治	地方自治の内容と実際の展開、教育における地方自治について学ぶ。
15	平和主義	平和主義の内容と自衛隊の派遣に関する解釈について学ぶ。

通信教育課程		印刷教材	科目
ナンバリング	Lg1n105	ディプロマポリシー	DP1、DP2
おだたん人間成長講座I			履修年次
			1 前
Odatan human growth course			単 位
			2
卒業要件			必修
			授業区分
教養科目			講義
			授業形態
担当・シラバス執筆教員：上野 奈初美			授業方法
			印刷教材
【実務経験との関連性】			
なし			
【授業の概要】			
建学の精神「女子を人として教育する、女性として教育する、国民として教育する」に基づいて設置された総合的な教養科目である。専門科目とあわせて学ぶことで、本学の3つの教育方針（自他ともに敬い愛する人・豊かな知性と感性あふれる人・健やかな家庭 社会を担う人）が達成されると確信する。芸能興行、居住地域の行事、美術展の開催等の年間予定を確認し、年間計画を立てること（授業計画の順番に行おうとすると展覧会等が終わっていることもあるので、必ずしも1～15 の順でなくてもよい）。			
【授業の到達目標 及び テーマ】			
① 建学の精神や教育理念を理解し、本学学生としての自覚を高める。			
② 日本の文化に触れ、教養を高める。			
③ 自己を見つめ、文化に親しみ、教養を高め続ける生活様式を自分のものにする。			
【成績評価】			
最終レポートにより評価する。			
【教科書】			
なし			
【参考文献】			
「学習の手引き」巻末資料、パンフレット、リーフレット等			
【アクティブラーニング】			
【学習の手引き】芸術や文化財の鑑賞に主体的に取り組むこと。			
【事前事後学習】			
教科書の該当部分の読み込み、【学習の手引き】における「学習のポイント」の振り返りなど、予習や復習を行うこと。			
【ICT の活用】			
学習、最終レポートは、すべてWEB 上で行う。			
【備考】			

授業計画

回	テーマ	学習内容
1	小田原短期大学について1	小田原短期大学について知り、建学の精神を理解する。 校歌の学びにつなげる。
2	小田原短期大学について2	建学の精神を知り、教育目標を理解する。 学生歌の意味を理解する。
3	美術鑑賞1（2の準備）	行きたい美術展や画廊を選び、鑑賞対象について調べる。
4	美術鑑賞2①	国内外の美術を鑑賞する。
5	美術鑑賞2②	4と同様
6	美術鑑賞3 (2の振り返り)	鑑賞した美術について1で調べたことと、鑑賞した感想を文章でまとめる。
7	読書	推薦図書を読み、要旨をまとめ、感想文を書く。
8	古典芸能（地域文化）鑑賞1（2の準備）	鑑賞する古典芸能（地域文化）などについて調べる。
9	古典芸能（地域文化）鑑賞2	日本の古典芸能（歌舞伎、文楽、能など）を鑑賞する。 または、自分の地元の祭りや舞踊、語り（地域文化）など鑑賞する。
10	9と同様	9と同様
11	古典芸能（地域文化）鑑賞3 (2の振り返り)	鑑賞した古典芸能（地域文化）などについて1で調べたことと鑑賞した感想を書く。
12	文化財鑑賞1	お寺や神社、建造物などを選び、見学対象について調べる。
13	文化財鑑賞2	選んだお寺や神社、建造物などを見学する。
14	13と同様	13と同様
15	文化財鑑賞3(2の振り返り) (総括)講座全体の振り返り	お寺や神社などについて1で調べたことと見学した感想を書く。全体の振り返りをする。

通信教育課程		印刷教材	科目
ナンバリング	Lg1n206	ディプロマポリシー	DP1、DP2
基礎学力演習			履修年次
			1 前
Basic Academic Training			単 位
			2
			卒業要件
			選択
担当・シラバス執筆教員：大浦 賢治			授業区分
			教養科目
担当形態：単独		授業形態	講義
		授業方法	印刷教材
【実務経験との関連性】 なし			
【授業の概要】 この科目における「基礎学力」とは、社会人として必要な基礎的な計算スキル、漢字や言葉を正しく遣えるスキルができることを指す。2 年間の学習の土台を養う機会になり、他の科目の学習の学びを深めることに繋がる。具体的な学習内容としては、小数・分数などの基本的な計算の仕方や漢字検定準2 級程度の漢字力、敬語や接続語などの適切な言葉の遣い方が中心となり、ドリル形式で学習を行う。			
【授業の到達目標 及び テーマ】 ① 漢字検定準2 級程度の漢字力を身につける。 ② 敬語など場面に合わせた適切な言葉の遣い方を身につける。 ③ 小数・分数の計算、整数の文章題ができる。小数・分数と百分率・歩合を相互に変換できる。			
【成績評価】 科目修得試験により評価する。			
【教科書】 『漢検 準2 級 過去問題集』（2023 年 日本漢字能力検定協会編 日本漢字能力検定協会） 『再挑戦! 大人のおさらい 計算ドリル』（2023 年 語研編集部編 語研） 適宜オリジナルテキストも利用する。 【参考文献】 なし			
【アクティブラーニング】 【学習の手引き】 における「より学びを深めるために」に主体的に取り組むこと。 【事前事後学習】 教科書の該当部分の読み込み、 【学習の手引き】 における「学習のポイント」の振り返りなど、予習や復習を行うこと。 【ICT の活用】 学習、科目修得試験は、すべてWEB 上で行う。			
【備考】			

授業計画

回	テーマ	学習内容
1	基礎学力の必要性	専門科目や2年時の教養科目でも基礎学力がベースとなり理解を深められることを知り、基礎学力の必要性を理解する。
2	基本の四則演算①（整数の計算）	整数の計算ルールを確認し、四則演算の基礎を練習する。本授業で学んだ四則演算が他の科目で活用できる事例を理解する。
3	基本の四則演算②（小数の計算）	小数の計算ルールを確認し、四則演算の基礎を練習する。本授業で学んだ四則演算が他の科目で活用できる事例を理解する。
4	基本の四則演算③（分数の計算）	分数の計算ルールを確認し、四則演算の基礎を徹底練習する。本授業で学んだ四則演算が他の科目で活用できる事例を理解する。
5	日常生活での計算（税率・割引・単位換算）	買い物や税計算に関する基礎知識を学び、実践的な計算力を高める。税率・単位互換が他の科目で活用できる事例を理解する。
6	生活の中で実践	これまで学んだ計算方法を活用し、日常生活で見受けられる事例などに見受けられる計算問題に挑戦する。
7	総まとめテスト	ドリルに収められた総まとめテストを使い、計算力を確認する。
8	漢字力強化①（漢字検定準2級レベルの読み書き）	漢字検定準2級レベルの読み書きを中心に学び、語彙力を向上させる。
9	漢字力強化②（熟語・同義語・反義語）	熟語の意味や使い方、同義語・反義語の適切な使い分けを学習する。
10	漢字力確認	漢字検定準2級レベルの過去問題を解き、現在の語彙力を確認する。
11	言葉の使い方①（敬語・尊敬語・謙譲語）	敬語の種類と適切な使い方を学び、社会人に必要な言葉遣いを身につける。
12	言葉の使い方②（接続語・適切な表現・直喩、隠喩）	文章の流れをスムーズにする接続語の役割や、適切な表現方法を学ぶ。たとえを示す表現方法として代表的な直喩と暗喩を理解する。
13	文章読解演習①	文章の内容を正確に読み取り、設問に答える読解力を強化する。
14	文章読解演習②	長文を正確に読み取り、主題・主張・根拠などを読み取り、要約する力を強化する。
15	計算力・語彙力の総まとめ	これまでの学習内容を復習し、計算力と語彙力を総合的に確認する。今後の学びに向け、本科目で気付いた自身の伸ばしていきたい力を復習する。

通信教育課程 メディア 科目			
ナンバリング	Lg1n207	ディプロマポリシー	DP1、DP2
学習法概論			履修年次
			1前
Introduction to learning methods			単 位
			2
担当・シラバス執筆教員：傳法谷 郁乃			卒業要件
			選択
担当形態：単独			授業区分
			教養科目
			授業形態
			講義
			授業方法
			メディア（オンデマンド）
【実務経験との関連性】 なし			
【授業の概要】 短期大学での学びを効果的に進めるための基本的な学習方法やスキルを習得することを目的とした科目である。高校までの学びとの違いを理解し、時間管理、ノートテイキングなど、具体的な学習方法を体系的に学ぶ。また、目標設定や振り返りを通じて、自己成長を促すための実践的なアプローチを学ぶ。主体的かつ能動的な学習姿勢を身につけ、卒業後の学びの発展やキャリア形成の基盤を築くことを目指す。			
【授業の到達目標 及び テーマ】 ①効率的なスケジュールを立てられるようになる。 ②文献検索や情報収集、情報の取舍選択の技術を理解する。 ③協働的な学びの方法と意義を理解する。 ④プレゼンテーションの進め方を理解する。			
【成績評価】 課題の結果（70％）と、視聴状況および最終課題の提出（30％）を踏まえ、総合的な観点で評価する。			
【教科書】 『知へのステップ 第5 版 ―大学生からのスタディ・スキルズ』（2019 学習技術研究会著 くろしお出版）			
【参考文献】 なし			
【アクティブラーニング】 各回の授業の指示に従い、積極的に取り組むこと。 【事前事後学習】 教科書・配布資料の該当部分の読み込み、各回で実施する確認テスト等の振り返りなど、予習や復習を行うこと。 【ICT の活用】 授業は全てWEB 上で行う。			
【備考】			

授業計画

回	テーマ	学習内容
1	高等教育機関での学び方	高校までのとの学び方の違い、短期大学で求められる学習スタイルを理解する。
2	大学で求められる学習スタイル	在学中の課外活動と学習のバランスをとるための望ましい大学生生活の送り方、社会人になってからも継続できる学習習慣を理解する。
3	目標設定と自己管理	適切な短期・長期目標の立て方、目標達成に向けた学習スケジュールの計画方法、習慣化に向けた時間管理の必要性を理解する。
4	時間管理の技術	効果的なスケジュール管理、優先順位のつけ方を学ぶ。
5	ノートテイキングの基本	効果的なノートの取り方、記録の整理方法を理解する。
6	情報収集と資料活用	図書館・データベースの活用、信頼できる情報の見極め方、引用方法を学ぶ。
7	アカデミックライティング入門	レポートの書き方、文章構成のポイントを理解する。
8	グループディスカッションの進め方	グループディスカッション時の、効果的な議論の方法、論理的思考力の向上について学ぶ。
9	プレゼンテーションの基礎	構成の立て方、スライド作成時の注意点、話し方の工夫を学ぶ。
10	批判的思考と問題解決	物事を多角的に考える力、問題解決のプロセスを理解する。
11	テスト対策と試験勉強の方法	効率的な復習、暗記のコツと活用できるツール、テスト対策を鑑みたスケジュールの立て方や取り組み方を理解する。
12	モチベーション管理と学習習慣	学習意欲を保つ方法、集中力を維持する工夫、学習の習慣化に向けた工夫について学ぶ。
13	フィードバックの活用	建設的なフィードバック方法を理解する。教員や仲間からの意見を前向きにとらえ、自らの糧にする捉え方を学ぶ。
14	主体的かつ能動的な学習姿勢	これまでの大学での学び方について自己評価を行い、自身の学習習慣の長所と改善点を把握する。今後の大学生活で主体的・能動的な学習姿勢を形成するために必要な習慣を理解する。
15	これからの学びに向けて	学んだことを踏まえ、今後の大学生活で主体的・能動的な学習姿勢を形成するために必要な習慣を計画する。

通信教育課程 メディア 科目			
ナンバリング	Lg1n208	ディプロマポリシー	DP1、DP2
文章構成法		履修年次	1前
		単 位	2
Sentence structure method		卒業要件	選択
		授業区分	教養科目
担当・シラバス執筆教員：傳法谷 郁乃		授業形態	講義
		授業方法	メディア（オンデマンド）
【実務経験との関連性】 なし			
【授業の概要】 短期大学の学びに必要なレポートや論文の基本的な書き方を通じて、社会で通用する文章作成能力の習得を目的とする科目である。論理的で説得力のある文章を書くための構成方法や、序論・本論・結論のバランスを考えた文章展開を中心に学習する。資料の調査や引用のルールも取り扱う。この科目を通じて、他の授業科目の課題に取り組む際の思考力・表現力を向上させることを目指す。			
【授業の到達目標 及び テーマ】 ① レポートや論文の特徴と基本的な構造を理解できるようになる。 ② レポートのアウトラインを把握し、主旨や主題を理解できる。 ③ 伝えたいことを明確にし、読み手を意識した構成を考えられる。 ④ 適切な言葉を選び、わかりやすい文章を書くことができる。 ⑤ 資料・文献を適切に要約・引用することができる。			
【成績評価】 課題の結果（70％）と、視聴状況および最終課題の提出（30％）を踏まえ、総合的な観点で評価する。			
【教科書】 『＜改訂版＞大学生のための論文・レポートの論理的な書き方』（渡邊淳子著、研究社、2024 年第4 刷） 【参考文献】 なし			
【アクティブラーニング】 各回の授業の指示に従い、積極的に取り組むこと。 【事前事後学習】 教科書・配布資料の該当部分の読み込み、各回で実施する確認テスト等の振り返りなど、予習や復習を行うこと。 【ICT の活用】 授業は全てWEB 上で行う			
【備考】			

授業計画

回	テーマ	学習内容
1	レポートを書こう① 文章構成の重要性	世の中にある様々な文章表現と比較し、レポートや論文の特徴を把握する。論理的に意見を伝えるための文章構成の重要性を理解する。
2	レポートを書こう② 文章表現の基礎	簡潔で明確な文章を書くための基本的な表現技術や見直し方法を学び、語彙を豊かにする方法を理解する。
3	レポートを書こう③ 論理的な文章とは？	論理的な文章の特徴や基本的な構造、アウトラインやキーワードを把握する姿勢を学ぶ。文章の展開の大枠を理解し、論理的思考の基礎を身につける。
4	レポートを書こう④ 論文の基本構成	論文の基本的な構成（序論・本論・結論）を理解し、各論のバランスや展開方法を学ぶ。
5	「わかりやすい文」を書くー読む人を意識して書く	ターゲットとなる読者を意識し、説得力のある論理展開や表現の工夫を学ぶ。
6	何を書くかーテーマ設定の仕方を学ぶ	前回の授業での学習内容を踏まえ、実際に論文などの文章の構成を簡単に分析し、構造を改めて確認してみる。レポートや論文全体を貫くテーマを設定し、論理的なアウトラインを構成する技術を学ぶ。
7	テーマを設定する	最終課題のテーマを決める。
8	アウトラインをつくるー論理的な議論の方法	論理的な議論の進め方や反論への対応方法について学び、文章に応用する。
9	文献・資料を引用する① 資料の調査方法	論文等が自身の責任のもと作成された著作であることを理解する。著作での主張に責任を持てるよう、信頼できる資料を利用する重要性やその探し方を理解し、文献・データ収集方法を学ぶ。
10	文献・資料を引用する② 引用と参考文献	調査するなかで触れる文献・データもまた他者の著作であることを理解し、論文作成における著作権の適切な利用法（適切な引用方法や参考文献の書き方）の基本と注意点を学ぶ。
11	本論の展開	実際の論文を事例として参照し、論理的な主張を組み立てる方法を学ぶ。理論展開においては適切な論拠を用い、過度にならない適切な表現を選択して文章を作成する必要性を理解する。
12	序論と結論を書く① 結論のまとめ方	結論の機能を理解し、論点と理論展開をおさえながら結論付けるという手法を理解し、読者に主張が伝わるような表現方法を学ぶ。
13	序論と結論を書く② 序論の書き方	序論の機能を理解する。序論以降、本論・結論を通して展開した主張が読み手に伝わるよう、読み手の関心を引き問題に対する観点が論文とそろそろような効果的な書き出しの方法を学ぶ。
14	レポートを仕上げるー文章の推敲と修正	わかりづらい文章を事例として取り上げ、分かりづらい要因と改善方法を検討する。翻って自身の作成した文章を客観的に見直し、より分かりやすい表現に修正する技術を学ぶ。
15	要約して取り込むープレゼンテーション	論文やレポートの内容を的確に伝えるためのプレゼンテーションの必要性和、プレゼンテーションの適切な構成方法を理解する。

通信教育課程		印刷教材	科目
ナンバリング	Lg1n209	ディプロマポリシー	DP1、DP2
情報リテラシー			履修年次
			1 後
Information literacy			単 位
			2
			卒業要件
			選択
担当・シラバス執筆教員：木村 俊一			授業区分
			教養科目
担当形態：単独			授業形態
			講義
			授業方法
			印刷教材
【実務経験との関連性】 なし			
【授業の概要】 この科目では、情報社会における適切なリテラシーを習得し、生活や学習、仕事に活かせる実践力を高めることを目指す。インターネットや SNS、デジタルメディアなど、日常的に使用する情報源の特性を理解し、フェイク情報に惑わされず、正確で信頼性のある情報を見極める力を養い、情報検索の基本的な方法やデータの整理・分析についても学習する。			
【授業の到達目標 及び テーマ】 ① 情報技術の基礎知識を持つ。 ② インターネット上での情報発信・受信における情報倫理を理解する。 ③ 最新の情報技術とその活用事例の基本的知識を有し、感度高く世の中の変化に対応できる素地を身に付ける。			
【成績評価】 科目修得試験により評価する。			
【教科書】 『デジタル情報の活用と技術』（2017 年 毒島雄二・小林貴之・田中絵里子著、共立出版）			
【参考文献】 なし			
【アクティブラーニング】 【学習の手引き】における「より学びを深めるために」に主体的に取り組むこと。 【事前事後学習】 教科書の該当部分の読み込み、【学習の手引き】における「学習のポイント」の振り返りなど、予習や復習を行うこと。 【ICT の活用】 学習、科目修得試験は、すべてWEB 上で行う			
【備考】			

授業計画

回	テーマ	学習内容
1	情報とネットワーク社会	現代社会におけるコンピュータの役割、情報システム、社会基盤とネットワークについて学ぶ。最新テクノロジーと社会の変化について理解する。
2	コンピュータの基礎	コンピュータの歴史、5大要素、CPU、メモリ、デバイス、外部記憶装置の関連性を学ぶ。情報の単位、OS、ファイル構造、クラウドについて学ぶ。
3	インターネットとWWW	ネットワークおよびWWWの基礎、情報検索の基礎知識について学ぶ。
4	社会におけるデータ・AIの活用とリスク	社会におけるAIの活用事例と、AI利用におけるリスクを学ぶ。また、SNSを含めた偽情報・誤情報・フェイクニュースの拡散のメカニズムや判断方法を学ぶ。
5	情報セキュリティとコンプライアンス①	情報セキュリティにおける多様なリスクや攻撃について事例とともに学ぶ。
6	情報セキュリティとコンプライアンス②	情報倫理とコンプライアンス（著作権、ネットワーク犯罪、被害に遭ったときの自衛手段）について学ぶ。
7	Windows入門	学習において利用するWindowsの基礎、Officeの基礎、各種機能について学ぶ。
8	情報の編集①：デジタル文書作成の基礎	文書作成時に利用するワープロソフトの基礎、書式設定等を学ぶ。
9	情報の編集②：デジタル文書作成応用	文書作成時に利用するワープロソフトを用いた応用例を学ぶ。
10	情報の分析①：データ整理と集計の基礎	データ整理・集計時に利用する表計算ソフトの基礎、データシートの作成について学ぶ。
11	情報の分析②：データ整理と集計の応用	データ整理・集計時に利用する表計算ソフトの関数、データ整理の際のグラフの作成と編集等について学ぶ。
12	情報の提示と発信①	発表時に利用するプレゼンテーションの基礎、スライドの作成について学ぶ。
13	情報の提示と発信②	発表時に利用するプレゼンテーションのアニメーション、スライドショーの設定方法等について学ぶ。
14	電子メール	電子メールの基礎、設定方法、利用方法について学ぶ。
15	プログラミング	プログラミング言語の機能と種類、アルゴリズム、フローチャートの概念を学ぶ。

通信教育課程		印刷教材	科目
ナンバリング	Lg1n210	ディプロマポリシー	DP1、DP2
栄養学入門			履修年次
			1 後
Introduction to nutrition			単 位
			2
			卒業要件
			選択
担当・シラバス執筆教員：星 玲奈			授業区分
			教養科目
担当形態：単独		授業形態	講義
		授業方法	印刷教材
【実務経験との関連性】 なし			
【授業の概要】 健康的な生活を支えるための基礎知識として、栄養と健康の関係を学ぶ科目である。食生活の意義、栄養の基礎知識、人間の発育・発達と食生活の関連、食育の基本など、主体的に選択していく社会人として必要な基礎的内容を学ぶ。さらに、現代の食環境や食文化の多様性、食物アレルギーや障害など特別な配慮を要する場合の食と栄養についても学び、個々の生活に適した食習慣をデザインする力を養うことを目指す。			
【授業の到達目標 及び テーマ】 ① 健康な生活の基本としての食生活の意義や栄養に関する基本的知識を習得する。 ② 人間の発育・発達と食生活の関連について理解する。 ③ 現代における食生活の現状と課題について理解する。 ④ 関連するガイドラインや近年のデータ等を踏まえ、特別な配慮を要する場合の食と栄養について理解する。			
【成績評価】 科目修得試験により評価する。			
【教科書】 『栄養科学イラストレイテッド基礎栄養学 第5版』（2025 年 田地陽一編 羊土社）（2025 年 濱口郁枝・富田圭子・小野真実編 講談社） 【参考文献】 【参考文献】 なし			
【アクティブラーニング】 【学習の手引き】 における「より学びを深めるために」に主体的に取り組むこと。 【事前事後学習】 教科書の該当部分の読み込み、 【学習の手引き】 における「学習のポイント」の振り返りなど、予習や復習を行うこと。 【ICT の活用】 学習、科目修得試験は、すべてWEB 上で行う。			
【備考】			

授業計画

回	テーマ	学習内容
1	イントロダクション：栄養学の意義	栄養学の定義と基本概念、栄養の重要性とその影響を学び、現代社会における栄養学の役割を理解する。メタボリックシンドロームの診断基準について知る。
2	食生活の意義と健康	摂食調整の仕組みと夜食や朝食欠食のリスクを学び、規則正しい食生活と健康との関連性を理解する。食育基本法の概要を学び、食育の重要性と第4次食育推進基本計画の内容を理解する。
3	消化・吸収の仕組み（消化器系の構造と機能）	消化器系の構造と機能を学び、各消化器の役割と消化・吸収の概要を理解する。嚥下障害の症状と危険性について学び、加齢に伴う嚥下機能の変化を理解する。
4	消化・吸収の仕組み（栄養素の消化・吸収）	各栄養素の消化・吸収を学び、各栄養素の体内動態と消化吸収率について理解する。
5	炭水化物の栄養	炭水化物の概要、糖質・食物繊維の分類とはたらき、血糖値調整の仕組みを学び、炭水化物の栄養学的役割を理解する。糖尿病の発症と治療法について学び、1型糖尿病と2型糖尿病の違いを理解する。
6	脂質の栄養（分類と性質）	脂質の分類と性質ならびに脂肪酸の種類と性質について学び、それぞれの役割や特徴を理解する。
7	脂質の栄養（輸送と代謝）	脂質の輸送、代謝と脂質異常症について学び、脂質の栄養学的役割と生活習慣病との関連を理解する。日本の食環境の変化と日本型食生活について学び、多様化する食環境と健康との関連を理解する。
8	たんぱく質の栄養（構造と機能）	たんぱく質の構造と機能、合成と分解について学ぶ。食物アレルギーの基礎を学び、食物アレルギー表示と食物アレルギー対応の食事管理方法の基本を理解する。
9	たんぱく質の栄養（代謝と栄養価）	たんぱく質の代謝について学び、たんぱく質の栄養価の評価方法を理解する。筋力や運動機能の低下に関する健康問題について学び、食事や運動と健康との関連を理解する。
10	ビタミンの栄養（脂溶性ビタミン）	脂溶性ビタミンの分類と機能について学び、脂溶性ビタミンの栄養学的役割と主な欠乏症・過剰症について理解する。
11	ビタミンの栄養（水溶性ビタミン）	水溶性ビタミンの分類と機能について学び、水溶性ビタミンの栄養学的役割と主な欠乏症・過剰症について理解する。
12	ミネラルの栄養	ミネラルの分類と機能について学び、ミネラルの栄養学的役割と主な欠乏症・過剰症について理解する。
13	水と電解質の役割・食生活指針	水と電解質の生体内での分布や浸透圧の調整機能について学び、水と電解質の栄養学的役割を理解する。食生活指針の目的と内容、日本と世界の食文化について知り、健康的で文化的な食生活を送るための基本を理解する。
14	エネルギー代謝	エネルギー代謝の概要と身体活動によるエネルギー消費について学び、エネルギー消費量に影響を与える要因について理解する。健康づくりのための身体活動・運動ガイドについて学び、健康と運動習慣との関連を理解する。
15	日本人の食事摂取基準・食事バランスガイド・まとめと個々の生活に適した食習慣のデザイン	日本人の食事摂取基準の概要を学び、適切な利用方法を理解する。食事バランスガイドの目的と活用方法を学び、健康的な食事の組み立て方を理解する。これまでの学びを概観し、個々の生活に適した健康的な食習慣のデザインについて考えをまとめる。

通信教育課程		印刷教材	科目
ナンバリング	Lg1n111	ディプロマポリシー	DP1、DP2
英語		履修年次	1前
		単 位	2
English		卒業要件	必修
		授業区分	教養科目
担当・シラバス執筆教員：間野 百子		授業形態	講義
		授業方法	印刷教材
【実務経験との関連性】 中学校・高等学校にて英語教諭として勤務。			
【授業の概要】 海外での旅行をテーマにした教材を使って、英語の基礎的なコミュニケーション能力を高める科目。扱う海外での場面の英会話を、音声教材とテキストを使って学ぶ。授業は、1回1・2場面の速さで進む予定。毎回の授業では、最初に音声を聞きながら英語をリスニングし、次にそれをテキストに書き込む。その後再び音声を聞きながら、発音・イントネーション・速さの点で自然な英語が身につくよう練習をする。			
【授業の到達目標 及び テーマ】 ① 英語での基本的なコミュニケーション能力を養える。 ② 音声教材でのリスニングと口頭練習に集中し、英語の音・速さ・リズムに慣れる。 ③ 理念・理解 テキストの各章にある基本単語・熟語・会話文を確実に身につける。			
【成績評価】 科目修得試験により評価する。			
【教科書】 『Passport 1』Oxford 【参考文献】 なし			
【アクティブラーニング】 【学習の手引き】 における「より学びを深めるために」に主体的に取り組むこと。 【事前事後学習】 教科書の該当部分の読み込み、 【学習の手引き】 における「学習のポイント」の振り返りなど、予習や復習を行うこと。 【ICT の活用】 学習、科目修得試験は、すべてWEB 上で行う。			
【備考】			

授業計画

回	テーマ	学習内容
1	導入：短期大学で学ぶ英語	自己紹介・初対面の挨拶を学ぶ。
2	フライト状況	Chapter 1: Would you like chicken or fish? Chapter 2: Can I have your passport please? (フライト状況について学ぶ)
3	紹介	Chapter 3: My mother has her own business. (家族の紹介について学ぶ)
4	メールのチェック	Chapter 4: Can I check my email? (メールのチェック)
5	レストラン	Chapter 5: Are you ready to order? (注文について学ぶ)
6	道案内 銀行	Chapter 6: Where's the station? (道案内について学ぶ) Chapter 7: Can I use my card in this ATM? (銀行について学ぶ)
7	ホテル 薬局	Chapter 8: Do you have a non-smoking room? (ホテルについて学ぶ) Chapter 9: I have a stomachache. (薬局について学ぶ)
8	ふるさと	Chapter 10: I'm from Japan. (ふるさとについて学ぶ)
9	ツアー 体験	Chapter 11: What time does it start? (ツアーについて学ぶ) Chapter 12: Have you been to the islands? (経験について学ぶ)
10	趣味 待ち合わせ	Chapter 13: I really like rugby. (趣味について学ぶ) Chapter 14: Where should we meet?
11	露天商での買い物 (タイ)	Chapter 15: How about 400 baht for two?
12	郵便局	Chapter 16: I'd like to send this to Japan, please. (郵便局について学ぶ)
13	旅のアドバイス 紛失物	Chapter 17: We're staying five more days. Chapter 18: I lost my bag!
14	バスの乗り方	Chapter 19: Which bus goes to the airport? (バスの乗り方について学ぶ)
15	旅の話	Chapter 20: What did you like the best? (旅の話について学ぶ)

通信教育課程 メディア 科目			
ナンバリング	Lg2n212	ディプロマポリシー	DP1、 DP2
英会話		履修年次	2前
		単 位	2
English conversation		卒業要件	選択
		授業区分	教養科目
担当・シラバス執筆教員：間野 百子	担当形態：単独	授業形態	講義
		授業方法	メディア（オンデマンド）
【実務経験との関連性】 中学校・高等学校にて英語教諭として勤務。			
【授業の概要】 学生のspeaking とlistening の強化を目指す科目。海外でのホームステイをテーマにした教材を使って、英語の基礎的なコミュニケーション能力を高めることを狙う。海外でのホームステイで15場面の英会話を、音声教材とテキストを使って学ぶ。授業では最初に音声教材を聞きながら英語をリスニングし、次にそれをテキストに書きこむ。その後再び音声教材を聞きながら、発音・イントネーション・速さの点で自然な英語が身につくよう練習する。			
【授業の到達目標 及び テーマ】 ①英語での基本的なコミュニケーション能力を高める。 ②音声教材でのリスニングと口頭練習に集中し、英語の音・速さ・リズムに慣れる。 ③テキストの各章にある基本単語・熟語・会話文を確実に身につける。海外でのホームステイの基礎知識を身につけ、さらに他国の文化や人々への理解を深める。			
【成績評価】 課題の結果（70％）と、視聴状況および最終課題の提出（30％）を踏まえ、総合的な観点で評価する。			
【教科書】 『Passport 2』Oxford			
【参考文献】 なし			
【アクティブラーニング】 各回の授業の指示に従い、積極的に取り組むこと。			
【事前事後学習】 教科書・配布資料の該当部分の読み込み、各回で実施する確認テスト等の振り返りなど、予習や復習を行うこと。			
【ICT の活用】 授業は全てWEB 上で行う。			
【備考】			

授業計画

回	テーマ	学習内容
1	授業ガイダンス、初対面の挨拶	スピーキング・リスニングのスキルを伸ばすコツやボキャブラリーの増やし方を学ぶ。初対面の挨拶を復習する。
2	旅のスタート	Chapter 1: What's the purpose of your visit? Chapter 2: How much is it? (フライト状況・買い物)
3	電車の乗り方	Chapter 3: When is the next train to Xi'an (電車の乗り方)
4	ホテル	Chapter 4: The TV is broken. (ホテルについて学ぶ)
5	観光	Chapter 5: What is there to see? (観光について学ぶ)
6	レンタル 紹介	Chapter 6: I'd like to rent a snowboard please. (レンタルの仕方について学ぶ) Chapter 7: Tell me about your country. (紹介について学ぶ)
7	会話	Chapter 8: How was your weekend? (週末について語る)
8	ケガ	Chapter 9: Does it hurt? (ケガをした時について学ぶ)
9	カフェ	Chapter 10: I'd like a cup of coffee please. (カフェで注文の仕方について学ぶ)
10	ツアー	Chapter 11: Would you like to visit the Temple of Heaven? (ツアーについて学ぶ)
11	PC	Chapter 12: I want to send an attachment. (PC について学ぶ)
12	食事	Chapter 13: I'd like a chicken sandwich, please. (食事について学ぶ)
13	道案内	Chapter 14: Go straight along this road. (道案内について学ぶ)
14	助けてもらう	Chapter 16: Excuse me. Can you help us? (助けてもらう方法について学ぶ)
15	帰り道	Chapter 19: Did you pack this bag yourself? Chapter 20: Are you going snowboarding again? (旅のかえり道の話について学ぶ)

通信教育課程		印刷教材	科目
ナンバリング	Lg1n213	ディプロマポリシー	DP1、DP2
健康・スポーツ理論		履修年次	1 前
		単 位	1
Health/Sports Theory		卒業要件	選択
		授業区分	教養科目
担当・シラバス執筆教員：中山貴太		授業形態	講義
		授業方法	印刷教材
【実務経験との関連性】 なし			
【授業の概要】 健康・スポーツとは、大きく分けると運動生理学やスポーツバイオメカニクス、筋パワーなどスポーツ科学的視点、スポーツ外科やリハビリテーションなどのメディカル的視点に分けることができる。本科目ではスポーツ科学やメディカルの側面を学びつつも健康に重点を置き、その中で、からだ、運動・スポーツがそれぞれ健康にどのように関連しているか知る。また、健康生活を営むために運動・スポーツを実施する際の留意点や年齢に応じた内容など総合的に学ぶ。			
【授業の到達目標 及び テーマ】 ① 健康と運動の関連を理解する。 ② 運動とからだの関連を理解する。 ③ 健康に関連する社会環境を理解する。			
【成績評価】 科目修得試験により評価する。			
【教科書】 安部孝・琉子友男『これからの健康とスポーツの科学』第5 版 講談社 【参考文献】 なし			
【アクティブラーニング】 【学習の手引き】 における「より学びを深めるために」に主体的に取り組むこと。 【事前事後学習】 教科書の該当部分の読み込み、 【学習の手引き】 における「学習のポイント」の振り返りなど、予習や復習を行うこと。 【ICT の活用】 学習、科目修得試験は、すべてWEB 上で行う。			
【備考】			

授業計画

回	テーマ	学習内容
1	ライフスタイルと健康	本授業の学修の進め方を理解する。健康を増進するためのライフスタイルを医療費や環境など社会的側面を含め総合的な視点で学ぶ。
2	生活習慣病について	生活習慣病や三大死因などの原因や特徴、基礎的知識の獲得。それらと運動との関連について学ぶ。
3	肥満について	肥満の原因となる体脂肪の役割や肥満の測定方法などを学び、改善策として代謝や運動、食事との関連について学ぶ。
4	骨と運動	骨の役割と構造を理解し、骨の強化や骨の発達に応じた運動について学ぶ。
5	加齢について	サルコペニアが引き起こす身体問題や運動の重要性について学ぶ。
6	子どもの体力と運動	現在の子どもを取り巻くスポーツ・運動の環境について学ぶ。
7	いろいろな環境下で安全に運動を行う	いろいろな環境下で安全に運動を行う際の留意点を理解し、パフォーマンスとの関連を学ぶ。
8	ストレスと運動	運動がストレスをはじめ、心や脳に与える影響、効果や働きかけについて学ぶ。

通信教育課程		印刷教材		科目	
ナンバリング	Lg1n114	ディプロマポリシー	DP1、 DP2、 DP3		
ライフデザイン学			履修年次	1 前	
			単 位	2	
Life design studies			卒業要件	必修	
			授業区分	教養科目	
担当・シラバス執筆教員：間野 百子/伊奈川 秀和		担当形態：複数	授業形態	講義	
			授業方法	印刷教材	
【実務経験との関連性】 なし					
【授業の概要】 ライフデザイン総合学科のコア科目として、自身の人生設計を中心にキャリア形成等について主体的に考える力を養う科目である。人生の各段階で直面する課題を整理し、自己理解を深めながら目標設定や意思決定のプロセスを学んでいく。現代社会の多様な価値観や働き方、家庭や地域との関わり方を考察し、自分らしい生き方をデザインする視点や他者と協働する姿勢を培うことを目的とする。					
【授業の到達目標 及び テーマ】 ① ライフデザインの基本概念を理解し、自分自身の人生設計を考えることができる。 ② キャリア形成や意思決定のプロセスを理解する。 ③ 多様な価値観や働き方を理解し、他者と協働しながら主体的に生きる力を身につける。					
【成績評価】 科目修得試験により評価する。					
【教科書】 『総説 ライフデザイン学』（2021 年 宮田安彦著 電気書院） 【参考文献】 なし					
【アクティブラーニング】 【学習の手引き】における「より学びを深めるために」に主体的に取り組むこと。 【事前事後学習】 教科書の該当部分の読み込み、【学習の手引き】における「学習のポイント」の振り返りなど、予習や復習を行うこと。 【ICT の活用】 学習、科目修得試験は、すべてWEB 上で行う。					
【備考】					

授業計画

回	テーマ	学習内容
1	ライフデザインとは何か	ライフデザインの基本概念とその重要性を理解し、自己理解と自己分析の方法、ライフデザインの具体的な事例を学ぶ。
2	個人の発達と家族のライフサイクル、人生の転機と通過儀礼	家族のライフサイクル、また社会（家庭や地域を含む）全体の変化（テクノロジーや経済活動・消費活動）が個人に与える影響を学ぶ。
3	時間の意識	自身の生活が個人の一生を越え、後世に影響しうることを、事例を通して学ぶ。空間・時間の広がりを持つライフデザインの観点を学ぶ。
4	資本主義社会	資本主義社会の基本概念とその特徴、消費社会の現状とその影響、資本主義と消費社会の課題について学ぶ。
5	貨幣とグローバル化	貨幣の基本概念とその役割を理解し、グローバル化の進展とその影響、グローバル経済の課題を学ぶ。
6	消費社会	消費社会の現状とその影響、消費社会の課題について学ぶ。
7	科学技術と情報社会	科学技術の発展とその影響、情報社会の特徴と課題を学ぶ。
8	文化的豊かさのためにー生活文化の継承・創造と享受	生活文化の基本概念、文化的豊かさの継承の課題を学ぶ。
9	社会的豊かさのためにーコミュニティの再構築	コミュニティの基本概念と役割を理解し、コミュニティの再構築における課題、コミュニティにおける協働の役割、コミュニティ活動の事例を学ぶ。
10	自然的豊かさのためにー自然の価値の認識とその保全・保護	自然の価値とその基本概念を理解し、保全保護における課題について学ぶ。
11	内面的豊かさのためにー生きがいと生きる意味の獲得	生きがいの基本概念、他者と関わることで見いだせる生きがいについて知り、内面的豊かさの考え方を学ぶ。
12	モノ・場所・景観 総合的な豊かさの媒体	モノ、場所、景観の価値の捉え方を知り、総合的な豊かさの考え方、モノ・場所・景観の価値を高める方法について学ぶ。
13	多様性と社会的包摂の関係、社会的包摂のための法制と政策	多様性と包摂の相互作用、協働による包摂社会の実現に関係する法制と政策を学ぶ。国内外のインクルーシブ政策を比較し、日本の社会保障等の制度の現状について学ぶ。
14	地域社会におけるインクルーシブな取り組み	多様性と包摂の相互作用、協働による包摂社会の実現に関する実践事例について学ぶ。インクルーシブなまちづくり・コミュニティづくりの事例を知り、地域社会における多様性の受け入れについて学ぶ。
15	ライフデザインの実践に向けて	これまでの学びを振り返り、ライフデザインに必要な考え方を整理する。

通信教育課程		印刷教材	科目
ナンバリング	Lg1n115	ディプロマポリシー	DP1、DP2、DP3
生活経営論		履修年次	1 前
		単 位	2
Family Resource Management		卒業要件	必修
		授業区分	教養科目
担当・シラバス執筆教員：市川 千尋/小祝 慶紀/ 沢田 史子/間野 百子/入門 貴男/傳法谷 郁乃/伊藤 敏孝/伊奈川 秀和		授業形態	講義
		授業方法	印刷教材
【実務経験との関連性】 なし			
【授業の概要】 豊かな人生を送るために必要な「生活経営」の知識を学ぶ。単なる家計管理にとどまらず、身の回りのあらゆる「資源」を最大限に活用し、主体的に生活をデザインする視点を養う。情報、地域社会、家族、仕事、福祉、消費など多岐にわたるテーマを通して、変化の激しい現代社会において、持続可能な生活を築くための知識と実践的な考え方を習得することを狙いとする。			
【授業の到達目標 及び テーマ】 ① 生活を構成する多様な資源（環境、情報、人、社会関係、家計など）を理解する。 ② 社会の仕組み（福祉、消費、労働など）と生活との関連性を理解する。 ③ 持続可能な社会の実現に向けた生活者の役割を理解する。			
【成績評価】 科目修得試験により評価する。			
【教科書】 『持続可能な社会をつくる生活経営学』（2020 年 日本家政学会生活経営学部会（著） 朝倉書店） 【参考文献】 なし			
【アクティブラーニング】 【学習の手引き】における「より学びを深めるために」に主体的に取り組むこと。 【事前事後学習】 教科書の該当部分の読み込み、【学習の手引き】における「学習のポイント」の振り返りなど、予習や復習を行うこと。 【ICT の活用】 学習、科目修得試験は、すべてWEB 上で行う。			
【備考】			

授業計画

回	テーマ	学習内容
1	生活経営とは ※担当：傳法谷	生活経営の概要について学ぶ。
2	生活資源（情報資源・情報へのアクセス） ※担当：沢田	情報が生活に与える影響と、生活に役立つ情報源の活用を学ぶ。
3	生活資源（まち・ひと・しごと） ※担当：伊藤	地域の特性と生活の関係性や、人との繋がり、社会貢献などの人的資源の活用を学ぶ。
4	生活資源（社会関係） ※担当：伊藤	生活する上でのコミュニケーションの重要性と相談窓口・支援制度に関するソーシャルサポートの活用を学ぶ。
5	生活資源（家計・お金） ※担当：入門	家計管理の考え方や資産形成に関する基礎知識、リスクを学ぶ。
6	生活の手段をモノ・サービスの視点から理解する生活の手段をモノ・サービスの視点から理解する ※担当：小祝	現代社会における消費の意味や、公共・民間サービスの概要と利用方法を学ぶ。
7	労働 ※担当：伊奈川 秀和	社会における労働の意義と役割と、労働者の権利と義務について学ぶ。
8	家族・人間関係 ※担当：間野	家族内での役割分担、協力体制、多様な人間関係の築き方について学ぶ。
9	家族と家族にかかる法律 ※担当：伊奈川 秀和	現代社会における家族のあり方や、相続や結婚などの家族に関する法律の基礎を学ぶ。
10	生活と福祉（社会保障） ※担当：伊奈川 秀和	年金、医療、介護、雇用保険などの社会保障の仕組みと福祉サービスの活用方法を学ぶ。
11	生活と消費・契約 ※担当：伊奈川 秀和	消費者契約法、特定商取引法などの消費者に関わる法律や契約の基礎知識を学ぶ。
12	生活と地域社会 ※担当：間野	地域が抱える問題とその解決に向けた取り組み、地域活動への参加について学ぶ。
13	子育て・介護 ※担当：間野	子育て支援における公的な支援制度や、介護保障制度とその課題について学ぶ。
14	持続可能な社会と生活 ※担当：伊藤	SDGs の観点から、環境問題や貧困などの課題と、省エネルギー、ゴミの減量などの環境に配慮した生活行動を学ぶ。
15	持続可能な社会設計・リスクマネジメント ※担当：市川	災害、病気、失業などへの備えとしてリスクマネジメントの基礎を学ぶ。

通信教育課程 メディア 科目				
ナンバリング	Lg2n216	ディプロマポリシー	DP1、 DP2、 DP3	
ライフデザイン演習			履修年次	2前
			単 位	1
Life design exercise			卒業要件	選択
			授業区分	教養科目
担当・シラバス執筆教員：市川 千尋/間野 百子	担当形態：オムニバス	授業形態	講義	
		授業方法	メディア（オンデマンド・リアルタイム）	
【実務経験との関連性】 なし				
【授業の概要】 経済・社会の一員として生きるため、ライフデザイン学での学びを基軸にキャリア意識の育成に取り組む科目である。演習を通じて自己の課題意識と探究テーマに対する理解を深めながら、目標設定や意思決定のプロセスを学び、キャリア形成に統合していく手法を学んでいく。現代社会の多様な価値観や働き方、家庭や地域との関わり方を考察し、自分らしい生き方をデザインする視点や他者との協働に向けた心構えを備える人物の育成を目的とする。				
【授業の到達目標 及び テーマ】 ①自らのキャリア意識を育て、社会的課題に取り組む姿勢を養う。 ②キャリア形成や意思決定のプロセス学び、演習を通じて実践できる。 ③多様な価値観や働き方を理解し、演習を通じて他者と協働する姿勢が身についている。				
【成績評価】 授業で実施する課題などの結果（５０％） および授業態度と演習での参加の積極性（５０％）を踏まえ、総合的な観点で評価する。				
【教科書】 『総説 ライフデザイン学』（2021 年 宮田安彦著 電気書院） 【参考文献】 なし				
【アクティブラーニング】 各回の授業の指示に従い、積極的に取り組むこと。 【事前事後学習】 教科書・配布資料の該当部分の読み込み、各回で実施する確認テスト等の振り返りなど、予習や復習を行うこと。 【ICT の活用】 授業は全てWEB 上で行う。				
【備考】				

授業計画

回	テーマ	学習内容
1	【リアルタイム①】 導入：本科目の概要と学び方 ※担当：間野	ライフデザイン学での学びとの関連を理解する。1 学年での生活を振り返り、卒業後のキャリア形成を見据えたライフプランの重要性を理解する。
2	【リアルタイム②】 自己理解を深める① ※担当：間野	過去を振り返って今の自分の価値観を洗い出す。
3	【リアルタイム③】 自己理解を深める② ※担当：間野	現在の自分にとっての生きがいや価値観をリストアップし、その実現方法を考える。
4	【オンデマンド①】 自分の価値観と社会の現象をつなげる ※担当：市川	自分の価値観と社会の現象をつなげるため、「ライフデザイン学」で学んだなかからライフデザインを検討するテーマの候補をいくつか選択する。
5	【オンデマンド②】 課題意識を明確化する ※担当：市川	自身の経歴や価値観に照らして課題観を言語化し、探究するテーマを1 つ選択する。
6	【オンデマンド③】 テーマ探究 ※担当：市川	課題に対してライフデザインの観点からアプローチ方法を考え、キャリア形成の一環として対応を検討する。
7	【オンデマンド④】 自己理解を深める③ ※担当：市川	課題観を明確にしたうえでテーマを探究することで、自身の価値観の変化などを振り返る。
8	【オンデマンド⑤】 ライフデザイン ※担当：市川	授業で学んだ内容、得た気づきを基に、自分自身のライフプランを作成する。

通信教育課程		印刷教材	科目
ナンバリング	Lg1n217	ディプロマポリシー	DP1、DP2、DP3
キャリアデザイン		履修年次	1前
		単 位	2
Career design		卒業要件	選択
		授業区分	教養科目
担当・シラバス執筆教員：間野 百子		授業形態	講義
		授業方法	印刷教材
【実務経験との関連性】 なし			
【授業の概要】 自分らしいキャリアを築くための考え方やスキルを学び、キャリア形成に必要な産業・職業の基礎的な理解を得る科目である。多様な視点でキャリアについて考える機会を提供するとともに、自己理解を深める機会を設け、学生自身が持つ職業観を整理するための知識を提供する。この科目を通して、自分自身のキャリアプランを主体的に描くための基礎知識の習得を目指す。			
【授業の到達目標 及び テーマ】 ① 自分のキャリア形成の軸となる強みや価値観を確認し、主体的にキャリア設計していくための知識を身につける。 ② キャリア形成に向け産業・職業に対する理解の深め方を知り、キャリア設計に役立てていく汎用性を身につける。 ③ 大学生として自立した人格と能力を習得するため、キャンパスライフを活用してキャリア形成していく姿勢を身につける。			
【成績評価】 科目修得試験により評価する。			
【教科書】 『大学生のためのキャリアデザイン 自分を知る・社会を知る・未来を考える』（2019 年 川崎友嗣他著 ミネルバ書房） 【参考文献】 なし			
【アクティブラーニング】 【学習の手引き】における「より学びを深めるために」に主体的に取り組むこと。 【事前事後学習】 教科書の該当部分の読み込み、【学習の手引き】における「学習のポイント」の振り返りなど、予習や復習を行うこと。 【ICT の活用】 学習、科目修得試験は、すべてWEB 上で行う。			
【備考】			

授業計画

回	テーマ	学習内容
1	働くことを知る	働くことの意義、働くことに対する価値観の変遷、就業状態や従業上の地位の考え方を学ぶ。
2	産業と職業	産業分類と職業分類、産業と職業の関係を理解する。
3	職業世界を眺める	職業の多様性とその現状、職業選択のための情報収集方法について学ぶ。
4	産業とは何か	産業の考え方、構造と変化について学ぶ。
5	私にとっての「働く・就職する」とはについて考える	働くことの意義、就職活動の基本とその準備について学び、自分にとっての勤労観と理想の働き方を考える。内定後の過ごし方について学ぶ。
6	なぜ、自分を知るのが	働くにあたっての自己理解の重要性を知り、自己分析の方法やツールについて学ぶ。
7	時間をとおして自分を知る	自分史作成など、形成された価値観や課題意識について理解を深める方法を学ぶ。
8	環境をとおして自分を知る	環境が自己認識及びキャリアの方向性に与える影響を理解する。
9	職業との関わりから自分を知る	職業経験が自己認識及びキャリアの方向性に与える影響を理解し、インターンシップやアルバイトの活用方法、職業経験を通じた自己成長の方法について学ぶ。
10	「私」というキャラクター	理解した自己について特徴を整理する。自己PRの基本概念を理解し、自己PRの作成方法とその実践を学ぶ。自己PRを通じた自己理解の深化を図る。
11	なぜ、将来を考えるのか	マルチステージなキャリアパスが普及するなか、ライフステージなどの時間、生活し働く環境と将来設計のかかわりについて学ぶ。
12	私のワークとライフを考える	ワークライフバランスの基本概念、ワークライフバランスの実現方法を学び、自分にとっての理想のワークライフバランスを考える。
13	自分の将来を描く	将来の目標設定とその実践、将来のビジョンを具体化するためのステップを学ぶ。
14	キャリアプランをつくる	キャリアプランの基本概念を理解し、キャリアプランの作成方法、キャリアプランを実現するための具体的な方法を学ぶ。
15	キャンパスライフから始める	これまでの学びを振り返り、キャリアデザインの観点でキャンパスライフの活用方法を考える。大学生活を通じた自己成長の機会獲得や、キャンパスライフを基にしたキャリア形成の方法について学ぶ。

通信教育課程 メディア 科目			
ナンバリング	Lg1n218	ディプロマポリシー	DP1、DP2、DP3
キャリアデザイン演習			履修年次
			1 後
Career design exercise			単 位
			2
			卒業要件
			選択
担当・シラバス執筆教員：間野 百子			授業区分
			教養科目
担当形態：単独		授業形態	講義
		授業方法	メディア（オンデマンド）
【実務経験との関連性】 なし			
【授業の概要】 自己分析や目標設定を行い、自分の価値観や強みを理解するだけでなく、それを具体的な行動計画に落とし込む力を養う科目である。履歴書の作成や模擬面接を実施し、就職活動に必要な実践的スキルを習得する。職業観や社会の動向について考察し、変化の激しい現代における柔軟なキャリア形成の重要性を理解する。この科目を通じて、自己の将来を具体的にイメージし、主体的に行動できる力を身につける。			
【授業の到達目標 及び テーマ】 ① 自己理解の深化：価値観・興味を明確にし、自分に合ったキャリアを考えられる。 ② 社会・職業理解の向上：業界や職業の特徴を理解する。 ③ 実践的スキルの習得：履歴書作成、面接などの就職活動スキルを向上させる。 ④ 主体的なキャリア形成力の獲得：自らキャリアを設計し、行動に移せる力を身につける。			
【成績評価】 課題の結果（70％）と、視聴状況および最終課題の提出（30％）を踏まえ、総合的な観点で評価する。			
【教科書】 『大学生のためのキャリアデザイン 自分を知る・社会を知る・未来を考える』（2019 年 川崎友嗣他著 ミネルバ書房）			
【参考文献】 なし			
【アクティブラーニング】 各回の授業の指示に従い、積極的に取り組むこと。 【事前事後学習】 教科書・配布資料の該当部分の読み込み、各回で実施する確認テスト等の振り返りなど、予習や復習を行うこと。 【ICT の活用】 授業は全てWEB 上で行う。			
【備考】			

授業計画

回	テーマ	学習内容
1	オリエンテーション	ワークライフバランスの基本概念と働くことの意義を振り返り、自分にとっての理想の働き方やワークライフバランスを考える。
2	自己分析①： 価値観・興味・強みの発見	自分の価値観や興味、強みを明確にする。
3	自己分析②： モチベーションと適性	自分のモチベーションの源泉を理解し、適性を分析する。
4	自己分析③： 経験から自分を知る	自分史を作成し、経験から自己理解を深める。また、これまでの就業経験から得た学びを整理し、キャリアプランを検討する材料を整理する。
5	社会と職業の理解①：業界・企業研究	さまざまな業界・企業について調査し、職業選択の視野を広げる。
6	社会と職業の理解②：働き方とキャリアパス	現代の働き方の多様性を理解したうえで、自分に合ったキャリアパスを考える。
7	キャリアプランにおける目標設定	将来のキャリア像を考え、短期・中期・長期のキャリア目標を立て、キャリアプランを検討する。
8	履歴書の書き方①	履歴書の構成と役割を知り、作成に向けて整理すべき事項を理解する。
9	履歴書の書き方②	授業で学んだことをふまえ、履歴書の作成方法を学ぶ。
10	エントリーシートの書き方	エントリーシートの作成方法を学ぶ。
11	面接対策①： 面接の基礎とマナー	面接の基本的な流れやマナーを理解する。
12	面接対策②：自己紹介	面接の際の自己紹介の実践練習に挑戦する。
13	面接対策③：模擬面接	模擬面接動画を視聴し、面接練習を行う。
14	キャリアプランの見直し	業界・企業研究と自己理解をもとにした継続できる働き方を鑑み、キャリアプランを見直す。
15	キャリアプランのまとめ	これまでの学びをもとに、自身の強みや課題を振り返る。定期的な振り返りと計画の見直しの必要性を理解する。自身のキャリアプランをまとめて提出する。

通信教育課程 印刷教材 科目				
ナンバリング	Lg1n219	ディプロマポリシー	DP1、DP2、DP3	
コミュニケーション論			履修年次	1 前
			単 位	2
Communication theory			卒業要件	選択
			授業区分	教養科目
担当・シラバス執筆教員：松原 詩緒		担当形態：単独	授業形態	講義
			授業方法	印刷教材
【実務経験との関連性】 なし				
【授業の概要】 対人関係の構築と円滑な意思疎通の方法や、自ら課題を見つけ他者を巻き込んで解決を導き出す方法を学ぶ。言語的・非言語的なコミュニケーションの特性を理解し、自己表現力や傾聴力を高める実践的なスキルを習得する。また、現代社会における多文化共生やデジタルコミュニケーションの課題を学び、職場や社会で自ら自信を持って人と関わる力を見出していく。				
【授業の到達目標 及び テーマ】 ① 現代社会で求められるコミュニケーションとはどのようなものかを事例考察などを通して理解する。 ② 自らのコミュニケーション能力向上のために何が必要かを客観的に考察する力を習得する。 ③ 他者の意見を的確に理解したうえで自身の意見を伝えるなど、柔軟に意思疎通できる資質を伸ばす。				
【成績評価】 科目修得試験により評価する。				
【教科書】 『イラストレート人間関係の心理学[第2版]』（2015 年 齊藤 勇(著) 誠信書房)				
【参考文献】 なし				
【アクティブラーニング】 【学習の手引き】における「より学びを深めるために」に主体的に取り組むこと。 【事前事後学習】 教科書の該当部分の読み込み、【学習の手引き】における「学習のポイント」の振り返りなど、予習や復習を行うこと。 【ICT の活用】 学習、科目修得試験は、すべてWEB 上で行う。				
【備考】				

授業計画

回	テーマ	学習内容
1	人間関係のなかの自己①	人間関係のなかの自己、自己意識理論を学ぶ。
2	人間関係のなかの自己②	自己評価、社会的比較について学び、自己理解を深めるためにも社会における交流が必要であることを理解する。
3	人間関係のなかの自己③	自己確認過程、セルフ・モニタリング、自己評価維持モデルを学ぶ。
4	出会いからの人間関係の展開①	親和行動、第一印象、自己呈示と印象管理の基本的な考え方を理解し、人間関係の構築の初歩を学ぶ。
5	出会いからの人間関係の展開②	自己開示、人間関係の親密化のプロセスを理解し、人間関係構築の展望を学ぶ。
6	非言語的・言語的コミュニケーション①	非言語的コミュニケーションにおける感情伝達力、アイ・コンタクトを理解し、活用方法や留意点を学ぶ。
7	非言語的・言語的コミュニケーション②	対人距離とパーソナルスペースを理解する。言語的コミュニケーション、eコミュニケーションについて学ぶ。
8	好きと嫌いの人間関係	好意的人間関係、嫌悪的人間関係の考え方を理解し、関係性の変容にむけた働き方を学ぶ。
9	援助の人間関係①	援助行動の心理、援助行動研究の出発点について学ぶ。
10	援助の人間関係②	援助行動の理論、援助する心理を学び、援助をきっかけとする人間関係構築の変遷を理解する。
11	援助の人間関係③	援助と好意の関係、援助を求める側の心理を学ぶ。
12	支配と服従の人間関係	社会的勢力と支配的行動、服従の心理実験を学び、人間関係の多様な様相を理解する。
13	攻撃と対立の人間関係	攻撃行動の分類、攻撃行動起因の理論を理解し、対立的状況と対立的行動について学ぶ。
14	集団のなかの人間関係①	集団の人間関係の魅力、集団凝集性と集団圧力について学び、集団における人間関係の形成について理解する。ジレンマが起きる事例や克服のプロセスを学ぶ。
15	集団のなかの人間関係②	リーダーシップの多様な様相、集団における社会認知の錯誤を学び、集団における組織形成の変遷を理解する。

通信教育課程 メディア 科目				
ナンバリング	Lg1n220	ディプロマポリシー	DP1、DP2、DP3	
コミュニケーション演習			履修年次	1 後
			単 位	1
Communication exercises			卒業要件	選択
			授業区分	教養科目
担当・シラバス執筆教員：松原 詩緒	担当形態：単独	授業形態	講義	
		授業方法	メディア（オンデマンド・リアルタイム）	
【実務経験との関連性】 なし				
【授業の概要】 良好な人間関係を築くためのコミュニケーションスキルを実践的に学ぶ科目である。協働作業の実践を通して、何を伝え合う必要があるのか、またなぜ伝え合わなければならないのかといったコミュニケーションの本質を理解し、社会や地域において共に分かち合い、協働できる力を養う。相手の意見を尊重しながら自分の意見を論理的に見直し、誠実かつ柔軟なかわりができるようになることを目指す。				
【授業の到達目標 及び テーマ】 ①自己表現力を高めることで、自分の考えや感情を適切に伝えることができる。 ②傾聴力と共感力を向上させ、他者の意見や感情を尊重する態度を身につける。 ③対立解決や交渉のスキルを習得し、円滑な人間関係を築くことができる。 ④チームワークやグループワークを通じた協調性を養い、問題解決能力を高める。				
【成績評価】 授業で実施する課題などの結果（50％）および授業態度と演習での参加の積極性（50％）を踏まえ、総合的な観点で評価する。				
【教科書】 適宜オリジナルのレジュメを配布				
【参考文献】 なし				
【アクティブラーニング】 各回の授業の指示に従い、積極的に取り組むこと。				
【事前事後学習】 教科書・配布資料の該当部分の読み込み、各回で実施する確認テスト等の振り返りなど、予習や復習を行うこと。				
【ICT の活用】 授業は全てWEB 上で行う。				
【備考】				

授業計画

回	テーマ	学習内容
1	【オンデマンド①】 コミュニケーションを知る	コミュニケーションの基本概念とその重要性を概観し、コミュニケーションの多様な形式、コミュニケーションの障害とその解決方法を学ぶ。
2	【オンデマンド②】 質問する	効果的な質問の種類と方法、開かれた質問と閉じた質問の違いを理解し、質問力を高めるための演習を行う。
3	【オンデマンド③】 伝える	メッセージの構築と伝達方法、フィードバックの重要性と技法を理解し、効果的な伝達方法を練習する。ジレンマを乗り越えるためのコミュニケーション方法について学ぶ。
4	【オンデマンド④】 非言語コミュニケーション印象について体験しながら理解する	非言語コミュニケーション（表情、ジェスチャー、姿勢の理解）の重要性を理解し、ロールプレイを通じて非言語的な印象を考察する。ロールプレイの様子は録画し、自身で確認することで理解を深める。
5	【オンデマンド⑤】 コミュニケーション実践	日常生活の中で身近な人との間でコミュニケーション実践をして、気づきや難しかったことを振り返る。
6	【リアルタイム①】 傾聴する	アクティブリスニングの技法と重要性、共感的リスニングとその効果を理解し、ロールプレイを通じた傾聴を行う。
7	【リアルタイム②】 ファシリテーションの知識と技術を習得する	ファシリテーションの役割と重要性を理解し、ファシリテーション技法の基本、グループディスカッションをリードする方法を学ぶ。
8	【リアルタイム③】 発表する	プレゼンテーション技法の基本を理解し、自信を持って話すための方法を学ぶ。ミニプレゼンテーションで発表練習を行う。

通信教育課程 メディア 科目			
ナンバリング	Lg1n221	ディプロマポリシー	DP1、DP2、DP3
未来デザインプログラム			履修年次
			1 前
MIRAI design program			単 位
			2
担当・シラバス執筆教員：大浦 賢治			卒業要件
			選択
担当形態：単独			授業区分
			教養科目
【実務経験との関連性】 なし			授業形態
			講義
			授業方法
			メディア（オンデマンド）
【授業の概要】 三幸学園の教育理念である「技能と心の調和」における「心」に関する考え方を学ぶために、ベストセラー「7つの習慣」を体系的に学ぶ科目である。職業人としてあるべき人格を高め、主体性を発揮して物事にチャレンジできる人材に成長するために、様々な題材を活用しながら学ぶ。自身の生活を豊かにするための意味付けや、そのことが他者、社会に向けてどう影響しているかを考えていくことも学びの一つとなる。日常生活そのものの中から学びを見出すことで、自らをアップデートし続けることにもつながる。			
【授業の到達目標 及び テーマ】 ①「7つの習慣」の理解と実践を通じて、主体的に行動できる能力を身につける。 ②自己の価値観を明確にし、人格を高めることで、職業人としての在り方を考える。 ③日常生活の出来事から学びを得る力を養い、自己成長につなげる。 ④長期的なビジョンを持ち、自らをアップデートし続ける姿勢を育む。			
【成績評価】 課題の結果（70％）と、視聴状況および最終課題の提出（30％）を踏まえ、総合的な観点で評価する。			
【教科書】 『7つの習慣 THE SEVEN HABITS OF HIGHLY EFFECTIVE PEOPLE』 【参考文献】 なし			
【アクティブラーニング】 各回の授業の指示に従い、積極的に取り組むこと。 【事前事後学習】 教科書・配布資料の該当部分の読み込み、各回で実施する確認テスト等の振り返りなど、予習や復習を行うこと。 【ICT の活用】 授業は全てWEB 上で行う。			
【備考】			

授業計画

回	テーマ	学習内容
1	オリエンテーション・基礎原則①	授業の目的や進め方を説明し、「7つの習慣」を学ぶ意義を理解する。また、基礎原則における「パラダイム」について学ぶ。
2	基礎原則② ※第1回を踏まえて実施	基礎原則における「自分制限パラダイム・自己実現パラダイム、自信貯金」について学ぶ。
3	第1の習慣①	第1の習慣における「刺激と反応、言霊」について学ぶ。
4	第1の習慣② ※第3回を踏まえて実施	第1の習慣における「影響の輪、割れた窓の理論」について学ぶ。
5	第2の習慣①	第2の習慣における「終わりを考えてから始める、ミッション・ステートメント」について学ぶ。
6	第2の習慣② ※第5回を踏まえて実施	第2の習慣における、「未来マップ」について学ぶ。
7	第3の習慣	第3の習慣における、「一番大切なことを優先する、時間管理のマトリックス」について学ぶ。
8	第2・3の習慣の実践	第2の習慣と第3の習慣で学んだことを踏まえて、「目標達成シート」について学ぶ。
9	基礎原則③ ※第2回を踏まえて実施	基礎原則における「信頼貯金」について学ぶ。
10	第4の習慣①	第4の習慣における「Win-Win」について学ぶ。
11	第4の習慣② ※第10回を踏まえて実施	引き続き、第4の習慣における「Win-Win」について学ぶ。
12	第5の習慣	第5の習慣における「本当に人を理解すること、傾聴」について学ぶ。
13	第6の習慣	第6の習慣における「相乗効果」について学ぶ。
14	第7の習慣	第7の習慣における「自分を磨く」について学ぶ。
15	振り返りとまとめ	これまでの学びを振り返り、習慣化に向けたアクションプランを検討する。

通信教育課程		印刷教材	科目
ナンバリング	Lg1n222	ディプロマポリシー	DP1、DP2、DP3
食生活デザイン		履修年次	1 後
		単 位	2
Dietary design		卒業要件	選択
		授業区分	教養科目
担当・シラバス執筆教員：星 玲奈		授業形態	講義
		授業方法	印刷教材
【実務経験との関連性】 なし			
【授業の概要】 さまざま価値観があることを互いに認め合う時代、より自分らしいものが求められるようになった状況下において、健康で豊かな生活を実現するための食生活のあり方を学ぶ。食文化の継承や地産地消、食品ロスなどの社会的な課題にも目を向け、持続可能な食生活のデザインについて理解を深める。この科目を通して、個人と社会の視点から職生活の質を向上させるための知識とスキルを身につけることを目指す。			
【授業の到達目標 及び テーマ】 ① 世界の食文化や日本の伝統的な食文化を学び、それらが健康にどのように寄与しているかを理解する。 ② 豊かな食生活を実現するための知識を学ぶ。			
【成績評価】 科目修得試験により評価する。			
【教科書】 『栄養科学シリーズNEXT 食べ物と健康 食文化論／食育・食生活論』 (2025 年 濱口郁枝・富田圭子・小野真実編 講談社)			
【参考文献】 なし			
【アクティブラーニング】 【学習の手引き】 における「より学びを深めるために」に主体的に取り組むこと。 【事前事後学習】 教科書の該当部分の読み込み、 【学習の手引き】 における「学習のポイント」の振り返りなど、予習や復習を行うこと。 【ICT の活用】 学習、科目修得試験は、すべてWEB 上で行う。			
【備考】			

授業計画

回	テーマ	学習内容
1	世界の食文化類型と特徴	先史時代からの食生活の変遷、世界の食文化、食器について学び、地域の気候や歴史との関連性を理解する。
2	世界の食文化（東アジア、オセアニア、東南アジア）	中国、韓国、オセアニア、東南アジアの食文化について学び、その特徴を理解する。
3	世界の食文化（南アジア、西アジア）	南アジアと西アジアの食文化の概要と香辛料貿易を学ぶ。トルコ、インドの食文化について学び、その特徴を理解する。宗教と食文化との関連を知る。
4	世界の食文化（ヨーロッパ）	ヨーロッパの食文化の概要を知る。フランス、イタリアの食文化について学び、その特徴を理解する。スローフード運動について知る。
5	世界の食文化（ロシア、アフリカ、北米、中米、南米）	ロシア、アフリカ、北米、中米、南米の食文化について学び、その特徴を理解する。北米における近年の食生活の変化を学び、健康との関連を理解する。
6	日本の食文化（古代から室町時代）	室町時代までの日本の食文化の変遷を学ぶ。本膳料理、懐石料理、精進料理について学び、日本の料理様式を理解する。
7	日本の食文化（江戸時代）	主に江戸時代の日本の食文化の変遷や会席料理について学ぶ。行事食や儀礼食について学び、年中行事や通過儀礼と食文化との関連を理解する。
8	日本の食生活（明治時代から昭和中期）	昭和中期までの日本の食生活の変遷について学び、日本特有の食文化について考える。日本型食生活について知る。
9	日本の食生活（昭和後期から現代）	昭和後期から現在の日本の食生活の変遷について学び、近年の食生活に関する課題を理解する。食生活指針、食事バランスガイド、食育基本法について知り、健康的な食生活について考える。
10	日本の食生活（栄養と食の安全）	学校給食の変遷と栄養学の発展について知る。フードシステムの仕組みと食品の安全性について学び、安全で健康な食生活について考える。
11	ライフステージに応じた食育（妊娠・授乳期、乳児・幼児期）	食育の役割を学ぶ。妊娠前から授乳期、乳児期、幼児期に応じた食育の特徴を学び、ライフステージ毎の食生活と健康との関連について考える。
12	ライフステージに応じた食育（学童期から青年期）	学童期、思春期、青年期に応じた食育の特徴を学び、ライフステージ毎の食生活と健康との関連について考える。学校教育における食育、ならびに、朝食欠食とやせ志向の問題点について学ぶ。
13	ライフステージに応じた食育（壮年期から高齢期）	壮年期、高齢期に応じた食育の特徴を学び、ライフステージ毎の食生活と健康との関連について考える。加齢による咀嚼・嚥下機能の低下や低栄養について学び、高齢期の食事の注意点について理解する。
14	食とSDGs（食に関する社会課題）	SDGsとは何か学び、食に関する社会課題の概要と食育の果たす役割を理解する。食品ロスの実状と課題について学び、近年のライフスタイルとの関連について考える。
15	食とSDGs（日常生活における実践）	食の視点からSDGsの目標達成のための取り組みについて学び、日常生活でどのように実践するか考える。防災食について学び、災害時に備えた食育について理解する。

通信教育課程		印刷教材	科目
ナンバリング	Lg1n223	ディプロマポリシー	DP1、DP2、DP3
住生活デザイン		履修年次	1 後
		単 位	2
Housing design		卒業要件	選択
		授業区分	教養科目
担当・シラバス執筆教員：野間 香奈子		授業形態	講義
		授業方法	印刷教材
【実務経験との関連性】 なし			
【授業の概要】 住生活や住環境とは何かを理解するための基礎知識を学ぶ科目である。住生活や住環境に関する社会的背景や歴史的変遷を理解し、生活スタイルや人間の行動パターン、住まいを取り巻く環境やバリアフリーなど様々な領域から「住生活」をとらえ、多様な住生活・住環境のあり方を学ぶ。住生活に関する知識と創造力を養うことで、居住地域の課題にも目を向ける素養を身につける。			
【授業の到達目標 及び テーマ】 ① 住生活に関する社会的背景や歴史的変遷を理解する。 ② 快適で安全な住環境の基本的な考え方を身につける。			
【成績評価】 科目修得試験により評価する。			
【教科書】 『住生活デザインの教科書―住み方・つくり方―』（2021 年 夏目欣昇，北原玲子他著 理工図書）			
【参考文献】 なし			
【アクティブラーニング】 【学習の手引き】 における「より学びを深めるために」に主体的に取り組むこと。 【事前事後学習】 教科書の該当部分の読み込み、 【学習の手引き】 における「学習のポイント」の振り返りなど、予習や復習を行うこと。 【ICT の活用】 学習、科目修得試験は、すべてWEB 上で行う。			
【備考】			

授業計画

回	テーマ	学習内容
1	住居の成り立ち①	住居・集合住宅の定義を整理し、住居の変遷・集合住宅の成り立ちを学ぶ。
2	住居の成り立ち②	先史時代（中・新石器時代の住居）・古代・中世の住居と集合住宅の特徴、住環境・住生活について学ぶ。
3	住居の成り立ち③	近世・近代・現代の住居と集合住宅の特徴、住環境・住生活について学ぶ。
4	家族と福祉	家族の変容、および家族の変容による社会福祉の変化や住まいの形の移り変わりについて学ぶ。
5	住宅の設備	キッチン内外の設備、空調・照明、家事の道具・場所、生活の道具等設備の観点から多様な住生活・住環境のあり方について学ぶ。
6	管理・メンテナンス	生活空間の管理（維持管理）、生活財の管理、集まって住む場合の管理（集合住宅、近隣）の特徴と機能を理解する。
7	住宅と制度	住宅政策の定義、戦後の住宅政策を理解し、日本の住宅政策の課題について学ぶ。
8	住環境	風土と建築、自然災害に強いまちづくりについて事例を含めて学ぶ。
9	身体と空間	姿勢と行為、人と人の距離に特徴づけられる空間の定義と構造を学ぶ。
10	心理と空間	環境が心理に与える影響という観点で、空間感覚、アフォーダンス、空間認知の概念を理解し、観察の観点を学ぶ。
11	敷地、性能、内外関係	敷地と建物の配置、住宅性能の基準について概念及び規定を理解する。内外関係、とりわけ防犯環境設計について学ぶ。
12	戸建て住宅の計画	計画の基礎を理解したうえで、居室の配置計画、家族の変化に配慮した空間構成について学ぶ。
13	集合住宅	集合住宅のタイプ、集合住宅における間取り、集まって住むいろいろな形を学ぶ。
14	バリアフリー	バリアフリーを取り巻く背景、ハウスアダプテーションの考え方を理解し、整備のポイント、介護保険による住宅政策について学ぶ。
15	環境デザイン	外構計画の考え方、街のアメニティの特徴を理解する。街の歴史を引き継ぐ事例を学ぶ。これまでの学びを振り返る。

通信教育課程		印刷教材	科目
ナンバリング	Lg1n224	ディプロマポリシー	DP1、DP2、DP3
衣生活デザイン		履修年次	1 後
		単 位	2
Clothing life design		卒業要件	選択
		授業区分	教養科目
担当・シラバス執筆教員：傳法谷 郁乃		授業形態	講義
		授業方法	印刷教材
【実務経験との関連性】 なし			
【授業の概要】 衣服の歴史や文化的背景を理解し、素材や機能性、デザインの観点から衣生活を考察する。また、環境や多様性に配慮した衣服のあり方、持続可能な衣生活についても学ぶ。主な内容は、衣服の歴史と文化的背景、環境配慮型の衣服、実践的な衣生活デザインの提案である。衣生活に関する知識を深めるとともに、創造的かつ持続可能な衣生活の提案力の素地を養う。			
【授業の到達目標 及び テーマ】 ① 衣服の歴史や文化的背景を理解し、現代の衣生活における意義を理解する。 ②衣服の素材や機能性についての基本的な知識を身につける。 ③ファッションデザインの基礎理論を理解し、衣生活に活かすことができる。			
【成績評価】 科目修得試験により評価する。			
【教科書】 『衣生活論 持続可能な消費と生産』（山口庸子(著・編)、生野晴美(著・編)、アイ・ケイコーポレーション)			
【参考文献】 「文化服装学院 図書館デジタルアーカイブ」 (https://digital.bunka.ac.jp/) 〈テーマ別検索〉			
【アクティブラーニング】 【学習の手引き】 における「より学びを深めるために」に主体的に取り組むこと。 【事前事後学習】 教科書の該当部分の読み込み、 【学習の手引き】 における「学習のポイント」の振り返りなど、予習や復習を行うこと。 【ICT の活用】 学習、科目修得試験は、すべてWEB 上で行う。			
【備考】			

授業計画

回	テーマ	学習内容
1	導入：ヒトはなぜ装うのか	衣服の基本的な役割とその歴史的背景、衣服が持つ社会的・文化的な意味を学び、衣服を通じた自己表現の重要性を理解する。
2	衣服の機能と役割	衣服の基本的な機能（保護、装飾、社会的役割）、機能性とデザインのバランスを学び、衣服の選び方とその影響を検討する。
3	若者の着装行動	若者のファッショントレンドとその背景、若者の着装行動の分析について学び、ファッションが若者に与える影響を検討する。
4	ファッションとマーケティング	ファッションマーケティングの基本概念、消費者行動とファッションの関係を理解し、ファッションブランドのマーケティング戦略を学ぶ。
5	衣服素材とその基本性能、仕上げ加工と高機能化	衣服素材の種類とその特性、仕上げ加工の技術とその効果、高機能素材の開発と応用について学ぶ。
6	繊維製品の品質表示、衣服素材の染色	繊維製品の品質表示の読み方を理解し、衣服素材の染色技術とその影響、環境に配慮した染色方法を学ぶ。
7	衣服の製造とアパレル産業	衣服の製造プロセスを理解し、アパレル産業の現状と課題、持続可能なアパレル産業の取り組みを学ぶ。
8	既製服のサイズ表示	既製服のサイズ表示の基準、サイズ表示の歴史とその変遷、サイズ表示の問題点と改善策を学ぶ。
9	着装とライフステージ	ライフステージに応じた衣服の選び方、年齢やライフスタイルに合わせたファッションを学び、ライフステージの変化と衣服の役割を理解する。
10	衣服と体温調節、着心地	衣服の体温調節機能を理解し、着心地の良い衣服の選び方、衣服の快適性を高める技術について学ぶ。
11	環境と衣服のデザイン、安全と快適を支援する衣服	環境に配慮した衣服デザインの重要性を理解し、安全性と快適性を考慮した衣服の設計、持続可能な衣服デザインの実践例を学ぶ。
12	衣服の選択、仕上げと保管	衣服の選び方とその基準を理解し、衣服の仕上げ方法と保管のポイント、衣服の長持ちさせるためのケア方法を学ぶ。
13	取扱い絵表示、衣服の廃棄とリサイクル	取扱い絵表示の読み方とその意味、衣服の廃棄方法とリサイクルの重要性を理解し、持続可能な衣服のライフサイクルについて検討する。
14	きものと日本の文化	きものの歴史とその文化的背景、きものの種類とその特徴、きものの現代的な活用方法を学ぶ。
15	糸を紡ぐ、織る	糸を紡ぐ技術とその歴史、織物の技術とその応用を学ぶ。

通信教育課程		印刷教材	科目
ナンバリング	Lg2n225	ディプロマポリシー	DP1、DP2、DP3
特別支援教育			履修年次
			2後
Special needs education			単 位
			2
			卒業要件
			選択
担当・シラバス執筆教員：間野 百子			授業区分
			教養科目
担当形態：単独			授業形態
			講義
			授業方法
			印刷教材
【実務経験との関連性】			
なし			
【授業の概要】			
特別支援教育の歴史的変遷と教育内容の概要を学び、多様な支援について理解を深めることを目的とした科目である。境域現場における支援体制や機能を理解することに重きを置くことで、社会的包摂による共生社会実現に向けた基礎的な知識を身につけることを目指す。			
【授業の到達目標 及び テーマ】			
① 特別支援教育制度の概要を説明できる。 ② 発達障害児や軽度知的障害児等の障害特性や心身の発達及び学習・生活上の困難、およびそれに対する支援を理解する。 ③ 特別の支援を必要とするこどもの個別の教育的ニーズに対して支援を得るための関係機関、地域について理解している。 ④ 母国語や貧困など特別の教育的ニーズのある幼児児童生徒の把握や支援について理解している。			
【成績評価】			
科目修得試験により評価する。			
【教科書】			
『はじめて学ぶ特別支援教育論』（2019 年 杉野学著 大学図書出版）			
【参考文献】			
なし			
【アクティブラーニング】			
【学習の手引き】における「より学びを深めるために」に主体的に取り組むこと。			
【事前事後学習】			
教科書の該当部分の読み込み、【学習の手引き】における「学習のポイント」の振り返りなど、予習や復習を行うこと。			
【ICT の活用】			
学習、科目修得試験は、すべてWEB 上で行う。			
【備考】			

授業計画

回	テーマ	学習内容
1	インクルーシブ教育システムを含めた特別支援教育制度	インクルーシブ教育システムの基本概念を理解し、特別支援教育制度の歴史と現状、インクルーシブ教育の実践例とその効果について学ぶ。
2	新教育要領、新学習指導要領における特別支援教育の特色	新教育要領と新学習指導要領の概要を理解し、特別支援教育における新要領の特徴、新要領に基づく特別支援教育の実践方法について学ぶ。
3	発達障害や軽度知的障害のある子どもの心身の発達と心理的特性	発達障害や軽度知的障害の基本概念を理解し、心身の発達と心理的特性、発達障害児への支援方法とその実践例について学ぶ。
4	特別支援教育の視点を生かした学級づくり・授業づくり	特別支援教育の視点を取り入れた学級運営、インクルーシブな授業づくりの方法、学級づくりの実践例とその効果について学ぶ。
5	発達障害や軽度知的障害のある子どもの学習指導と授業改善	発達障害児の学習指導の基本を理解し、授業改善のための具体的な方法、学習指導の実践例とその効果を学ぶ。
6	発達障害等の特性に応じた合理的配慮に基づく学習・生活指導の実践	合理的配慮の基本概念を理解し、発達障害等の特性に応じた配慮の方法、学習・生活指導の実践例とその効果について学ぶ。
7	視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由、病弱のある子どもの学習・生活指導	各種障害の基本概念とその特徴を概観し、障害に応じた学習・生活指導の方法、障害児への支援の実践例とその効果について学ぶ。
8	特別の支援を必要とする児童生徒等の教育課程と支援方法	特別支援教育の教育課程の概要を理解し、支援方法の基本とその実践、教育課程の実践例とその効果を学ぶ。
9	通級による指導	通級指導の基本概念、通級指導の方法とその実践、通級指導の実践例とその効果を学ぶ。
10	自立活動の意義と指導の基本	自立活動の基本概念とその重要性を理解し、自立活動の指導方法とその実践、自立活動の実践例とその効果について学ぶ。
11	個別の教育支援計画、個別の指導計画の意義と作成	個別の教育支援計画の重要性を理解し、個別の指導計画の作成方法とその実践、計画作成の実践例とその効果について学ぶ。
12	校内支援体制と特別支援教育コーディネーターの役割	校内支援体制の重要性、特別支援教育コーディネーターの役割とその実践、校内支援体制の実践例とその効果について学ぶ。
13	障害はないが母国語や貧困の問題等のある子どもの学習・生活上の困難と支援	母国語や貧困の問題を抱える子どもの現状、学習・生活上の困難の理解と支援方法について理解し、支援の実践例とその効果を学ぶ。
14	異文化理解と多様性の尊重	異文化理解の事例と重要性、多様性の尊重とその実践方法、異文化理解の実践例を学ぶ。
15	親（保護者）と地域社会の役割	これまでの学びを振り返ったうえで、親（保護者）の役割とその重要性を理解し、地域社会の役割とその支援方法、親（保護者）と地域社会の連携の実践例とその効果について学ぶ。

通信教育課程		印刷教材	科目
ナンバリング	Lg2n226	ディプロマポリシー	DP1、DP2、DP3
くらしと社会保障			履修年次
			2前
Life and social security			単 位
			2
			卒業要件
			選択
担当・シラバス執筆教員：伊奈川 秀和			授業区分
			教養科目
担当形態：単独		授業形態	講義
		授業方法	印刷教材
【実務経験との関連性】 なし			
【授業の概要】 人生100 年時代の視点からくらしに係る社会保障の制度の基礎知識を学ぶとともに、生活習慣病やフレイルとその予防、認知症、在宅医療等に対応する各制度とその事例等を学ぶ。健康づくりと超高齢社会を支える基礎となる社会保障について、少子高齢化などに対応した変遷、社会保険である公的年金、医療保険、介護保険や労働保険等の概要を理解する。コミュニティに重点を置いた地域包括ケアシステムの概要など、地域の構成員として知っておくべき制度や法律などの知識を得ることを目的とした科目である。			
【授業の到達目標 及び テーマ】 ① 公的年金、医療保険、介護保険、労働保険の概要を理解する。 ② 社会保障と生活習慣病やフレイル、認知症の予防策や対応との関連を理解する。 ③ 地域包括ケアシステムの考え方とその役割を理解し、地域コミュニティのイ質として地域福祉の重要性を理解する。			
【成績評価】 科目修得試験により評価する。			
【教科書】 『はじめての社会保障 ― 福祉を学ぶ人へ 〔第22 版〕』（2025 年 棕野美智子・田中耕太郎著 有斐閣） 【参考文献】 なし			
【アクティブラーニング】 【学習の手引き】 における「より学びを深めるために」に主体的に取り組むこと。 【事前事後学習】 教科書の該当部分の読み込み、 【学習の手引き】 における「学習のポイント」の振り返りなど、予習や復習を行うこと。 【ICT の活用】 学習、科目修得試験は、すべてWEB 上で行う。			
【備考】			

授業計画

回	テーマ	学習内容
1	くらしと社会保障の基礎	社会保障制度の概要と種類を学び、身近な具体事例を知る。
2	社会保障における政策と法制度	社会保障制度に関連する政策や法律を理解する。
3	医療保険制度の仕組み	医療保険の概要と役割を理解し、制度の課題を考える。
4	在宅医療と地域医療の実態	在宅医療の現状と地域医療との連携を学び、医療保険・介護保険が適用される事例を知る。
5	生活習慣病とその予防	生活習慣病のリスクと予防策を理解し、日常生活で実践方法を考える。
6	社会保障とストレス・メンタルヘルス	ストレス及びメンタルヘルスに関連する社会保障制度を学ぶ。
7	少子高齢化と社会保障の未来	少子高齢化が社会保障に与える影響を学ぶ。
8	介護保険制度と高齢者福祉	介護保険制度の概要を理解する。
9	フレイルと健康寿命の延伸	フレイルの特性と予防を目的とする事業と社会保障の関わりを学び、地域の取り組み事例を知る。
10	認知症の理解と支援	認知症の基本的な知識を理解し、支援の重要性と各種保険での支援概要を学ぶ。
11	公的年金制度の基礎	年金制度の歴史と役割、制度設計を理解する。
12	障害者福祉	障害者向けの医療費助成、就労支援制度を理解する。
13	労働保険と社会的安全網	労働保険の概要を理解し、社会保障の重要性を学ぶ。
14	地域包括ケアシステムの重要性	地域包括ケアの重要性を理解し、実践例を学ぶ。
15	社会保障と市民の役割	地域社会の一員という視点からこれまでの学びを振り返り、社会保障の意義と自信のかかわり方について理解を深める。

通信教育課程		印刷教材	科目
ナンバリング	Lg2n227	ディプロマポリシー	DP1、DP2、DP3
まち・ひと・しごと創生論			履修年次
			2後
Theory of creation of towns, people, and jobs			単 位
			2
担当・シラバス執筆教員：小祝 慶紀/伊藤 敏孝			卒業要件
			選択
担当形態：複数			授業区分
			教養科目
			授業形態
			講義
			授業方法
			印刷教材
【実務経験との関連性】			
なし			
【授業の概要】			
自治体における観光まちづくりに関わる事例を紹介し、まちづくりプランナーとして必要な観点や手法を学ぶ。地方創生に向けた官民連携施策、地域資源を生かしたブランディング、スマートシティ化への移行、地域コミュニティの参画者として自身を位置づけ、他の科目で得た知識・知見・スキルをどのように地域課題解決のために活用し、実践できるかを考える素地を身につける。			
【授業の到達目標 及び テーマ】			
①地方自治制度や地方創生政策の基本を理解する。			
②データや事例を活用し、地域の課題を客観的に分析する。			
③地域活性化に必要な計画策定や事業推進の手法を学ぶ。			
④地域コミュニティの役割と住民参加の意義を学ぶ。			
【成績評価】			
科目修得試験により評価する。			
【教科書】			
『これからの地方自治の教科書 改訂版』（2021年 大森 彌、大杉 寛（著） 第一法規）			
【参考文献】			
なし			
【アクティブラーニング】			
【学習の手引き】における「より学びを深めるために」に主体的に取り組むこと。			
【事前事後学習】			
教科書の該当部分の読み込み、【学習の手引き】における「学習のポイント」の振り返りなど、予習や復習を行うこと。			
【ICT の活用】			
学習、科目修得試験は、すべてWEB 上で行う。			
【備考】			

授業計画

回	テーマ	学習内容
1	地域づくりと自治体計画	地域づくりの基本概念とその重要性を理解し、自治体計画の策定プロセス、地域資源の活用方法とブランディングの事例を学ぶ。
2	地方創生と地域力の向上	地方創生政策の概要と目的を理解し、地域力向上のための具体的施策、成功事例の分析とその要因について学ぶ。
3	子ども・子育て施策と学校教育	子ども・子育て支援施策の現状と課題を理解し、学校教育の役割と地域連携、子育て支援の成功事例とその効果について学ぶ。
4	日常の暮らしを支える公共サービス	公共サービスの種類とその役割、公共サービスの提供方法とその課題、地域住民のニーズに応じたサービス改善について学ぶ。
5	年金・医療・介護	年金制度の基本とその課題、医療サービスの現状と地域医療の重要性を理解し、介護サービスの提供方法とその改善策について学ぶ。
6	安全・安心、防災と「新しい日常」	防災計画の策定と実施プロセス、地域の安全・安心を確保するための施策、「新しい日常」に対応した防災対策について学ぶ。
7	「地方政府」としての自治体、自治体行政の独自性	地方政府の役割とその独自性、自治体行政の特徴とその運営方法について学び、地方政府の成功事例とその分析を理解する。
8	地方分権と自治体の新しい役割、自治体の種類	地方分権の歴史とその意義を理解し、自治体の新しい役割とその実践方法、自治体の種類とその特徴について学ぶ。
9	地方議会、自治体の財政と予算	地方議会の役割とその運営、自治体の財政構造と予算編成について学び、財政健全化のための施策を理解する。
10	行政の範囲と民間の活動領域の見直し	行政と民間の役割分担、民間活用の進展とその効果、行政サービスの効率化と民間連携について学ぶ。
11	民間活用の進展、IT時代の情報政策	ITを活用した行政サービスの提供事例、情報政策の現状と課題を理解し、スマートシティの実現に向けた取り組みを学ぶ。
12	都市型生活様式の普及と「私的自由」主義の定着	都市型生活様式の特徴とその影響、「私的自由」主義の概念とその普及を理解し、都市型生活様式の課題とその解決策を学ぶ。
13	「ボランティアズム」と住民参加	ボランティアズムの歴史とその意義を理解し、住民参加の重要性とその方法、ボランティアズムの成功事例を学ぶ。
14	格差の意識と公平性の確保	社会的格差の現状と課題を学ぶ。
15	自律的な秩序形成	自律的な秩序形成の概念とその重要性、地域コミュニティの役割とその強化方法、自律的な秩序形成の成功事例について学ぶ。

通信教育課程 印刷教材 科目				
ナンバリング	Lg2n228	ディプロマポリシー	DP1、DP2、DP3	
金融リテラシー			履修年次	2前
			単 位	2
Financial literacy			卒業要件	選択
			授業区分	教養科目
担当・シラバス執筆教員：市川 千尋	担当形態：単独	授業形態	講義	
		授業方法	印刷教材	
【実務経験との関連性】 なし				
【授業の概要】 学生がお金に関して情報に基づいた意思決定を行えるよう、現代社会で求められるお金や金融に関する基礎知識と活用スキルを学ぶ科目である。貯蓄、投資など日常生活に関わる金融の基本的な仕組みを理解し、経済や金融市場の動向を読み解き、自身のライフデザインに活かす知識を持つ。これにより、将来の生活設計やリスク管理に役立つ実践的な知識を習得し、自立した経済生活を送る基盤を構築することを目指す。				
【授業の到達目標 及び テーマ】 ①実生活に役立つ金融知識を身につける。 ②日常生活に直結する金融の仕組みを理解できるようになる。 ③計画的なお金の管理方法を身につけることができるようになる。				
【成績評価】 科目修得試験により評価する。				
【教科書】 『最新版 イラスト図解 銀行のしくみ』（2019 年 戸谷 圭子著 日本実業出版社） 【参考文献】 なし				
【アクティブラーニング】 【学習の手引き】における「より学びを深めるために」に主体的に取り組むこと。 【事前事後学習】 教科書の該当部分の読み込み、【学習の手引き】における「学習のポイント」の振り返りなど、予習や復習を行うこと。 【ICT の活用】 学習、科目修得試験は、すべてWEB 上で行う。				
【備考】				

授業計画

回	テーマ	学習内容
1	導入—人生100 年時代の生活設計	人生 100 年時代の概念を理解し、長期的な生活設計の重要性、ライフプランニングの基本を学ぶ。
2	なぜ今金融リテラシーなのか	金融リテラシーの重要性、現代社会における金融リテラシーの役割を理解し、金融リテラシー向上のための方法を学ぶ。
3	銀行とは何か	銀行の基本的な役割と機能、銀行の種類とその特徴、銀行の歴史と発展を学ぶ。
4	銀行の収益のしくみ	銀行の収益構造、利息と手数料の仕組みを理解し、銀行の収益源とその管理を学ぶ。
5	さまざまな銀行のチャネル	銀行の各チャネル（支店、ATM、オンラインバンキングなど）の利便性と特徴を理解し、チャネルの選び方と利用方法を学ぶ。
6	銀行の支店のしくみ	銀行支店の役割と機能を理解し、支店運営の基本、支店のサービスとその利用方法を学ぶ。
7	家計管理は誰がする	家計管理の基本概念、家計管理の役割と重要性を理解し、家計管理の方法とツールを学ぶ。
8	キャッシュレス社会の家計管理・生活設計	キャッシュレス社会の現状とその影響、キャッシュレス決済の種類と特徴、キャッシュレス社会における家計管理の方法を学ぶ。
9	冷たい貨幣を温かいお金にする若者の金融リテラシー	若者の金融リテラシーの現状と課題、若者向けの金融教育の重要性を理解し、若者が実践できる金融リテラシー向上の方法を学ぶ。
10	投資の意義	投資の基本概念とその重要性、投資の種類とその特徴、投資のリスクとリターンを理解する。
11	お金を遺す遺言・相続・事業承継にみる家族と地域	遺言と相続の基本概念を理解し、事業承継の重要性とその方法、家族と地域における財産管理の方法について学ぶ。
12	さまざまな経済設計	経済設計の基本概念とその重要性を理解し、具体的な経済設計の事例について学ぶ。
13	融資のしくみ	融資の基本概念とその重要性、融資の種類とその特徴について学び、融資のリスクと管理方法を理解する。
14	さまざまな金融サービスのしくみ	金融サービスの種類とその特徴、各金融サービスの利用方法、金融サービスの選び方とその活用方法について学ぶ。
15	銀行とビッグデータ	ビッグデータの基本概念とその重要性、銀行におけるビッグデータの活用方法を理解し、ビッグデータがもたらす金融サービスの進化について学ぶ。

通信教育課程		印刷教材	科目
ナンバリング	Ls1n229	ディプロマポリシー	DP1、DP3、DP4
カラーコーディネート		履修年次	1前
		単 位	2
Color coordination		卒業要件	選択
		授業区分	専門科目
担当・シラバス執筆教員：傳法谷 郁乃		授業形態	講義
		授業方法	印刷教材
【実務経験との関連性】 なし			
【授業の概要】 色彩に関する基礎知識とその応用方法を学び、日常生活やビジネスに活かせるカラーコーディネートのスキルを身につける。色の基本理論、配色のルール、色を与える心理的・視覚的效果について理解を深める。また、ファッション、インテリア、デザイン、プレゼンテーション資料など、具体的な場面での色の選び方や組み合わせの技術を学ぶ。さらに、パーソナルカラーの概念や、個人の印象を引き立てる色彩活用法も取り上げる。この科目を通じて、色彩に関する知識を実生活で活用し、自己表現や魅力を引き出す力を養うことを目指す。			
【授業の到達目標 及び テーマ】 ①色彩の基礎知識を理解する。 ②色の与える効果への深い理解に基づき、効果的な自己表現やコミュニケーションツールとして色彩を理解する。			
【成績評価】 科目修得試験により評価する。			
【教科書】 『生活の色彩学 一快適な暮らしを求めて一』（2019 年 橋本令子・石原久代編・著 朝倉書店） 【参考文献】 なし			
【アクティブラーニング】 【学習の手引き】 における「より学びを深めるために」に主体的に取り組むこと。 【事前事後学習】 教科書の該当部分の読み込み、 【学習の手引き】 における「学習のポイント」の振り返りなど、予習や復習を行うこと。 【ICT の活用】 学習、科目修得試験は、すべてWEB 上で行う。			
【備考】			

授業計画

回	テーマ	学習内容
1	色彩の基礎理論	色の三属性（色相・明度・彩度）や光と色の関係を学ぶ。
2	色の見え方と視覚効果	照明や背景の影響、錯視など色の視覚的効果を理解する。
3	色彩心理と感情への影響	色が人の心理や行動に与える影響を学び、適切な色の使い方を考える。
4	配色の基本ルール	配色理論（補色、類似色、トーンオントーンなど）を学ぶ。
5	ファッションにおけるカラーコーディネート	季節やTPO に応じた服の色の選び方を学ぶ。
6	インテリアと空間デザインの色彩	住宅やオフィスなどの空間デザインにおける配色の考え方を学ぶ。
7	商品デザインとパッケージの色彩戦略	ブランドイメージを高める商品パッケージの色彩活用法を学ぶ。
8	色とマーケティング	広告や販売促進における色の役割を学ぶ。
9	色と食	食べ物の色が食欲に与える影響などを学ぶ。
10	パーソナルカラーとは	個人に似合う色を診断するパーソナルカラー理論を学ぶ。
11	パーソナルカラーの応用	自分や他者の魅力を引き出す色の選び方を学ぶ。
12	文化と色彩	国や地域ごとの色の意味や文化的背景を学ぶ。
13	プレゼンテーション資料の配色	視認性と印象を向上させるプレゼン資料の配色方法を学ぶ。
14	サステナブルカラーと環境配慮	環境に配慮したカラー選択やエコデザインについて学ぶ。
15	色のユニバーサルデザイン	色覚特性やユニバーサルデザインについて学ぶ。

通信教育課程		印刷教材	科目		
ナンバリング	Ls1n230		ディプロマポリシー	DP1、DP3、DP4	
デッサン・イラストレーション				履修年次	1 前
				単 位	2
Drawing/illustration				卒業要件	選択
				授業区分	専門科目
担当・シラバス執筆教員：吉田 収			担当形態：単独	授業形態	講義
				授業方法	印刷教材
【実務経験との関連性】 なし					
【授業の概要】 デッサンとイラストレーションの基本技法を学び、自分の表現力を高める。テキスト学習を通じて、線の使い方や構図の取り方、明暗表現など、基礎的な描画スキルを身につける。さらに、さまざまな画材の特性を理解し、描画方法を実際に試すことでスキルの向上を図る。また、デッサンで培った観察力や形態把握力を、ファッション分野やデザイン分野へ活用するための素地を養う。またグラフィックデザインの基礎知識にも触れ、コミュニケーションツールとしてのイラストレーションについても学ぶ。					
【授業の到達目標 及び テーマ】 ①デッサンの基本技法を理解する。 ②デッサンとイラストレーションを通して、対象への観察力と表現力を高める。 ③デッサンやイラストレーションのスキルをデザインに活かす力を養う。					
【成績評価】 科目修得試験により評価する。					
【教科書】 『シンプル・スケッチライフ 気軽に始める大人のためのアーバンスケッチ』（2024 年 速寫男 Mars Huang 著 ビー・エヌ・エヌ） 【参考文献】 なし					
【アクティブラーニング】 【学習の手引き】における「より学びを深めるために」に主体的に取り組むこと。 【事前事後学習】 教科書の該当部分の読み込み、【学習の手引き】における「学習のポイント」の振り返りなど、予習や復習を行うこと。 【ICT の活用】 学習、科目修得試験は、すべてWEB 上で行う。					
[備考]					

授業計画

回	テーマ	学習内容
1	デッサンとは何か	デッサンやスケッチの目的と基本概念を理解し、画材の使い方や特徴を学ぶ。
2	線の描き方	直線・曲線の練習と、異なる質感の表現技法を学ぶ。
3	形態の捉え方	立体の基本形を描き、構造を理解する。
4	色相・色の系統	イラストを描く際に活用する色の使い方を学ぶ。
5	明暗表現の基礎	光と影の関係や明度や彩度について学ぶ。
6	画面のデザイン	イラストを描く際の構図について学ぶ。
7	視点とフレーミング	対象を観察する視点や、画面の切り取り方について学ぶ。
8	空間表現と遠近法	遠近法の基礎を学び、奥行きを感じさせる描写を練習する。
9	小物デッサン	身の回りの小物を題材にデッサンの基本を学ぶ。
10	食べ物デッサン	食べ物をデッサンする基本を学ぶ。
11	静物デッサン	モチーフを用いた静物画を描き、構図の考え方を学ぶ。
12	街の風景	街の様子を描き方や風景の描き方を学ぶ。
13	人物のデッサン	人物を描くコツを学ぶ。
14	顔のデッサン	人の顔を描くコツを学ぶ。
15	野外デッサン	野外でデッサンやスケッチをする際の注意点やインターネットを活用した野外スケッチの方法を学ぶ。

通信教育課程		印刷教材	科目
ナンバリング	Ls1n231	ディプロマポリシー	DP1、DP3、DP4
デザインの基礎		履修年次	1前
		単 位	2
Basics of design		卒業要件	選択
		授業区分	専門科目
担当・シラバス執筆教員：峯岸 和男		授業形態	講義
		授業方法	印刷教材
【実務経験との関連性】 なし			
【授業の概要】 デザインに関する基本的な知識と表現技法を学ぶ科目である。デザインの概念や理論を理解しながら、形状、色彩、構図といった基礎的な要素について学び、創造的な発想力を養う。主な内容は、デザインの概念と役割、基礎的なデザイン理論、配色や構図の基本、タイポグラフィ、インフォグラフィックなどである。日常生活や社会におけるデザインの重要性を理解し、広い視野でデザインに取り組む力を身につけることで、専門科目の「グラフィックデザイン」「グラフィック演習Ⅰ」「グラフィック演習Ⅱ」を履修するための基礎力を養う。			
【授業の到達目標 及び テーマ】 ①デザインの基本的な知識を習得できる。 ②デザインの理論を理解し、課題解決を目的とした情報設計と表現を行なえる素養を身につける。			
【成績評価】 科目修得試験により評価する。			
【教科書】 『デザイン入門教室〔特別講義〕 増補改訂版 確かな力を身につけられる 学び、考え、作る授業』（2024 坂本伸二 SB クリエイティブ） 【参考文献】 なし			
【アクティブラーニング】 【学習の手引き】における「より学びを深めるために」に主体的に取り組むこと。 【事前事後学習】 教科書の該当部分の読み込み、【学習の手引き】における「学習のポイント」の振り返りなど、予習や復習を行うこと。 【ICT の活用】 学習、科目修得試験は、すべてWEB 上で行う。			
【備考】			

授業計画

回	テーマ	学習内容
1	デザインとは何か	デザインの定義や役割を理解する。
2	レイアウト①	情報の配置設計の基礎知識を学ぶ。
3	レイアウト②	対比や反復など、レイアウトにおける情報整理のテクニックを学ぶ。
4	写真と画像①	目的に応じた写真や画像の選び方について学ぶ。
5	写真と画像②	文字との組み合わせなど、写真や画像を活用する際のテクニックを学ぶ。
6	配色の基本①	色の基礎知識を学ぶ。
7	配色の基本②	色や配色がもつイメージについて学び、目的に応じて使い分ける方法を学ぶ。
8	文字と書体①	文字と書体の種類について学ぶ。
9	文字と書体②	目的やイメージ、対象に応じて適切な書体を選ぶ方法を学ぶ。
10	文章のデザイン①	読みやすい文章をデザインするための方法を学ぶ。
11	文章のデザイン②	書体や文字の大きさ、種類を目的に応じて選択する方法を学ぶ。
12	インフォグラフィック①	情報を図式化する方法と、図式による効果について学ぶ。
13	インフォグラフィック②	情報を伝えるために表やグラフを効果的に活用し、デザインする方法を学ぶ。
14	事例研究①	目的やイメージに応じたデザイン技法について、事例を踏まえ、ポイントを押さえる。
15	事例研究②	事例を通して、色やフォントやレイアウトが人に与える印象について研究する。

通信教育課程 メディア 科目				
ナンバリング	Ls1n232	ディプロマポリシー	DP1、 DP3、 DP4	
グラフィックデザイン			履修年次	1 後
			単 位	2
Graphic design			卒業要件	選択
			授業区分	専門科目
担当・シラバス執筆教員：峯岸 和男	担当形態：単独	授業形態	講義	
		授業方法	メディア（オンデマンド）	
【実務経験との関連性】 なし				
【授業の概要】 「デザインの基礎」で学んだことをベースに、グラフィックデザインの基礎知識と技術を学び、視覚的な表現力を高める。デザインの基本原則である構図、配色、タイポグラフィについて学びながら、目的に応じた効果的なデザインの作成方法を習得する。講義では、ポスター、チラシ、ロゴなどの制作過程を通じて、デザインソフトの基本操作や実践的なスキルも身につける。また、デザインが持つコミュニケーションの力を理解し、メッセージを視覚化する技術を深める。この科目を通して、日常やビジネスの場面で活かせるデザインのスキルを習得する。				
【授業の到達目標 及び テーマ】 ①自己表現としての手段ではなく、情報伝達的手段としてデザインを活用できるようになる。 ②情報整理の基礎を押さえ、見る人に伝わりやすい表現を考えることができる。 ③デザインソフトの基本的な使い方を理解できる。				
【成績評価】 課題の結果（70％）と、視聴状況および最終課題の提出（30％）を踏まえ、総合的な観点で評価する。				
【教科書】 適宜講義資料を配布				
【参考文献】 なし				
【アクティブラーニング】 各回の授業の指示に従い、積極的に取り組むこと。				
【事前事後学習】 教科書・配布資料の該当部分の読み込み、各回で実施する確認テスト等の振り返りなど、予習や復習を行うこと。				
【ICT の活用】 授業は全てWEB 上で行う。				
【備考】				

授業計画

回	テーマ	学習内容
1	グラフィックデザインの基礎	アートとデザインの違いを押さえ、グラフィックデザインの基本概念を学ぶ。
2	デザインの基本原則	構図・配色・タイポグラフィの基本を学び、デザインの役割を理解する。
3	色彩・配色の基礎	色相・彩度・明度など色の基礎や効果的な配色パターンについて学ぶ。
4	タイポグラフィの基礎	フォントの種類・レイアウト・視認性の向上について学ぶ。
5	ロゴデザインの基礎	ロゴ制作のプロセスとブランドアイデンティティの関係を学ぶ。
6	レイアウトの基礎	余白・グリッドシステムを活用した効果的なレイアウト技法を学ぶ。
7	写真・画像の基礎	写真や画像が与える印象や構図について学ぶ。
8	デザインツールの基礎①	Adobe Photoshop の基本操作を学ぶ。
9	デザインツールの基礎②	Adobe Illustrator の基本操作を学ぶ。
10	ターゲティングの基礎	マーケティング的視点から、ターゲットに伝えたい情報をデザインする方法を学ぶ。
11	印刷物のデザインの基礎	ポスターやフライヤーのデザインの基礎について学ぶ。
12	WEB デザインの基礎	WEB デザインの基礎を学び、紙媒体との違いについて理解する。
13	デザイン事例研究①	広告や印刷物、WEB ページなどを参照しつつ、これまで学んだデザインの基礎がどのように活かされているか学ぶ。
14	デザイン事例研究②	デザインの手法だけでなく、ターゲットに合わせてどのような情報整理がされているかを学ぶ。
15	ポートフォリオの作成手法	就職活動やキャリアに活かせる、ポートフォリオの作成方法を学ぶ。

通信教育課程 メディア 科目				
ナンバリング	Ls2n233	ディプロマポリシー	DP1、 DP3、 DP4	
グラフィック演習Ⅰ			履修年次	2前
			単 位	2
Graphic exerciseⅠ			卒業要件	選択
			授業区分	専門科目
担当・シラバス執筆教員：峯岸 和男	担当形態：単独	授業形態	講義	
		授業方法	メディア（オンデマンド）	
【実務経験との関連性】 なし				
【授業の概要】 実践的な制作活動を通じて、グラフィックデザインの基本スキルを習得する。ポスターやチラシ、名刺などの制作を題材に、デザインの企画から完成までの流れを実際に体験する。デザインソフト（Illustrator や Photoshop）の基本操作やレイアウト、配色、タイポグラフィの応用技術を学びながら、視覚的に魅力的で効果的なデザインを作成する力を磨く。また、課題に取り組む中で、企画意図を的確に表現する方法や、目的に応じたデザインの工夫ができるようにし、表現力を向上させる。この科目を通じて、基礎を確実に身につけ、より高度なデザインスキルへのステップを踏む。				
【授業の到達目標 及び テーマ】 ①演習を通して、デザインソフトの基本操作（Illustrator・Photoshop）を習得する。 ②レイアウト、配色、タイポグラフィなどのデザインの基本原則や媒体毎の特徴を理解する。 ③デザインの企画・制作プロセスを実践し、目的やコンセプトに合ったデザインを表現できる。				
【成績評価】 課題の結果（70％）と、視聴状況および最終課題の提出（30％）を踏まえ、総合的な観点で評価する。				
【教科書】 適宜講義資料を配布				
【参考文献】 なし				
【アクティブラーニング】 各回の授業の指示に従い、積極的に取り組むこと。				
【事前事後学習】 教科書・配布資料の該当部分の読み込み、各回で実施する確認テスト等の振り返りなど、予習や復習を行うこと。				
【ICT の活用】 授業は全てWEB 上で行う。				
【備考】				

授業計画

回	テーマ	学習内容
1	デザイン制作の流れ	「グラフィックデザイン」で学んだことを振り返りつつ、デザインの役割と基本概念を学び、制作の流れを理解する。
2	名刺デザイン演習	シンプルで伝わりやすい名刺デザインを制作し、実践的なレイアウト技術を習得する。
3	写真・画像加工演習	素材となる写真や画像をテーマやブランディングに沿って加工する方法を学ぶ。
4	ピクトグラム制作演習	ピクトグラムの制作方法を学ぶ。
5	ロゴ制作演習	ブランドコンセプトに合ったロゴ制作のスキルを学ぶ。
6	チラシデザイン演習①	目的に応じた情報整理と視線誘導のテクニックを学ぶ。
7	チラシデザイン演習②	事例を参照しつつ、効果的なレイアウト・配色・タイポグラフィの活用方法を学ぶ。
8	ポスターデザイン演習①	ブランドイメージに合わせたコンセプトの設計方法を学ぶ。
9	ポスターデザイン演習②	人の目につくビジュアル表現を学ぶ。
10	OOH デザイン演習①	交通広告など街中で目にする様々な広告媒体の効果や特徴を学ぶ。
11	OOH デザイン演習②	宣伝したいものや情報を届けたいユーザーに合わせて効果的な媒体を選び、表現する方法を学ぶ。
12	バナーデザイン演習①	WEB サイトなどで活用されるWEB バナーの種類や特徴を学ぶ。
13	バナーデザイン演習②	目的やユーザーに合わせた効果的なバナー制作の基礎を学ぶ。
14	WEB デザイン演習①	WEB ページの構成と、紙媒体との違いを学ぶ。
15	WEB デザイン演習①	事例研究を通して、効果的なWEB デザインの技法を学ぶ。

通信教育課程 メディア 科目				
ナンバリング	Ls2n234	ディプロマポリシー	DP1、 DP3、 DP4	
グラフィック演習Ⅱ			履修年次	2前
			単 位	2
Graphic exercise Ⅱ			卒業要件	選択
			授業区分	専門科目
担当・シラバス執筆教員：峯岸 和男		担当形態：単独	授業形態	講義
			授業方法	メディア（オンデマンド）
【実務経験との関連性】 なし				
【授業の概要】 「グラフィック演習Ⅰ」で学んだ基礎を発展させ、より高度なグラフィックデザインスキルを習得する。ブランドロゴ、広告デザイン、パッケージデザインなど、実際のデザイン現場を想定した課題に取り組み、デザインの企画力や完成度を高める。デザインソフトの応用操作に加え、配色理論やタイポグラフィの実践的な活用方法を学び、作品のクオリティを向上させる。さらに、ターゲットやコンセプトを意識したデザイン提案や、プレゼンテーションスキルの向上も目指す。この科目を通じて、プロフェッショナルなレベルでのデザイン制作能力を身につけるとともに、創造力と表現力をさらに深化させる。				
【授業の到達目標 及び テーマ】 ①Illustrator やPhotoshop などのツールの活用技術を高め、効果的なビジュアル表現ができるようにする。 ②媒体毎の特徴を理解し、伝えたい情報や対象に合わせて適切な媒体と表現方法を選択することができる。 ③授業を通して制作したクリエイティブをポートフォリオにまとめる。				
【成績評価】 課題の結果（70％）と、視聴状況および最終課題の提出（30％）を踏まえ、総合的な観点で評価する。				
【教科書】 適宜講義資料を配布				
【参考文献】 なし				
【アクティブラーニング】 各回の授業の指示に従い、積極的に取り組むこと。 【事前事後学習】 教科書・配布資料の該当部分の読み込み、各回で実施する確認テスト等の振り返りなど、予習や復習を行うこと。 【ICT の活用】 授業は全てWEB 上で行う。				
【備考】				

授業計画

回	テーマ	学習内容
1	Illustrator 応用技術①	パスの描画技法やペンツールの使い方と応用技術を学ぶ。
2	Illustrator 応用技術②	カラーパレットやグラデーション、パターンの作成、ブラシの使用方法について学ぶ。
3	Photoshop 応用技術①	明るさやコントラスト、色調補正などの応用技術やレタッチの技術を学ぶ。
4	Photoshop 応用技術②	複数画像の合成や特殊効果などの応用技術を学ぶ。
5	ブランドロゴ制作演習①	事例を参照しながら、ブランディングの考え方とロゴで表現する方法を学ぶ。
6	ブランドロゴ制作演習②	ブランドコンセプトを踏まえたロゴデザインの企画力を養う。
7	プロモーション戦略演習①	3C 分析やSTP 分析などのマーケティング手法を学ぶ。
8	プロモーション戦略演習②	プロモーション戦略を整理し、製作物のデザインに落とし込む方法を学ぶ。
9	広告デザイン演習①	キャッチコピーとビジュアルを組み合わせた広告を制作する。
10	広告デザイン演習②	受け手の心理を考慮したデザインを提案できる力を養う。
11	パッケージデザイン演習①	商品の魅力を伝えるデザインコンセプトを企画する力を養う。
12	パッケージデザイン演習②	形状や素材を考慮し、デザインに落とし込む方法を学ぶ。
13	マルチメディア演習	紙媒体や WEB など総合的なプロモーション戦略のもとに商品の魅力を効果的に伝える方法を学ぶ。
14	コミュニケーションデザイン演習	ユーザーの行動や体験をデザインする力を養う。
15	デザインプレゼンテーション	デザインのコンセプトや目的、ターゲット、プロモーション戦略などをクライアントに効果的に伝える方法を学ぶ。

通信教育課程 メディア 科目			
ナンバリング	Ls2n235	ディプロマポリシー	DP1、DP3、DP4
WEB デザイン			履修年次
			2前
Web design			単 位
			2
担当・シラバス執筆教員：遠山 正朗			卒業要件
			選択
担当形態：単独			授業区分
			専門科目
【実務経験との関連性】 なし			授業形態
			講義
			授業方法
			メディア（オンデマンド）
【授業の概要】 インターネットで公開されているWEB サイトの仕組みを理解し、「読みやすく」、「伝わる」ことを意識したWEB デザインの基礎を学習する。文字や画像の配置、リンクの設定、色やフォントの選び方など、視覚的に魅力的なページ作りに必要な基本要素を学ぶ。また、レスポンシブデザインやアクセシビリティの基本概念についても触れ、多様なデバイスやユーザーに対応したWEB デザインの基礎を身につける。			
【授業の到達目標 及び テーマ】 ①WEB ページの基本構造やレイアウトの原則を理解する。 ②読みやすく伝わるデザインを意識し、ユーザーに最適なWEB ページを作成できる。 ③多様なデバイスやユーザーに配慮したデザイン手法を身につける。			
【成績評価】 課題の結果（70％）と、視聴状況および最終課題の提出（30％）を踏まえ、総合的な観点で評価する。			
【教科書】 適宜講義資料を配布			
【参考文献】 なし			
【アクティブラーニング】 各回の授業の指示に従い、積極的に取り組むこと。			
【事前事後学習】 教科書・配布資料の該当部分の読み込み、各回で実施する確認テスト等の振り返りなど、予習や復習を行うこと。			
【ICT の活用】 授業は全てWEB 上で行う。			
【備考】			

授業計画

回	テーマ	学習内容
1	WEB デザインとは	WEB デザインの基本概念、サイトの構造やデザイン原則を学ぶ。
2	WEB デザインの配色	配色の基本やWEB ページで色を扱う際の注意点を学ぶ。
3	画像とメディアの活用	画像、動画、アイコンの適切な使用方法を学び、視覚的な魅力を高める。
4	WEB フォントとタイポグラフィ	WEB ならではのフォントの使い方や注意点を学ぶ。
5	レイアウト設計①	ワイヤーフレームの作り方を学ぶ。
6	レイアウト設計②	ボックスモデルとフレックスボックスを活用したレイアウト技法を習得する。
7	ナビゲーションとUI 設計	使いやすいメニューやボタン配置、ユーザー動線を考えたデザインを学ぶ。
8	インタラクションデザイン	WEB サイトを利用するユーザー体験(UX)を高める方法を学ぶ。
9	アクセシビリティとユーザビリティ	誰でも使いやすい Web デザインのための考え方を学ぶ。
10	レスポンシブデザイン	レスポンシブデザインの原理を理解し、スマホとPC でのユーザーの導線の違いを学び、デザインに反映する力を養う。
11	HTML とCSS①	WEB ページを表示するためのプログラミング言語について理解する。
12	HTML とCSS②	配色や画像の配置をHTML とCSS に反映する方法を学ぶ。
13	WEB マーケティング	リスティング広告やディスプレイ広告など、WEB を活用したマーケティング手法とクリエイティブについて学ぶ。
14	SEO とLPO	検索から WEB ページに流入させ、購買に繋げるためのデザインに落とし込む考え方を学ぶ。
15	SNS クリエイティブ	SNS を活用したマーケティング手法や、SNS 広告の表現を学ぶ。

通信教育課程		印刷教材	科目
ナンバリング	Ls1n236	ディプロマポリシー	DP1、DP3、DP4
ブランドマーケティング		履修年次	1前
		単 位	2
Brand marketing		卒業要件	選択
		授業区分	専門科目
担当・シラバス執筆教員：入門 貴男		授業形態	講義
		授業方法	印刷教材
【実務経験との関連性】 ファッション老舗企業にて販売・広告戦略、管理会計を担う非常勤執行役員として勤務。			
【授業の概要】 ブランドの価値を理解し、消費者に魅力を伝えるためのマーケティング手法を学ぶ。学習を通じて、ブランド戦略の基本概念、ターゲット市場の分析、ブランドイメージの構築と管理について理解を深める。ブランドを表現する商品コンセプトの考え方から、販売手法までを一貫して学ぶことで、ブランドマーケティングの全体像を理解する。加えて、SNS や広告など、現代のマーケティングツールを活用した効果的なプロモーション方法にも触れる。この科目を通じて、ブランドを通じて社会や市場で価値を生み出すための知識を身につけることを目指す。			
【授業の到達目標 及び テーマ】 ①ブランド・エクイティの概念を理解し、企業のブランド戦略を理解できる。 ②ブランディングを活用したマーケティング戦略の上流から下流までの全体像を理解する。 ③デジタル時代に適したブランドマーケティング戦略について理解する。			
【成績評価】 科目修得試験により評価する。			
【教科書】 『必ず成果につながる「商品ブランディング」実践講座』（2020 村尾 隆介（著）日本実業出版社）			
【参考文献】 なし			
【アクティブラーニング】 【学習の手引き】 における「より学びを深めるために」に主体的に取り組むこと。 【事前事後学習】 教科書の該当部分の読み込み、 【学習の手引き】 における「学習のポイント」の振り返りなど、予習や復習を行うこと。 【ICT の活用】 学習、科目修得試験は、すべてWEB 上で行う。			
【備考】			

授業計画

回	テーマ	学習内容
1	ブランディングの基礎	ブランディングの役割や効用、種類について学ぶ。
2	商品コンセプト	ブランディングの基礎となる商品コンセプトの考え方について学ぶ。
3	ペルソナとブランディング	ターゲットとなりうるペルソナとブランドの関係について学ぶ。
4	カテゴリとブランディング	カテゴリやポジショニングの分析手法について学ぶ。
5	ネーミングとキャッチコピー	ブランドを象徴するネーミングやキャッチコピーについて学ぶ。
6	色使いとブランディング	ブランドを表現する色使いについて学ぶ。
7	パッケージとブランディング	ブランドの価値を高めるパッケージについて学ぶ。
8	印刷物とブランディング	ブランドのメッセージを伝える文章や印刷物について学ぶ。
9	WEB やSNS の発信	WEB やSNS でのブランドのイメージ発信の手法について学ぶ。
10	広告とイベント	ブランドを効果的に発信する広告やメディアについて学ぶ。
11	什器・POP と販促	店頭でブランドイメージを伝えるための販促手法について学ぶ。
12	流通戦略とブランディング	ブランドイメージを最大限に生かす流通戦略や価格設定の考え方について学ぶ。
13	チーム作りとブランディング	ブランドの伝道者となるチーム作りの手法について学ぶ。
14	地域発展とブランディング	地域やコミュニティで愛されるブランドイメージの発信について学ぶ。
15	海外進出とブランディング	海外へのブランドイメージの発信方法について学ぶ。

通信教育課程 メディア 科目				
ナンバリング	Ls1n237	ディプロマポリシー	DP1、 DP3、 DP4	
ベーシックネイル			履修年次	1 後
			単 位	2
Basic nails			卒業要件	選択
			授業区分	専門科目
担当・シラバス執筆教員：長田 諭子	担当形態：単独	授業形態	講義	
		授業方法	メディア（オンデマンド）	
【実務経験との関連性】 なし				
【授業の概要】 ネイルケアやデザインの知識を学び、ネイルアートの基礎的なスキルを身につける。テキストを通じて、爪の構造や衛生管理、基本的なネイルケアの技法について理解を深める。また、カラーリングや簡単なアートデザインなどの基礎技術も学習する。さらに、ネイルケアを行う際の道具の使い方や施術における注意点、安全性への配慮についても取り扱う。学んだ知識は、日常のセルフケアからネイルに関わる仕事への基礎力として活用できることはもちろん、表現力やカラーコーディネートなど、生活やビジネスシーンでも活かされる普遍的なスキルの醸成に寄与することを狙いとする。				
【授業の到達目標 及び テーマ】 ① ネイルアートを通して自分らしさを表現する力を身につける。 ② 正しいネイルケア方法を覚え、健康な爪を維持することができる。				
【成績評価】 課題の結果（70％）と、視聴状況および最終課題の提出（30％）を踏まえ、総合的な観点で評価する。				
【教科書】 『JNA テクニカルシステム ベーシック 改訂版 第3 版』（2020 JNA オフィシャル教材） 【参考文献】 なし				
【アクティブラーニング】 各回の授業の指示に従い、積極的に取り組むこと。 【事前事後学習】 教科書・配布資料の該当部分の読み込み、各回で実施する確認テスト等の振り返りなど、予習や復習を行うこと。 【ICT の活用】 授業は全てWEB 上で行う。				
【備考】				

授業計画

回	テーマ	学習内容
1	ネイルの基礎知識	ネイルアートの歴史やネイルの技術体系、カットスタイル等の業界の基礎知識を学ぶ。
2	ネイル概論	爪の構造や皮膚学について学ぶ。
3	消毒法と衛生	消毒衛生や化粧品学について理解し、安全な施術方法を学ぶ。
4	爪のトラブル	爪の病気やトラブルについて学ぶ。
5	道具の種類と使い方	ファイル、プッシャー、ニッパーなどの基本的な道具の使用方法を学ぶ。
6	ネイルケアの基礎	爪の形を整え、甘皮処理やバッフィングの基本技術を習得する。
7	カラーリングの基本	マニキュアの塗り方を学び、ムラのない美しい仕上がりを習得する。
8	グラデーション技法	スポンジや筆を使ったグラデーションカラーの作り方を習得する。
9	ネイルアートの基礎①	ドットやラインを活用したシンプルなアートデザインを学ぶ。
10	ネイルアートの基礎②	ポリッシュやフレンチなどネイルアートの主流な手法について学ぶ。
11	デザインの発想	ネイルアート作品を分析し、構造や表現を学ぶ。
12	シーズンデザイン	季節に合わせたデザインの考え方を学ぶ。
13	応用ネイルアート	ストーンやシールを用いたアート技法を学び、デザインの幅を広げる。
14	カウンセリング	カウンセリングからケア、カラーリングに至る手順を学ぶ。
15	爪の補強・修復	爪の補強・修復についての技術を学ぶ。

通信教育課程 メディア 科目			
ナンバリング	Ls2n238	ディプロマポリシー	DP1、DP3、DP4
ネイルアート		履修年次	2後
		単 位	2
Nail art		卒業要件	選択
		授業区分	専門科目
担当・シラバス執筆教員：長田 諭子		授業形態	講義
		授業方法	メディア（オンデマンド）
【実務経験との関連性】 なし			
【授業の概要】 ネイル構造と衛生・消毒法・皮膚科学を学んだ上で、ネイルケアやネイルアートの技法を習得する。具体的には、アクリルパウダーとリキッドを使った3D アートを中心としたネイルアートの技術を身につけ、フラットアートと3D アートを組み合わせ、よりレベルの高いテクニックを習得し柔軟な発想でデザインを考え作品を制作する。また、授業を通して、正しいネイルケアについて知り、ネイルアートの専門知識・技能を習得すると同時に、生活や社会の中で活用できる表現力や発想力を高める。			
【授業の到達目標 及び テーマ】 ①ネイルケアや衛生についての知識を身につけ、実践することで爪の健康状態を保つことができる。 ②基礎的なネイルアートの技術を習得するとともに、自ら学び、表現したいという向上心を育む。 ③社会や生活への興味を育み、それらを学んだ技術を活かして、アートとして表現する視点と表現力を身につける。			
【成績評価】 課題の結果（70％）と、視聴状況および最終課題の提出（30％）を踏まえ、総合的な観点で評価する。			
【教科書】 『JNA テクニカルシステム アドバンス』（2015 JNA オフィシャル教材） 【参考文献】 なし			
【アクティブラーニング】 各回の授業の指示に従い、積極的に取り組むこと。 【事前事後学習】 教科書・配布資料の該当部分の読み込み、各回で実施する確認テスト等の振り返りなど、予習や復習を行うこと。 【ICT の活用】 授業は全てWEB 上で行う。			
【備考】			

授業計画

回	テーマ	学習内容
1	ネイル基礎技術	ネイルケアの基礎知識（使用するネイル道具、材料の名称と用途について）を学ぶ。 ジェルネイル、ネイルアートに使用する道具、材料の名称と用途について学ぶ。
2	皮膚科学と衛生管理	ハンドケアの方法、爪の構造、爪の病気について学ぶ。
3	キューティクルケア	キューティクルケアの目的と手順とトリートメント理論を学ぶ。
4	ジェルネイル①	ジェルネイルの基本構造、UV ライトの使い方、ジェルの塗布方法、オフの方法を学ぶ。
5	ジェルネイル②	カラーグラデーションやラメ・ストーンを活用したデザインを制作する。
6	フラットアート①（ジェルネイル）	ドット、ストライプ、フレンチネイルなど基本的なネイルアート技法を実践する。
7	フラットアート②(ジェルネイル)	マーブル、ピーコック、花柄などの応用デザインを制作する。
8	エンボスアート	アクリルパウダーとリキッドを使った技術を学ぶ。
9	3D アート①	シンプルな形状の3D アートについて学ぶ。
10	3D アート②	花やリボンなどのモチーフを描く技術を学ぶ。
11	3D アート③	立体アート（色々なパーツを組み合わせてから、爪の上のにのせるアート）の方法を学ぶ。
12	アートデザインの考案①	事例を参考にしつつ、色彩やシーン、季節に合わせたデザインの発想法を学ぶ。
13	アートデザインの考案②	対象の観察と自分なりの解釈を通して、表現に落とし込むアートの発想法を学ぶ。
14	ミックスメディアアート①	フラットアート、3D アート、エンボスアートなど複数の技法を合わせたネイルアートの技法を学ぶ。
15	ミックスメディアアート②	アイデアの発想からネイルアートの技法を駆使して表現する方法を学ぶ。

通信教育課程 印刷教材 科目				
ナンバリング	Ls1n239	ディプロマポリシー	DP1、 DP3、 DP4	
ベーシックメイク			履修年次	1 前
			単 位	2
Basic makeup			卒業要件	選択
			授業区分	専門科目
担当・シラバス執筆教員：比企 恵美子		担当形態：単独	授業形態	講義
			授業方法	印刷教材
【実務経験との関連性】 なし				
【授業の概要】 メイクの基本知識と技術を学び、自分らしい魅力を引き出す方法を身につける。テキスト学習を通じて、肌の構造やスキンケアの基本、顔のパーツごとのメイク手法を理解する。また、肌質や顔立ちに応じたメイクの工夫や、ナチュラルメイクからフォーマルメイクまでの応用技術も学習する。さらに、使用する道具や化粧品の選び方、安全性の確保、衛生管理についても取り扱う。この科目は、初心者にもわかりやすく、自分のライフスタイルや目的に合ったメイクを実践できるスキルを提供する。日常生活やビジネスシーンに活かせる知識を習得し、表現力を高めることを目指す。				
【授業の到達目標 及び テーマ】 ①正しいスキンケアの方法を学び、健康な肌を保つための知識を習得する。 ②顔の構造や各テクニックがもたらす効果と周囲に与える印象について理解できる。 ③メイクに関して得た知識やスキルをもって、シーンや目的に応じた自己表現ができる。				
【成績評価】 科目修得試験により評価する。				
【教科書】 『三幸学園オリジナルデジタルテキスト』				
【参考文献】 なし				
【アクティブラーニング】 【学習の手引き】における「より学びを深めるために」に主体的に取り組むこと。 【事前事後学習】 教科書の該当部分の読み込み、【学習の手引き】における「学習のポイント」の振り返りなど、予習や復習を行うこと。 【ICT の活用】 学習、科目修得試験は、すべてWEB 上で行う。				
【備考】				

授業計画

回	テーマ	学習内容
1	顔のパーツと構造	顔の構造を理解し、各パーツが与える印象について学ぶ。
2	肌の構造とスキンケア	肌の仕組みを理解し、肌質に合ったスキンケアとベース作りの重要性を学ぶ。
3	化粧品の基礎知識	化粧品の種類や効果を学ぶ。
4	メイクアップの基礎	メイクアップの基礎や道具の使い方を学ぶ。
5	コントロールカラーとファンデーション	コントロールカラーとファンデーションの種類と塗り方を学び、均一で自然な肌を作る技術を習得する。
6	コンシーラーとフェイスパウダー	シミやクマのカバー方法を学び、フェイスパウダーで仕上げる技術を習得する。
7	チーク・ハイライト・ローライト	顔の立体感を引き出すチーク、ハイライトとローライトの効果と使い方を学ぶ。
8	アイブロウメイクの基本	顔のバランスに合った眉の整え方や描き方を学び、印象をコントロールする技術を習得する。
9	アイメイクの基本	アイシャドウ、アイライン、マスカラの使い方を学び、目元の印象を強調する技術を習得する。
10	リップメイクの基本	リップカラーの選び方や塗り方を学び、顔全体の印象を調整する技術を習得する。
11	骨格・顔分析	顔の形やパーツの特徴を分析し、それに合ったメイクのポイントを学ぶ。
12	カラーとメイクの関係性	色の持つイメージやトーンによる印象の分類を学び、イメージによる色選びを習得する。
13	ナチュラルメイク	自然な印象を与えるメイクの方法を学び、日常生活に活かせる技術を習得する。パーツの形による印象分析を学び、日常生活に活かせる技術を習得する。
14	TP0に応じたメイクの基本	顔分析を取り入れたメイク手法を学びTP0に合わせた表現方法を習得する。
15	イメージメイク	顔分析を取り入れたメイク手法を使いメイクバリエーションを学ぶ。

通信教育課程 メディア 科目			
ナンバリング	Ls2n240	ディプロマポリシー	DP1、DP3、DP4
パーソナルメイク			履修年次
			2後
Personal makeup			単 位
			2
			卒業要件
			選択
担当・シラバス執筆教員：比企 恵美子			授業区分
			専門科目
担当形態：単独		授業形態	講義
		授業方法	メディア（オンデマンド）
【実務経験との関連性】 なし			
【授業の概要】 この科目では、実践を通じたメイク技術を学ぶ。肌の質感や顔の特徴、パーツバランスを分析し、自分らしさを引き出すメイクの方法を習得する。実践学習では、スキンケアからベースメイク、アイメイク、リップメイクまで網羅的に技術を深める。また、TP0 に応じたメイクのアレンジ方法やカラーコーディネート基礎知識や、ヘアスタイルやファッションに合わせたメイクテクニックも学ぶ。さらに、プロフェッショナルな道具の使い方や衛生管理、メイクアップの心理的効果についても学習する。この科目を通じて、自己表現力や印象づくりのスキルを向上させ、日常生活やビジネスシーンで役立つ実践的なメイク技術を身につけることを目指す。			
【授業の到達目標 及び テーマ】 ①顔のパーツの特徴に合わせたメイク技術を習得する。 ②生活や社会生活においてシーンや目的に応じ、適切なメイクをする技術や表現力を身につける。			
【成績評価】 課題の結果（70％）と、視聴状況および最終課題の提出（30％）を踏まえ、総合的な観点で評価する。			
【教科書】 適宜講義資料を配布 【参考文献】 なし			
【アクティブラーニング】 各回の授業の指示に従い、積極的に取り組むこと。 【事前事後学習】 教科書・配布資料の該当部分の読み込み、各回で実施する確認テスト等の振り返りなど、予習や復習を行うこと。 【ICT の活用】 授業は全てWEB 上で行う。			
【備考】			

授業計画

回	テーマ	学習内容
1	高度なスキンケア	エイジングケア、肌質別のトリートメント、スキンケアとベースメイクの関係を学ぶ。
2	ベースメイク応用	ツヤ肌・マット肌など仕上がり別のベースメイク技術を習得する。
3	立体感を強調するメイク	ハイライト・シェーディングを活用し、骨格に合わせた立体メイクの実践方法を学ぶ。
4	眉デザインの応用	流行の眉メイク、個性を活かしたアレンジテクニックを学ぶ。
5	アイメイク①	アイシャドウの色選び、グラデーション技術を深める。
6	アイメイク②	アイライン・マスカラの使い方、目の形に合ったメイクを学ぶ。
7	チーク&ハイライト	肌色・顔型に合わせたチークの入れ方と、光を活かしたハイライト技術の実践方法を学ぶ。
8	リップメイクの応用	リップライナーやグラデーションリップなど、立体的なリップデザインを習得する。
9	パーソナルカラーと応用メイク	個人に合うカラー分析を深め、メイクに活かす方法を学ぶ。
10	TPO メイク①（ビジネス・フォーマル）	洗練されたメイクのコツ、信頼感を与えるメイクを学ぶ。
11	TPO メイク②（ナイトシーン・撮影メイク）	光の影響を考慮したメイク技術を習得する。
12	最新メイクトレンドとアレンジ	流行メイクの研究と、トレンドを取り入れた実践方法を学ぶ。
13	メイクの心理的影響	第一印象やメイクと自己表現の関係、色彩心理を考察する。
14	ヘアメイクとファッションのコーディネート①	シーズンやシーンに合わせたメイクと、それに応じたヘアスタイリングの方法を学ぶ。
15	ヘアメイクとファッションのコーディネート②	メイクとヘアスタイル、ファッションを組み合わせたトータルコーディネートの考え方を学ぶ。

通信教育課程		印刷教材	科目	
ナンバリング	Ls1n241	ディプロマポリシー	DP1、DP3、DP4	
コスメ・ファッションマーケティング			履修年次	1 後
			単 位	2
Cosmetics/fashion marketing			卒業要件	選択
			授業区分	専門科目
担当・シラバス執筆教員：入門 貴男		担当形態：単独	授業形態	講義
			授業方法	印刷教材
【実務経験との関連性】 ファッション老舗企業にて販売・広告戦略、管理会計を担う非常勤執行役員として勤務。				
【授業の概要】 コスメやファッション業界におけるマーケティングの基礎と戦略を学び、実際のビジネスに応用する力を養う。消費者のニーズや市場動向を分析する方法を学び、ブランド戦略、プロモーション手法、商品企画のプロセスについて理解を深める。また、コスメやファッションのトレンドを掴み、ターゲットに合わせたマーケティング戦略を立案するための基礎を押さえる。さらに、成功事例や最新のマーケティング手法を学ぶことで、業界のダイナミックな変化に対応できる柔軟な視点を身につける。この科目を通じて、コスメ・ファッション分野で活躍するための基本的な業界知識とマーケティング知識を習得する。				
【授業の到達目標 及び テーマ】 ①コスメ・ファッション業界におけるマーケティングの基礎と戦略を理解できる。 ②消費者ニーズや市場動向の分析手法を理解できる。 ③最新の業界の変化や対応すべき問題などが理解できる。				
【成績評価】 科目修得試験により評価する。				
【教科書】 『ファッションビジネスの基礎知識』（2023 年 一般社団法人日本衣料管理協会 学術研究出版） 【参考文献】 なし				
【アクティブラーニング】 【学習の手引き】における「より学びを深めるために」に主体的に取り組むこと。 【事前事後学習】 教科書の該当部分の読み込み、【学習の手引き】における「学習のポイント」の振り返りなど、予習や復習を行うこと。 【ICT の活用】 学習、科目修得試験は、すべてWEB 上で行う。				
【備考】				

授業計画

回	テーマ	学習内容
1	ファッション産業の成り立ち	日本におけるファッション産業の歴史について学ぶ。
2	ファッション産業の構造	ファッション産業の特徴や構造について学ぶ。
3	マーケティングの基礎	コスメ・ファッション業界の特徴を踏まえたマーケティングの基本概念を学ぶ。
4	市場環境の分析	消費者ニーズに基づいた市場の細分化とターゲット選定の手法を学ぶ。
5	マーケティングミックス	製品や価格、プロモーションなどを適切に設計するための考え方を学ぶ。
6	商品企画と開発	コスメ・ファッション商品の開発プロセスとコンセプト設計のポイントを学習。
7	ビジュアルマーチャンダイジング	消費者の購買意欲を高めるための店頭販売手法を学ぶ。
8	流通戦略	コスメ・ファッション業界における流通チャネルについて学ぶ。
9	ブランド戦略	競争優位性を確立するブランドの構築手法とブランディングの成功事例を学ぶ。
10	デジタルマーケティング	EC サイト運営、SEO 対策、データ分析の基本を学ぶ。
11	コスメ・ファッション業界の仕事	コスメ・ファッション業界に関わる仕事に関して学ぶ。
12	コスメ・ファッションビジネスの今後	消費者行動のトレンドや変化などを学ぶ。
13	サステナブルマーケティング	環境配慮やエシカル消費に対応したマーケティングの重要性を学ぶ。
14	SDGs とコスメ・ファッションビジネス	SDGs の基礎と、ビジネスや生活に与える影響について学ぶ。
15	グローバル化戦略	インバウンドや海外進出について学ぶ。

通信教育課程		印刷教材	科目
ナンバリング	Ls1n242	ディプロマポリシー	DP1、DP3、DP4
ビューティー・ファッションカルチャー			履修年次
			1 後
Beauty & Fashion Culture			単 位
			2
			卒業要件
			選択
担当・シラバス執筆教員：入門 貴男			授業区分
			専門科目
担当形態：単独			授業形態
			講義
			授業方法
			印刷教材
【実務経験との関連性】 ファッション老舗企業にて販売・広告戦略、管理会計を担う非常勤執行役員として勤務。			
【授業の概要】 美容とファッションの歴史や文化から、現代社会におけるこれらの業界のマーケティング戦略やトレンドまでを学ぶ。さらに、美容やファッションが人々の生活や社会に与える影響についても考察することで、美容とファッションがどのように個人の自己表現やアイデンティティの形成に貢献しているかを理解する。授業の中では、様々なデザイナーの作品やコレクション鑑賞を通じて、その背後にあるコンセプトやテーマを読み解くことで、独自の発想力や表現力を高めるための感性を磨く。			
【授業の到達目標 及び テーマ】 ①美容とファッションの歴史・文化的背景を理解し、業界の変遷や社会的影響を考察できるようになる。 ②現代の美容やファッションのトレンドを分析し、その社会的背景やそれらがマーケティングやブランディングに与える影響を理解する。			
【成績評価】 科目修得試験により評価する。			
【教科書】 『「イノベーター」で読むアパレル全史』（2020 年 中野 香織（著）日本実業出版社）			
【参考文献】 『ファッション イン ジャパン 1945-2020—流行と社会』（2021 年 島根県立石美術館、国立新美術館（編）青幻舎）			
【アクティブラーニング】 【学習の手引き】における「より学びを深めるために」に主体的に取り組むこと。 【事前事後学習】 教科書の該当部分の読み込み、【学習の手引き】における「学習のポイント」の振り返りなど、予習や復習を行うこと。 【ICT の活用】 学習、科目修得試験は、すべてWEB 上で行う。			
【備考】			

授業計画

回	テーマ	学習内容
1	美容とファッションの歴史①	19 世紀までの美容・ファッションの変遷と社会的背景を学ぶ。
2	美容とファッションの歴史②	20 世紀以降の主要なトレンドや、社会の変化とファッションへの反映について学ぶ。
3	ファッションと女性	20 世紀以降のファッションブランドと女性の社会的地位の相互作用について学ぶ。
4	ファッションと個人主義	20 世紀後半のライフスタイルの変化とファッションへの影響について学ぶ。
5	グローバリズムとファッション	グローバリズムの拡大がファッションに与えた影響について学ぶ。
6	ファッションのニッチ市場	グローバル市場の中でニッチな市場で顧客をつかむ事例を学ぶ。
7	ファッションとメディア	ファッション業界におけるメディアの役割や影響力について学ぶ。
8	日本の美容・ファッション文化	日本的な美しさとその文化的背景について学ぶ。
9	西洋と日本のファッション	日本のファッションが世界に与えた影響について学ぶ。
10	戦後日本のファッショントレンド	戦後の日本の社会生活の変化とファッションへの影響を学ぶ。
11	経済成長とファッション	20 世紀後半の日本の経済成長とファッションの影響を学ぶ。
12	カルチャーとファッション	日本のカルチャーとファッションの関係性について学ぶ。
13	21 世紀の日本のファッション	近年のファストファッションの登場の背景と影響を学ぶ。
14	コロナ後の日本のファッション	コロナ後の美とファッションの基準について学ぶ。
15	ビューティー・ファッションビジネスの今後	日本や世界におけるアパレルビジネスの今後について事例を参考に学ぶ。

通信教育課程 スクーリング 科目				
ナンバリング	Ls2n243	ディプロマポリシー	DP1、 DP3、 DP4	
ビューティー・ファッションコーディネート			履修年次	2前
			単 位	2
Beauty & fashion coordination			卒業要件	選択
			授業区分	専門科目
担当・シラバス執筆教員：入門 貴男	担当形態：単独	授業形態	講義	
		授業方法	メディア（オンデマンド）	
【実務経験との関連性】 ファッション老舗企業にて販売・広告戦略、管理会計を担う非常勤執行役員として勤務。				
【授業の概要】 美容・ファッション業界の基礎知識やトレンドへの理解を活かして、実際にブランドをプロデュースする力を養う。この演習を通じて、商品開発やマーケティング手法、流通戦略など、業界に対する理解を更に深め、理論に基づいた応用力と実践的なスキルを身につけることを目指す。また、自分のアイデアを具体的な形に表現する力や、他者に対して効果的に提案する力を養う。これにより、日常生活はもちろん、美容・ファッション業界だけでなく、マーケティングやデザイン、さらにはビジネス全般においても役立つスキルを習得することを目的とする。				
【授業の到達目標 及び テーマ】 ①ブランドマーケティングについての知識に基づいて商品プロデュースやターゲティング、販売施策の立案ができる。 ②ターゲットやトレンドに合わせた商品企画や販売促進施策などを提案する力を身につける。				
【成績評価】 課題の結果（70％）と、視聴状況および最終課題の提出（30％）を踏まえ、総合的な観点で評価する。				
【教科書】 適宜講義資料を配布 【参考文献】 なし				
【アクティブラーニング】 各回の授業の指示に従い、積極的に取り組むこと。 【事前事後学習】 教科書・配布資料の該当部分の読み込み、各回で実施する確認テスト等の振り返りなど、予習や復習を行うこと。 【ICT の活用】 授業は全てWEB 上で行う。				
【備考】				

授業計画

回	テーマ	学習内容
1	アパレルブランドプロデュース基礎	アパレルブランドに関する基礎知識を復習し、ブランドを構成する要素について理解する。
2	アパレル業界のトレンド	業界のトレンドとその社会的背景について学ぶ。
3	消費者行動	適切なマーケティング施策を打つための消費者行動について学ぶ。
4	商品と消費者心理	色や素材など、商品が消費者に与える心理的効果や影響について学ぶ。
5	ターゲット設定	アパレルブランドのセグメンテーションやターゲティングについて考察する。
6	コンセプト設計	ブランドや商品を創り上げる上での発想法を学ぶ。
7	アパレル商品企画①	商品企画をする上で押さえておくポイントと考え方について学ぶ。
8	アパレル商品企画②	季節やシーンに合わせた商品開発や提案の発想方法について学ぶ。
9	アパレル流通戦略	アパレル業界における流通を理解し、消費者に届ける方法を学ぶ。
10	アパレル販売戦略	アパレル業界のプロモーション戦略や広告手法について学ぶ。
11	ビジュアルマーチャンダイジング	店舗設計やビジュアルマーチャンダイジングの手法を学ぶ。
12	EC・WEB マーケティング	アパレル業界におけるeコマースやWEB・SNS を活用した提案手法について学ぶ。
13	ファンマーケティング	アパレルブランドへのロイヤルカスタマーを育てるための手法やその効果について学ぶ。
14	ブランド提案企画①	企画書の作り方を学ぶ。
15	ブランド提案企画②	考案した商品や販売施策を提案する方法を学ぶ。

通信教育課程 メディア 科目				
ナンバリング	Ls2n244	ディプロマポリシー	DP1、 DP3、 DP4	
ビューティーカウンセリング			履修年次	2後
			単 位	2
Beauty counseling			卒業要件	選択
			授業区分	専門科目
担当・シラバス執筆教員：比企 恵美子	担当形態：単独	授業形態	講義	
		授業方法	メディア（オンデマンド）	
【実務経験との関連性】 なし				
【授業の概要】 美容分野におけるカウンセリングスキルを学ぶことで、他者のニーズに応じた提案ができる力を養う。肌や髪、メイクに関する基本的な知識を身につけるとともに、最新の美容トレンドや商品知識についても理解を深める。また、ライフスタイルや悩みに合わせた美容プランの提案方法を学ぶ。美容に関する知識だけでなく、カウンセリングの流れを学習することで、他者との信頼関係を築くための聞き方や伝え方、適切なアドバイスの方法など、コミュニケーション能力やヒヤリング力、提案力を高める。この科目の学習を通じて、美容業界はもちろん、日常生活やビジネスシーンで幅広く役立つ対人スキルを身につけることを目的とする。				
【授業の到達目標 及び テーマ】 ①肌・髪・メイクに関する基礎知識やトレンドについて理解する。 ②傾聴力・共感力・観察力・伝える力を磨き、信頼関係を築くコミュニケーション技術を習得する。 ③他者の悩みやニーズに応じた解決策を提案する力を養う。				
【成績評価】 課題の結果（70％）と、視聴状況および最終課題の提出（30％）を踏まえ、総合的な観点で評価する。				
【教科書】 適宜講義資料を配布 【参考文献】 なし				
【アクティブラーニング】 各回の授業の指示に従い、積極的に取り組むこと。 【事前事後学習】 教科書・配布資料の該当部分の読み込み、各回で実施する確認テスト等の振り返りなど、予習や復習を行うこと。 【ICT の活用】 授業は全てWEB 上で行う。				
【備考】				

授業計画

回	テーマ	学習内容
1	美容基礎知識（肌編）	肌の構造やタイプ、スキンケアの基本を学び、肌診断の方法を習得する。
2	美容基礎知識（メイク編）	顔のバランス分析と、TPO に応じたメイクの基礎知識を習得する。
3	美容基礎知識（髪編）	髪と頭皮の健康管理、ヘアケアの基礎知識を学ぶ。
4	化粧品・コスメ知識①	肌やメイクに関する化粧品の種類や成分、活用事例を学ぶ。
5	化粧品・コスメ知識②	紙や頭皮に関する化粧品の種類や成分、活用事例を学ぶ。
6	カウンセリングの流れと基本技術	問診・分析・提案のステップを学び、カウンセリングの基礎を身につける。
7	傾聴力と共感力	顧客の悩みや希望を引き出し、信頼を築く聞き方を学ぶ。
8	観察力	顧客の言動からインサイトを捕えるための観察手法を学ぶ。
9	伝え方とアドバイス技術	分かりやすく効果的な伝え方、肯定的な言葉の使い方を習得する。
10	パーソナルカラー診断	個人に合う色を分析し、美容カウンセリングに活用する方法を学ぶ。
11	スキンケアカウンセリング	肌の悩みに合わせたスキンケアの提案方法を実践する方法を学ぶ。
12	メイクカウンセリング	顧客の特徴やニーズに合わせたメイクのアドバイス技術を習得する。
13	ヘアケア・スタイリングカウンセリング	髪質やライフスタイルに応じたヘアケアやスタイル提案を学ぶ。
14	世代に合わせたカウンセリング	世代別の肌や髪の悩みに対して適切に提案する方法を学ぶ。
15	ライフスタイル別美容プラン提案	生活習慣や環境を考慮した美容プランの立案と提案の事例を学ぶ。

通信教育課程		印刷教材	科目
ナンバリング	Ls1n245	ディプロマポリシー	DP1、DP3、DP4
ビジネス実務総論		履修年次	1前
		単 位	2
General business practice		卒業要件	選択
		授業区分	専門科目
担当・シラバス執筆教員：入門 貴男		授業形態	講義
		授業方法	印刷教材
【実務経験との関連性】 ファッション老舗企業にて販売・広告戦略、管理会計を担う非常勤執行役員として勤務。			
【授業の概要】 ビジネスにおける基本的な理念や仕組みの全体像を学び、社会人として必要な知識とスキルを身につける。企業活動や経営の基礎知識を学ぶことで、社会人としての視野を広げ、主体的にキャリアを形成する力を養う。また、マーケティングや会計制度、契約法に関する基本も学ぶことで、ビジネスで求められる実務スキルについても学習する。この科目を通して、授業目的は、社会で活躍するための基本を総合的に習得することができる。			
【授業の到達目標 及び テーマ】 ①企業活動の基礎や経営の基本概念を理解する。 ②マーケティングや会計制度などの基本的な知識を学ぶことで、社会人としての基礎力を養う。			
【成績評価】 科目修得試験により評価する。			
【教科書】 『経験から学ぶ経営学入門 第3版』（2024年 上林 憲雄、 <u>奥林 康司</u> 、 <u>團 泰雄</u> 他（著）有斐閣）			
【参考文献】 なし			
【アクティブラーニング】 【学習の手引き】における「より学びを深めるために」に主体的に取り組むこと。 【事前事後学習】 教科書の該当部分の読み込み、【学習の手引き】における「学習のポイント」の振り返りなど、予習や復習を行うこと。 【ICT の活用】 学習、科目修得試験は、すべてWEB 上で行う。			
【備考】			

授業計画

回	テーマ	学習内容
1	会社経営とは	会社経営の仕組みや種類について理解する。
2	会社の存在意義	会社の機能や社会的責任について学び、会社が社会全体で果たす役割を理解する。
3	コーポレート・ガバナンス	コーポレート・ガバナンスの構成要素や重要性を国内外の事例を交えて学ぶ。
4	経営理念と戦略	経営理念の意義と、様々な種類の経営戦略を学び、理解する。
5	組織形態	組織形態の基本モデルやバリエーション、及び組織形態をめぐる課題について学ぶ。
6	組織間関係	組織間関係のマネジメントの必要性和近年の課題について学ぶ。
7	生産管理	生産管理の仕組みとその仕組みによる働く人への影響について学ぶ。
8	組織構造と職務設計	企業組織づくりの基礎と、職務の在り方について学ぶ。
9	モチベーションとリーダーシップ	人が働く動機と、リーダーシップとの関係について学ぶ。
10	雇用システム	様々な雇用の種類や採用と退職に関わる近年の動向を学ぶ。
11	報酬制度	仕事における報酬の種類や在り方を学ぶ。
12	人材育成制度	人材育成や能力開発の重要性とその具体的な制度について学ぶ。
13	マーケティング	会社経営におけるマーケティングの意義と具体例を学ぶ。
14	会計制度	会社の利益や財政状況を理解するための財務諸表の基本的な読み方を学ぶ。
15	契約法	ビジネスにおける契約にまつわる法律を学ぶ。

通信教育課程 メディア 科目				
ナンバリング	Ls1n246	ディプロマポリシー	DP1、DP3、DP4	
Word 演習			履修年次	1 前
			単 位	2
Word exercises			卒業要件	選択
			授業区分	専門科目
担当・シラバス執筆教員：伊藤 敏孝		担当形態：単独	授業形態	講義
			授業方法	メディア（オンデマンド）
【実務経験との関連性】 なし				
【授業の概要】 Microsoft Word の基本操作から応用技術までを学び、ビジネスや日常生活で役立つ文書作成スキルを習得する。テキスト学習を通じて、文字入力やレイアウト設定、表や画像の挿入、スタイル設定など、文書を見やすく整理する方法を学ぶ。また、テンプレートの活用や目次作成、差し込み印刷といった実務に応用できる機能についても習得する。さらに、文書作成の効率化を図るショートカットや機能の活用法にも触れる。この科目を通じて、プロフェッショナルな仕上がりの文書を作成できる力を身につけ、仕事や学びの場で自信を持って活用できるスキルを養うことを目指す。				
【授業の到達目標 及び テーマ】 ①基本的な文書作成から実用的な機能活用まで、ビジネスシーンで求められるWord の操作技能を修得する。 ②読み手を意識した伝わりやすい文書の作成能力を身につけ、ビジネスライティングの基本を修得する。				
【成績評価】 課題の結果（70％）と、視聴状況および最終課題の提出（30％）を踏まえ、総合的な観点で評価する。				
【教科書】 『できるWord2024 Copilot 対応 Office 2024&Microsoft365 版』（2024 年 田中亘著（著） インプレス）				
【参考文献】 なし				
【アクティブラーニング】 各回の授業の指示に従い、積極的に取り組むこと。				
【事前事後学習】 教科書・配布資料の該当部分の読み込み、各回で実施する確認テスト等の振り返りなど、予習や復習を行うこと。				
【ICT の活用】 授業は全てWEB 上で行う。				
[備考]				

授業計画

回	テーマ	学習内容
1	【業務報告書の作成】 Word の基本操作	業務日報を作成することを想定し、ビジネス文書の基本構造と役割やWord の画面構成と基本操作を理解し、文字入力や保存・印刷の基本操作を修得する。
2	【社内連絡文書の作成】 文字・段落書式	部署内で会議日程を通知する文書を作成する。文字書式（フォント、サイズ、色）段落書式（配置、行間、インデント）などの設定や、日付や宛先の適切な配置について修得する。また、社内文書を作成する上での基本形式やマナーについても学ぶ。
3	【企画書の作成】 箇条書き・番号付きリスト	新商品のマーケティング企画を上司に提案する企画書を作成する。企画書の基本構成（背景、目的、内容）を押さえた上で、見出しや箇条書き、リストの作成方法を学ぶ。
4	【複数文書の作成】 ショートカットキーを活用した作業効率化	社内連絡文書や企画書など、複数の文書を限られた時間の中で作成することを想定し、ショートカットキーなどの作業を効率化するための機能を学び、業務スピードを向上させるための技術を学ぶ。
5	【月次売上報告書の作成】 表の作成とデータの整理	表の作成や書式設定（行列の追加や罫線、塗りつぶし、文字配置など）や表内での計算機能などを学び、数値データの見やすい表現方法を修得する。
6	【取引先への案内状の作成①】 ヘッダーやフッターの設定	自社製品の展示会開催を取引先に案内する正式な書類を作成する。ヘッダーやフッターの設定などの機能と合わせて、社外文書の構造、敬語の使い方も学ぶ。
7	【取引先への案内状の作成②】 差し込み印刷	差し込み印刷の機能を活用し、取引先リストを取り込んで宛名ラベルや案内状を作成する方法を学ぶ。
8	【社内イベント案内ポスターの作成】 画像・図形の活用	画像の挿入・編集（サイズ調整、配置、トリミング）、テキストボックスなどの図形の挿入・編集方法を学び、視覚的に伝わりやすく魅力的な文書を作成する。
9	【業務フローの作成】 スマートアートの活用	新しいプロジェクトの業務フローの整理をするためにスマートアートを活用した業務マニュアルの作成を行う。
10	【業務マニュアルの作成】 わかりやすい文書	新人研修用の業務マニュアルを作成する。業務に不慣れな新人でも理解できるような構成や読みやすさを追求した文書を作成する。また索引の作成と活用について学ぶ。
11	【チーム作業での文書作成】 校閲機能	チームで提案するプロジェクトの企画書の作成を行う。校閲機能（変更履歴やコメント挿入）や最終版への変更の反映方法などを学ぶ。またチームで文書作成する際に注意すること（役割分担や表現の統一など）についても学習する。
12	【製品マニュアルの作成と管理】 長文書の作成・管理	製品マニュアルのような50 ページを超える長文書の作成や管理方法について学ぶ。見出しレベルの階層化などのスタイルの管理や文書構造を整理するアウトライン機能、長文書内での効果的な移動をするためのナビゲーション機能などを学習する。
13	【覚書の作成】 公式文書と長文書の管理、校閲	取引先との業務委託契約に関する覚書を作成する。正式文書の書式やレイアウトについて学び、文書の校正機能や変更履歴、参照機能などを学ぶことで効率的かつ信頼性の高い文書の作成方法を修得する。
14	【新商品の企画書を作成する】 総合演習①	新商品の企画提案をする状況を想定し、上司に対して企画の推進に係る予算獲得の承認を得るための企画書を作成する。文書を実際に作成する前に、必要な情報は何かを整理し、リサーチをする。集めた情報をもとに上司が意思決定できるような構成を作成する。
15	【新商品の企画書を作成する】 総合演習②	第14 回でリサーチした内容や、考えた構成をもとに、必要な情報をわかりやすく、端的に伝えるための文書のレイアウトや、図や表の活用などWord の機能を第1回から学んだ内容を振り返りながら作成する。

通信教育課程 メディア 科目			
ナンバリング	Ls1n247	ディプロマポリシー	DP1、DP3、DP4
Excel 演習		履修年次	1後
		単 位	2
Excel exercises		卒業要件	選択
		授業区分	専門科目
担当・シラバス執筆教員：市川 千尋		授業形態	講義
		授業方法	メディア（オンデマンド）
【実務経験との関連性】 なし			
【授業の概要】 Microsoft Excel の基本操作から応用までを学び、データの整理や分析に役立つスキルを習得する。セル操作や表作成、関数や数式の利用方法を学ぶとともに、グラフの作成やデータの視覚化技術を身につける。さらに、フィルターやソート、ピボットテーブルを活用したデータ分析や、条件付き書式設定による効率的な情報整理も取り扱う。また、実務でよく使用されるテンプレートや自動化ツールの活用についても学習する。この科目を通じて、日常生活や仕事でExcel を効果的に使いこなせる実践的なスキルを身につけることを目指す。			
【授業の到達目標 及び テーマ】 ①Excel の基本操作から実用的な関数・機能を実務レベルで活用できる ②数値データを適切に分析し、分析結果を分かりやすく表現できる。			
【成績評価】 課題の結果（70％）と、視聴状況および最終課題の提出（30％）を踏まえ、総合的な観点で評価する。			
【教科書】 『できるExcel2024 Copilot 対応 Office 2024&Microsoft365 版』（2024 年 <u>羽毛田 睦士</u> （著）インプレス）			
【参考文献】 なし			
【アクティブラーニング】 各回の授業の指示に従い、積極的に取り組むこと。 【事前事後学習】 教科書・配布資料の該当部分の読み込み、各回で実施する確認テスト等の振り返りなど、予習や復習を行うこと。 【ICT の活用】 授業は全てWEB 上で行う。			
【備考】			

授業計画

回	テーマ	学習内容
1	【店舗基本情報の入力】 Excel の基本操作	全国でチェーン展開する飲食店の本部スタッフという立場を想定し、自社の各店舗の情報（店舗名、住所、座席数、従業員数など）をまとめたデータベースを作成し、Excel の基本的なインターフェースの理解やデータ入力、セルやシートの基本操作を学ぶ。
2	【週次売上報告データの作成】 効率的なデータ入力	週次で作成する売上レポートのフォーマットを作成する。罫線・セルの結合・色設定などを学び、見やすい表を作成する方法を修得する。同時にオートフィル機能や行・列の操作、ショートカットキーなど効率的に作業をする方法を学ぶ。
3	【売上集計と報告書の作成】 関数①SUM・AVERAGE	売上合計や平均値を算出する基本的な関数を学習する。また、効率的に計算するための相対参照と絶対参照の使い分けについても理解する。
4	【店舗業績の評価】 関数②COUNT・MAX・MIN・IF	店舗ごとの業績の評価をするために、売上が立っている店舗の数を数えるCOUNT 関数や、最大値・最小値を検索するMAX・MIN 関数、それらを組み合わせてより高度な分析を行うためのIF 関数の基礎を学ぶ。
5	【目標達成状況の分析】 IF 関数の応用と条件付き書式	IF 関数を応用した活用方法やその他のIF 系の関数の活用方法を学ぶ。また条件書式設定についても学ぶことで、店舗ごとの目標達成状況を確認、分析する。
6	【月次報告書の作成】 データのソートとレイアウト	月次報告書を作成することを想定し、ソートやオートフィルターを活用したデータの整理と見やすいページレイアウトや印刷設定について学ぶ。
7	【売上推移分析グラフ】 グラフの作成と編集	売上推移を視覚的に表現し、報告資料を作成する。棒グラフ、折れ線グラフの作成方法や編集・書式設定方法を学び、同時に用途に合わせた各グラフの選択ができるようにする。
8	【商品カテゴリ別売上分析】 複合的なデータ分析と報告	これまで学習してきた内容を応用し、商品や地域などの複数の観点からの分析を行う。同時に複合グラフなどの作成方法も学ぶ。
9	【全店舗のデータベースの構築】 データベース機能の基礎	全国の店舗や商品情報の大量のデータを扱うためのデータベースの設計方法について学ぶ。特にデータベースとして表を作成する際の注意点を押さえる。
10	【売上不振店舗の対策検討】 データ抽出と分析	高度なフィルター機能やデータの検索方法について学び、特定の条件（優良店舗や売上不振店舗など）に該当する店舗を抽出し、分析の基礎を身につける。
11	【データベースを活用した売上分析】 VLOOKUP 関数	第9 回で作成した店舗や商品のマスターデータと月次の売上データを連携させ、地域別・店舗別・商品別売上分析を行う。
12	【経営課題レポートの作成】 ピボットテーブルによるデータ分析	ピボットテーブルを活用して、全店舗の売上データを多角的に分析する方法を学ぶ。大量のデータを様々な視点から分析することで全社的な経営課題を特定する。
13	【改善戦略提案書の作成】 ピボットテーブルを活用した高度な分析	ピボットグラフや集計フィールドの追加などピボットテーブルの応用的な活用方法を学ぶことで、より高度な戦略的分析と改善提案を行う。
14	【マーケティング分析レポートの作成】 総合演習①	これまで学習した内容を活かして、本部のマーケティング担当者として、全店舗・全商品の売上データを集計・分析し、地域・商品などの課題に合わせた効果的なマーケティング戦略を経営陣に報告し、提案する資料を作成する。
15	【店舗経営改善提案書の作成】 総合演習②	この回では、ある地域のエリアマネージャーという立場を想定し、自エリアの店舗毎の売上や経費のバランスを分析し、不採算店舗の経営課題を特定した上で、業績改善案を営業本部長に提案する。

通信教育課程 メディア 科目				
ナンバリング	Ls2n248	ディプロマポリシー	DP1、DP3、DP4	
PowerPoint 演習			履修年次	2前
			単 位	2
PowerPoint exercises			卒業要件	選択
			授業区分	専門科目
担当・シラバス執筆教員：伊藤 敏孝	担当形態：単独	授業形態	講義	
		授業方法	メディア（オンデマンド）	
【実務経験との関連性】 なし				
【授業の概要】 伝えたいことを正確、簡潔、わかりやすくまとめてプレゼンテーションする力は、業種、職種に関わらず、すべてのビジネスパーソンに必要な能力である。この科目では、プレゼンテーション基礎力の習得を目指して、ストーリーの組み立て方、資料の作り方、発表の仕方の基本を学ぶ。資料作成および発表ツールはPowerPoint を使用し、プレゼンテーションに最低限必要な基本操作を一通り学習する。				
【授業の到達目標 及び テーマ】 ①基本操作から応用まで、PowerPoint の機能を目的に応じて使い分けられる。 ②相手に分かりやすく伝えるためのプレゼンテーション資料の企画・構成・作成・発表までを一貫して実践できる。				
【成績評価】 課題の結果（70％）と、視聴状況および最終課題の提出（30％）を踏まえ、総合的な観点で評価する。				
【教科書】 『できるPowerPoint2024 Copilot 対応 Office 2024&Microsoft365 版』（2024 年 <u>井上香緒里</u> （著）インプレス）				
【参考文献】 なし				
【アクティブラーニング】 各回の授業の指示に従い、積極的に取り組むこと。				
【事前事後学習】 教科書・配布資料の該当部分の読み込み、各回で実施する確認テスト等の振り返りなど、予習や復習を行うこと。				
【ICT の活用】 授業は全てWEB 上で行う。				
[備考]				

授業計画

回	テーマ	学習内容
1	【ビジネスシーンでの活用】 プレゼンテーションの基礎	PowerPoint の基本機能とビジネスシーンでの活用方法に加え、プレゼンテーションの基本原則を学び、理解する。
2	【自己PR 資料作成①】 構成設計と基本スライド作成	就職活動のシーンを想定した自己PR 資料を作成する。自己PR のための基本構成（表紙、自己紹介、強み、経験など）を理解、整理し、レイアウトやタイトル、目次の作成を行う。
3	【自己PR 資料作成②】 視覚的に伝わるデザインの基礎	プレゼンテーションにおける読みやすいフォントや配色、配置などを学ぶ。また箇条書きやインデント機能などによる情報整理の技法を修得する。
4	【自己PR 資料作成③】 画像や図形、スマートアート	画像や図形を活用した視覚的な情報伝達の方法を学ぶ。また複雑な情報をわかりやすくまとめるためのスマートアートの活用方法も修得する。
5	【自己PR 資料作成④】 アニメーション機能とタイミング制御	強調したいポイントを印象付けるための、アニメーション機能の活用方法を学ぶ。タイミング調整やトリガー設定、複数オブジェクトの連続アニメーションの構築についても修得する。
6	【自己PR 資料作成⑤】 プレゼンテーション	ここまで作成した資料をもとにプレゼンテーションの実演を行う。画面収録にて実施し、画面操作だけでなく、話し方や声の抑揚なども含めて自身のプレゼンテーションについての振り返りを行う。その過程でスライドショー機能についても修得する。
7	【PowerPoint 応用①】 スライドマスターの活用	スライドマスター機能を活用したテンプレート作成やマスターレベルでのアニメーションの設定方法を学ぶ。
8	【PowerPoint 応用②】 基本トランジション	より印象に残るプレゼンテーションを行うための高度な画面切り替え効果（フェード、プッシュ、ワイプなど）について学ぶ。
9	【PowerPoint 応用③】 3D トランジション	3D 回転や立方体、モーフィング機能を活用したスムーズな変形アニメーションや、複雑なトランジションの組み合わせ技術について学ぶ。
10	【営業提案資料の作成①】 ビジネスにおける資料の構成	顧客に自社の新商品提案を行う営業活動を想定したプレゼンテーションについて学習する。営業提案におけるプレゼンテーションの構成や顧客視点での資料作成について学ぶ。
11	【営業提案資料の作成②】 グラフ作成機能	市場分析や売上データを視覚的に伝え、顧客に課題提起をするためのグラフや表の活用方法を学ぶ。
12	【営業提案資料の作成③】 外部データ連携	Excel データの PowerPoint への埋め込み・リンクの活用方法や、配布資料として作成するためのPDF 化と印刷設定、配布資料としたときの資料作成のポイントを学ぶ。
13	【営業提案資料作成④】 動画・音声ファイルの挿入	動画や音声ファイルを活用したプレゼンテーションの技法を学ぶ。その際の注意事項やトラブル回避の為の手法、ハイパーリンク機能の活用方法を学ぶ。
14	【営業提案資料作成⑤】 クロージング	顧客の行動心理を理解し、顧客に意思決定をさせるためのクロージングの技法について学ぶ。
15	【営業提案資料作成⑥】 最終プレゼン	顧客に実際に商品提案をする状況を想定してプレゼンテーションの実演を行う。その際は、画面録画を行い、顧客の視点に立ち自身のプレゼンテーションが顧客の行動変容を促す効果があるか、振り返りを行う。

通信教育課程		印刷教材	科目
ナンバリング	Ls1n249	ディプロマポリシー	DP1、DP3、DP4
マーケティング		履修年次	1 前
		単 位	2
Marketing		卒業要件	選択
		授業区分	専門科目
担当・シラバス執筆教員：入門 貴男		授業形態	講義
		授業方法	印刷教材
【実務経験との関連性】 ファッション老舗企業にて販売・広告戦略、管理会計を担う非常勤執行役員として勤務。			
【授業の概要】 本授業では、現代の多様な市場環境において、顧客ニーズを的確に捉え、価値を創造・提供するためのマーケティング戦略を体系的に理解することを目的とする。具体的には、市場分析、顧客理解、製品・サービス開発、プロモーション、販売戦略など、マーケティング活動全般に必要な知識とスキルの習得を目指す。さらに、デジタル技術の進化やグローバル化など、変化の激しいビジネス環境に対応できる柔軟な思考力と、倫理観に基づいたマーケティング活動を実践できる能力の育成も行う。			
【授業の到達目標 及び テーマ】 ① マーケティングの基礎理論を理解する。 ② 消費者心理や市場環境を分析し、適切なマーケティング戦略を立案する力を身につける。 ③ ICT・SNS の発展や価格競争の変化を考慮し、費用対効果を重視したマーケティング手法を学ぶ。			
【成績評価】 科目修得試験により評価する。			
【教科書】 『マーケティング戦略 第6版』（2022 年 和田 充夫、恩蔵 直人、三浦 俊彦（著）有斐閣） 【参考文献】 なし			
【アクティブラーニング】 【学習の手引き】 における「より学びを深めるために」に主体的に取り組むこと。 【事前事後学習】 教科書の該当部分の読み込み、 【学習の手引き】 における「学習のポイント」の振り返りなど、予習や復習を行うこと。 【ICT の活用】 学習、科目修得試験は、すべてWEB 上で行う。			
【備考】			

授業計画

回	テーマ	学習内容
1	マーケティングとは	マーケティングの基本概念、歴史、企業や非営利組織における役割を学ぶ。
2	マーケティング戦略の基礎	マーケティング戦略の基礎として、4P（製品・価格・流通・プロモーション）の概念を学ぶ。
3	消費者行動の理解	購買意思決定プロセス、心理的要因、行動経済学との関連を学ぶ。
4	市場調査とデータ分析	定量・定性調査の手法、統計データの活用方法を理解する。
5	STP 戦略	セグメンテーション・ターゲティング・ポジショニング（STP）の戦略を理解する。
6	製品戦略（Product）	製品ライフサイクル、ブランド戦略、新商品開発プロセスを学ぶ。
7	価格戦略（Price）	コスト・競争・価値に基づく価格設定の考え方を理解する。
8	流通戦略（Place）	チャネルの種類、サプライチェーン、EC の発展とD2C 戦略を学ぶ。
9	プロモーション戦略（Promotion）	広告、PR、販売促進、デジタルマーケティングの手法を学ぶ。
10	消費者購買プロセス	消費者の購買行動と企業のマーケティング戦略の関係性を学ぶ。
11	デジタルマーケティングと ICT 活用	SNS、SEO、インフルエンサーマーケティングの戦略を理解する。
12	サービスマーケティング	無形財の特性、顧客満足、ロイヤルティ向上のための手法を学ぶ。
13	ブランド価値と企業戦略	ブランド・エクイティ、ブランドポートフォリオ戦略を考察する。
14	CSR・サステナブルマーケティング	環境配慮・社会的責任を踏まえたマーケティング戦略を学ぶ。
15	ケーススタディ分析	実際の企業のマーケティング事例を分析し、成功要因を探る。

通信教育課程		印刷教材	科目
ナンバリング	Ls2n250	ディプロマポリシー	DP1、DP3、DP4
SNS マーケティング		履修年次	2後
		単 位	2
SNS marketing		卒業要件	選択
		授業区分	専門科目
担当・シラバス執筆教員：沢田 史子		授業形態	講義
		授業方法	印刷教材
【実務経験との関連性】 なし			
【授業の概要】 SNS を活用したマーケティングの基本から応用までを学ぶ。主要な SNS プラットフォームの特徴や独自機能、ユーザー層や利用方法を理解し、それぞれの特性に応じたマーケティング戦略の立案方法を学習する。さらに、ターゲット設定や効果的なコンテンツの作成、投稿スケジュールの最適化、分析ツールを用いた効果測定、炎上リスクの理解と対応方法など、実務で役立つ具体的な手法を習得する。この科目での学びを通して、あらゆる業界において、SNS を活用したマーケティング活動を効果的に行い、ビジネスの成長を促進するためのスキルを身につけることを目的とする。			
【授業の到達目標 及び テーマ】 ①主要なSNS の特性と活用方法を学び、適切なマーケティング戦略を理解できる。 ②SNS マーケティングにおけるターゲット設定やコンテンツ作成、効果測定の手法を習得する。 ③炎上リスクやSNS 上のトラブル対応について学び、安全に運用するスキルを身につける。			
【成績評価】 科目修得試験により評価する。			
【教科書】 『デジタル時代の基礎知識『SNS マーケティング』 第3 版 「つながり」と「共感」で利益を生み出す新しいルール』（2023 年 長谷川直紀、本門 功一郎（著） 翔泳社） 【参考文献】 なし			
【アクティブラーニング】 【学習の手引き】 における「より学びを深めるために」に主体的に取り組むこと。 【事前事後学習】 教科書の該当部分の読み込み、 【学習の手引き】 における「学習のポイント」の振り返りなど、予習や復習を行うこと。 【ICT の活用】 学習、科目修得試験は、すべてWEB 上で行う。			
【備考】			

授業計画

回	テーマ	学習内容
1	SNS マーケティングの概要	SNS の役割、現代マーケティングとの関係を理解する。
2	企業の投稿とファンのロコミの関係性	現代の情報消費行動の視点から、企業の投稿とファンのロコミとの関係性について学ぶ。
3	ターゲット設定とペルソナ設計	SNS 戦略におけるターゲット設定とペルソナ設計の重要性について学ぶ。
4	主要SNS の特性と違い①	Facebook、X（旧Twitter）の概要やユーザーの特徴を理解する。
5	主要SNS の特性と違い②	Instagram、LINE の概要やユーザーの特徴を理解する。
6	主要SNS の特性と違い③	TikTok、YouTube の概要やユーザーの特徴を理解する。
7	分析ツールとデータ活用	SNS アナリティクス、KPI 設定、PDCA サイクルについて理解する。
8	コンテンツマーケティングの基本	視覚・文章コンテンツの特性、エンゲージメントの高い投稿の傾向を掴む。
9	投稿スケジュールとアルゴリズム対策	最適な投稿頻度、時間帯、ハッシュタグ活用を理解する。
10	SNS キャンペーン的设计	プロモーション施策、インフルエンサーマーケティングの活用を学ぶ。
11	広告活用の基礎	SNS 広告の種類、ターゲティング設定、予算管理を理解する。
12	ユーザーコメントの活用	ユーザーコメントに対する考え方や効果的な活用方法について学ぶ。
13	炎上予防と対策	SNS 運用における炎上のプロセスや予防策（個人情報、著作権等）・対処法について学ぶ。
14	運用効率を上げるSNS マーケティングツール	SNS マーケティングを効果的に行うための分析ツールや監視サービスなどを学ぶ。
15	企業SNS 運用の事例	企業アカウントを効果的に運用している事例を学び、より良い運用方法のポイントを理解する。

通信教育課程		印刷教材	科目
ナンバリング	Ls2n251	ディプロマポリシー	DP1、DP3、DP4
観光ビジネス概論		履修年次	2後
		単 位	2
Tourism business overview		卒業要件	選択
		授業区分	専門科目
担当・シラバス執筆教員：沢田 史子		授業形態	講義
		授業方法	印刷教材
【実務経験との関連性】 なし			
【授業の概要】 「観光立国宣言」をした日本は、日本人の海外旅行や国内旅行だけにとどまらず、訪日外国人旅行の誘致を積極的に行っている。本講義では、観光ビジネスの全体像を把握し、持続可能な観光の実現に向けた知識の習得を行う。観光産業の構造や動向、観光資源の活用、地域振興、など、観光ビジネスに関わる要素に加え、少子高齢化や人口減少、インバウンド、データサイエンスなどの観点から、観光と社会の関わりを理解する。これらの知識とスキルを習得することで、持続可能な観光の発展に貢献できる人材育成を目指す。			
【授業の到達目標 及び テーマ】 ①観光ビジネスの概要について理解する。 ②日本の観光分野の現状と課題について理解する。 ③観光分野におけるデジタル技術の活用について理解する。			
【成績評価】 科目修得試験により評価する。			
【教科書】 『DX 時代の観光と社会』（2024 年 沢田史子、小越咲子、伴浩美（著）近代科学社）			
【参考文献】 なし			
【アクティブラーニング】 【学習の手引き】における「より学びを深めるために」に主体的に取り組むこと。 【事前事後学習】 教科書の該当部分の読み込み、【学習の手引き】における「学習のポイント」の振り返りなど、予習や復習を行うこと。 【ICT の活用】 学習、科目修得試験は、すべてWEB 上で行う。			
【備考】			

授業計画

回	テーマ	学習内容
1	観光ビジネスの概要	観光ビジネスの概要を理解する。
2	観光を学ぶ意義	観光の定義と歴史を学び、観光の社会的・経済的意義を考察する。
3	数字で見る観光・魅力度ランキング	観光統計やランキングを用いて、日本および世界の観光動向を分析する。
4	観光による影響①	観光におけるマイナスの影響について理解する。
5	観光による影響②	オーバーツーリズムの現状と対策について理解する。
6	日本の観光産業①	日本の観光産業の現状について理解する。
7	日本の観光産業②	地方創生における観光の役割について理解する。
8	日本の観光産業③	インバウンドと貿易量について理解する。
9	観光DX①	交通機関の種類と役割、観光との関係を学ぶ。観光におけるオープンデータの利用方法を理解する。
10	観光DX②	観光データの統計分析方法を理解する。
11	観光DX③	観光分野におけるデジタル技術の活用について理解する。
12	高齢者観光①	高齢者の観光の特徴を理解する。
13	高齢者観光②	高齢者の観光推進について学ぶ。
14	伝統産業と地域活性化	伝統産業による地域活性化の現状と課題を理解する。
15	口コミの観光への影響	口コミの観光への影響と分析方法を理解する。

通信教育課程		印刷教材	科目
ナンバリング	Ls2n252	ディプロマポリシー	DP1、DP3、DP4
社会心理学		履修年次	2前
		単 位	2
Social psychology		卒業要件	選択
		授業区分	専門科目
担当・シラバス執筆教員：松原 詩緒		授業形態	講義
		授業方法	印刷教材
【実務経験との関連性】 なし			
【授業の概要】 社会心理学では、私たち自身（個人）と、私たちが所属する社会集団との関わりに焦点をあて、私たちの「こころ」のしくみについて考察を進める。個人が社会集団の中でいかなる認知をするのか、さらに「他者」との関係の中で私たちはどのように適応しようとするのか、あるいは「集団」の一員と化した時に人はどのようにふるまうのかを中心に学習する。また、社会心理学の周辺領域における社会科学の基本的な考え方や技法を取り上げ、これらを自分の生活の中に認められる様々な現象・行動に当てはめ、人の行動についての理解を深めていく。この科目を通じて、社会心理学の知識を現実の課題に結び付け、より深い学びと実践力を身につけることを目指す。			
【授業の到達目標 及び テーマ】 ①社会心理学の基本概念や理論を理解する。 ②人間の行動や心理が社会集団の中でどのように影響しあうのかを理解できる。 ③日常生活で起こる様々な出来事や社会問題について、社会心理学の視点から解釈し、理解する力を養う。			
【成績評価】 科目修得試験により評価する。			
【教科書】 『イラストレート社会心理学』（2023年 齊藤勇（著） 誠信書房） 【参考文献】 なし			
【アクティブラーニング】 【学習の手引き】 における「より学びを深めるために」に主体的に取り組むこと。 【事前事後学習】 教科書の該当部分の読み込み、 【学習の手引き】 における「学習のポイント」の振り返りなど、予習や復習を行うこと。 【ICT の活用】 学習、科目修得試験は、すべてWEB 上で行う。			
【備考】			

授業計画

回	テーマ	学習内容
1	社会心理学とは	社会心理学の基本概念と歴史を理解する。
2	社会的認知	人はどのように情報を処理し、解釈するのかを学ぶ。
3	自己認知	自己概念や自己評価の形成について学ぶ。
4	対人認知	他者をどのように理解し、評価するかを学ぶ。
5	社会的感情	感情が社会的行動に与える影響を学ぶ。
6	社会的欲求	人間が持つ基本的な社会的欲求について学ぶ。
7	言語的コミュニケーション	言葉を用いたコミュニケーションの特徴や効果的な伝達方法について学ぶ。
8	非言語コミュニケーション	表情やジェスチャー、視線などの非言語的手段を用いたコミュニケーションの特徴を学ぶ。
9	親密な人間関係	友人関係や家族関係の心理的要因を学ぶ。
10	恋愛と人間関係	恋愛と人間関係について学ぶ。
11	援助行動とソーシャル・サポート	他者を助ける行動の動機及び促進する要因学ぶ。
12	攻撃行動の心理	攻撃行動の心理学的背景を学ぶ。
13	集団の心理	集団の中で起こる特殊な心理状態について学ぶ。
14	経済行動の心理	人々の経済行動を心理学的に考察し、消費者行動や意思決定のメカニズムを学ぶ。
15	社会心理学の応用	社会心理学の知見をビジネス、医療、教育などの現場に応用する方法を学ぶ。

通信教育課程		印刷教材	科目
ナンバリング	Ls1n253	ディプロマポリシー	DP1、DP3、DP4
モチベーション論			履修年次
			1 後
Motivation theory			単 位
			2
担当・シラバス執筆教員：石橋 里美			卒業要件
			選択
担当形態：単独			授業区分
			専門科目
			授業形態
			講義
			授業方法
			印刷教材
【実務経験との関連性】 なし			
【授業の概要】 仕事や学習に取り組むとき、重要な役割を果たすモチベーションについて、その概念と理論を学び、自身の日常の活動に活かしたり、職場や学習の場で起こるモチベーションに関する事象に適用して考察したりする力を養う。具体的には、内発的動機づけや外発的動機づけの違い、欲求段階説や期待理論、目標設定理論など、モチベーションに関する主要な理論を学習する。また、職場や生活の場で、個人の成長においてモチベーションを高める具体的な方法や、自己効力感やフィードバックの役割についても学ぶ。この科目を通じて、自己のモチベーションをコントロールする要素や他者のやる気を引き出すための知識を身につけることを目指す。			
【授業の到達目標 及び テーマ】 ①モチベーションに関する基本的な理論（欲求階層説、内発的動機づけ理論、達成動機理論、自己効力理論、職務満足理論など）を理解する。 ②モチベーションに関する理論に基づいて、モチベーションの重要性を理解する。			
【成績評価】 科目修得試験により評価する。			
【教科書】 『モチベーションの心理学（現代に生きる心理学ライブラリ：困難を希望に変える心理学VII-1）』（2023 年 角山剛・石橋里美（著）サイエンス社） 【参考文献】 なし			
【アクティブラーニング】 【学習の手引き】 における「より学びを深めるために」に主体的に取り組むこと。 【事前事後学習】 教科書の該当部分の読み込み、 【学習の手引き】 における「学習のポイント」の振り返りなど、予習や復習を行うこと。 【ICT の活用】 学習、科目修得試験は、すべてWEB 上で行う。。			
【備考】			

授業計画

回	テーマ	学習内容
1	モチベーションへのアプローチ	モチベーションの定義と学ぶ意義について理解する。
2	組織におけるモチベーション研究の流れ	組織行動場面を中心にモチベーション研究の流れをたどり、代表的な研究者の業績を理解する。
3	欲求とモチベーション	欲求のメカニズムと欲求の存在がどのように人々の行動に影響を及ぼすかを学ぶ。
4	欲求理論の組織における展開	欲求概念が組織行動の中でどのように捉えられ、展開されてきたのかを学ぶ。
5	動機づけー衛生要因理論	衛生要因理論をもとに、満足と不満足がどのような関係にあり、仕事態度にどのような影響をもたらすのかを学ぶ。
6	内発的モチベーション	内発的モチベーションの特徴と重要性について学ぶ。
7	期待理論	仕事におけるモチベーション研究のエポックとなった道具性期待理論について学ぶ。
8	公平・公正感とモチベーション	公平・公正感とモチベーションとの関係性について理解する。
9	目標とモチベーション	目標設定理論と達成目標理論に基づいて、目標がモチベーションに及ぼす効果について学ぶ。
10	自己効力感とモチベーション	自己効力感とモチベーションとの関係性について理解する。
11	リーダーシップ	リーダーとして、組織の目標達成に向けてメンバーのモチベーションを引き出すために重要なことを学ぶ。
12	組織コミットメント	働く人と組織、あるいは働く人と仕事の結びつきにより促進される仕事への意欲や成果について学ぶ。
13	働く人のモチベーションの向上	働く人がやりがいを見出し、自らモチベーションを高めていくために有効となる考え方を学ぶ。
14	キャリア形成へのモチベーション	キャリア形成とモチベーションとの関係性について理解する。
15	ポジティブ心理学の潮流とモチベーション	最近の心理学の潮流であるポジティブ心理学とモチベーションとの関係性について理解する。

通信教育課程		印刷教材	科目
ナンバリング	Ls1n254	ディプロマポリシー	DP1、DP3、DP4
簿記		履修年次	1 後
		単 位	2
Bookkeeping		卒業要件	選択
		授業区分	専門科目
担当・シラバス執筆教員：入門 貴男		授業形態	講義
		授業方法	印刷教材
【実務経験との関連性】 ファッション老舗企業にて販売・広告戦略、管理会計を担う非常勤執行役員として勤務。			
【授業の概要】 誰もがビジネスに関わり、その結果として「お金」という収入を得て生活している。簿記は、その「お金」を得るためのビジネスの取引をシンプルに数字で示す共通の言葉である。本科目は、初めて簿記を学ぶ人を対象とし、簿記の基本的な骨組みを徹底的に学ぶことで、経営的視点を身につけ、ビジネスの世界をより深く理解できるようになることを目指す。また、日商簿記検定3級の資格取得を目指す学生に向けた、3級入門の役割を担う科目でもある。			
【授業の到達目標 及び テーマ】 ①簿記の基本概念や仕組みを理解し、取引の記録方法を習得する。 ②仕訳・転記・試算表作成などの基本技術を身につけ、帳簿の流れを理解する。 ③財務諸表（貸借対照表・損益計算書）の作成方法を学び、理解する。			
【成績評価】 科目修得試験により評価する。			
【教科書】 『みんなが欲しかった！簿記の教科書 日商3級商業簿記 第14版』（2026年 滝澤ななみ著 TAC 出版）			
【参考文献】 なし			
【アクティブラーニング】 【学習の手引き】における「より学びを深めるために」に主体的に取り組むこと。 【事前事後学習】 教科書の該当部分の読み込み、【学習の手引き】における「学習のポイント」の振り返りなど、予習や復習を行うこと。 【ICT の活用】 学習、科目修得試験は、すべてWEB 上で行う。			
【備考】			

授業計画

回	テーマ	学習内容
1	簿記の基礎	簿記の役割や目的、企業会計の基本構造を学ぶ。資産・負債・純資産の概念を理解する。
2	取引と勘定科目の理解	取引の分類と勘定科目の役割を学び、取引が財務諸表に与える影響を理解する。
3	仕訳と転記の基礎①（現金・預金取引）	現金・預金の仕訳ルールを学び、帳簿への転記方法を習得する。
4	仕訳と転記の基礎②（売上・仕入取引）	商品売買の記録方法を学び、売掛金・買掛金の仕訳を理解する。
5	手形と電子記録債権	手形と電子記録債権の処理について理解する。
6	試算表の作成と帳簿の流れ	仕訳帳・総勘定元帳・試算表の流れを学び、記帳の重要性を理解する。
7	精算表の作成と決算の流れ	決算整理仕訳を学び、試算表から精算表への流れを理解する。
8	損益計算書（PL）の作成と分析	損益計算書の構成要素を学び、企業の利益構造を理解する。
9	貸借対照表（BS）の作成と分析	貸借対照表の基本構造を学び、財務状況を読み取る力を養う。
10	減価償却と固定資産の会計処理	減価償却の仕組みを学び、固定資産の管理方法を理解する。
11	収益・費用の繰延と見越し処理	決算時の繰延・見越し処理を学び、正確な期間損益計算を理解する。
12	税金と簿記（消費税・法人税）	消費税の計算や法人税の基本を学び、税務処理の基礎を理解する。
13	資金繰りとキャッシュフローの基礎	キャッシュフロー計算書の基本を学び、資金繰りの重要性を理解する。
14	過去問題演習①	日商簿記3 級レベルの過去問題に取り組む。
15	過去問題演習②	第14 回授業に続けて、日商簿記3 級レベルの過去問題に取り組む。

通信教育課程		印刷教材	科目
ナンバリング	Ls2n255	ディプロマポリシー	DP1、DP3、DP4
医療事務		履修年次	2前
		単 位	2
Medical affairs		卒業要件	選択
		授業区分	専門科目
担当・シラバス執筆教員：寺岡 義行		授業形態	講義
		授業方法	印刷教材
【実務経験との関連性】 なし			
【授業の概要】 医療機関での事務業務に必要な知識とスキルを学ぶ。医療保険制度の基礎、診療報酬請求（レセプト）の仕組み、医療用語や薬剤の基本を理解する。また、患者対応や電話応対といった接遇マナーや、個人情報保護に関する法的知識についても学ぶ。さらに、事例を通じて医療事務の実務フローを具体的に学び、実践的な力を養う。初心者にもわかりやすい内容で構成されており、医療事務としての基礎力を確実に身につけることができる。この科目を通じて、医療機関での業務に自信を持って取り組める実践的なスキルと知識を得ることを目指す。			
【授業の到達目標 及び テーマ】 ①外来および入院の診療録（カルテ）の診療行為から診療報酬を算定できる。 ②算定全般を学び、診療報酬明細書（レセプト）の点検方法を理解する。 ③患者対応や個人情報保護に関する知識を学び、適切な接遇と法令遵守を理解する。			
【成績評価】 科目修得試験により評価する。			
【教科書】 『いちばんやさしい医療事務超入門』（2024年 水口錠二（著） ぱる出版） 【参考文献】 なし			
【アクティブラーニング】 【学習の手引き】における「より学びを深めるために」に主体的に取り組むこと。 【事前事後学習】 教科書の該当部分の読み込み、【学習の手引き】における「学習のポイント」の振り返りなど、予習や復習を行うこと。 【ICT の活用】 学習、科目修得試験は、すべてWEB 上で行う。			
【備考】			

授業計画

回	テーマ	学習内容
1	医療事務の役割	医療事務の業務範囲や医療機関での役割を理解する。
2	医療事務の基本業務	受付業務、会計業務、レセプト作成などの医療事務における基本的な業務内容を学ぶ。
3	医療保険制度の基礎	日本の医療保険制度の概要を学び、健康保険、国民健康保険、公費負担医療制度などの違いを理解する。
4	診療報酬の仕組み	診療報酬制度の基礎を学び、点数表の見方や算定基準について理解を深める。
5	レセプトの基礎	レセプト（診療報酬明細書）の役割や作成の流れを学ぶ。記載内容や点検のポイントを理解する。
6	医療用語と病名分類	医療事務に必要な医療用語を学び、病名や診療行為の分類を理解する。
7	薬剤と処方箋の基礎知識	医療機関で取り扱う薬剤の基本や、処方箋の見方について学ぶ。
8	受付業務と患者対応	患者対応の基本マナーや受付業務の流れを学び、適切な接遇を習得する。
9	電話応対とコミュニケーション	医療機関で求められる電話応対の基本や、患者との円滑なコミュニケーション技術を学ぶ。
10	診療報酬請求（外来）	外来診療のレセプト作成方法を学び、具体的な請求事例を通じて学ぶ。
11	診療報酬請求（入院）	入院診療のレセプト作成方法を学び、請求の流れや注意点を理解する。
12	医療関連法規と個人情報保護	医療関連法規や個人情報保護法について学び、法令遵守の重要性を理解する。
13	医療機関の会計業務	医療機関での会計業務の流れを学び、診療費の計算や請求業務を理解する。
14	電子カルテと情報管理	電子カルテの基本や、医療情報の適切な管理方法について学ぶ。
15	医療事務業務の問題演習	これまで学んだ内容をもとに、模擬レセプト作成などの問題演習を行う。

通信教育課程		印刷教材	科目
ナンバリング	Ls2n256	ディプロマポリシー	DP1、DP3、DP4
秘書実務		履修年次	2前
		単 位	2
Secretarial practice		卒業要件	選択
		授業区分	専門科目
担当・シラバス執筆教員：小早川 香菜		授業形態	講義
		授業方法	印刷教材
【実務経験との関連性】 なし			
【授業の概要】 トップマネジメントを補佐する秘書は、会社・企業に関係する幅広い知識と秘書実務の専門的知識が求められる。そのような知識を習得するために、本科目では、秘書の役割や、ビジネスマナー、文書作成、スケジュール管理、経理業務、慶弔業務、情報管理、コミュニケーションスキルなどを学ぶ授業構成とする。秘書として必要な能力や心構えを理解することで、就職活動やキャリアアップに役立てることができる科目である。			
【授業の到達目標 及び テーマ】 ①秘書として必要な心構えを理解する。 ②秘書業務に必要なビジネスマナーを学び、理解する。 ③文書作成、スケジュール管理、情報管理などの実務スキルを学ぶ。			
【成績評価】 科目修得試験により評価する。			
【教科書】 『改訂2 版 出る順問題集 秘書検定3 級に面白いほど受かる本』（2019 年 佐藤一明（著）KADOKAWA） 【参考文献】 なし			
【アクティブラーニング】 【学習の手引き】 における「より学びを深めるために」に主体的に取り組むこと。 【事前事後学習】 教科書の該当部分の読み込み、 【学習の手引き】 における「学習のポイント」の振り返りなど、予習や復習を行うこと。 【ICT の活用】 学習、科目修得試験は、すべてWEB 上で行う。			
【備考】			

授業計画

回	テーマ	学習内容
1	秘書の役割	秘書の役割や求められる資質について理解する。
2	秘書の基本業務と身だしなみ	秘書の業務内容と身だしなみのポイントについて理解する。
3	外出時のマナーと上司の出張時の対応	外出時のマナーや、上司の出張時の対応方法について学ぶ。
4	電子メールとスケジュール管理	電子メールやスケジュール管理のポイントについて学ぶ。
5	税務・財務と会社・経営に関する知識	秘書に求められる、税務・財務と会社・経営に関する知識を学ぶ。
6	人事労務と法律に関する知識	秘書に求められる、人事労務と法律に関する知識を学ぶ。
7	接遇と来客対応	来客対応の基本や受付・案内の手順を学び、適切な対応を身につける。
8	冠婚葬祭と贈答のマナー	冠婚葬祭に関するマナーや企業間の贈答ルールを学ぶ。
9	電話対応と言葉遣い	電話対応の基本や適切な言葉遣いを学ぶ。
10	エレベーターでのマナーとお茶の出し方	エレベーターでの来客へのマナーとお茶の出し方について学ぶ。
11	郵便と会議の知識	郵便と会議に関する知識を学び、理解する。
12	社内文書の書き方	社内文書の書き方を学び、理解する。
13	社外文書の書き方	社外文書の書き方を学び、理解する。
14	情報管理と秘書の守秘義務	情報管理の基本と秘書としての守秘義務の重要性について学ぶ。
15	秘書業務における状況対応	秘書業務におけるケーススタディを通して、判断力を磨く。

通信教育課程		印刷教材	科目
ナンバリング	Ls1n257	ディプロマポリシー	DP1、DP3、DP4
動画編集基礎		履修年次	1 後
		単 位	2
Video editing basics		卒業要件	選択
		授業区分	専門科目
担当・シラバス執筆教員：豊田 雄彦		授業形態	講義
		授業方法	印刷教材
【実務経験との関連性】 なし			
【授業の概要】 動画制作の基本スキルを学び、企画から配信までの一連の流れを学ぶ。動画の出力形式や解像度、ファイル管理といった基礎的な知識に加え、一般的な動画編集ソフトの基本操作やタイムラインの活用方法、カット編集や音声の挿入、テキストやエフェクトの追加などの基礎技術を学ぶ。また、映像制作における構成やストーリーボードの作成方法についても学習することで、効果的なストーリーテリングを目指す。この科目を通じて、初心者でも基本的な動画を制作できるための知識を養うことを目指す。			
【授業の到達目標 及び テーマ】 ① 動画編集の基本的なワークフロー（企画・撮影・編集・書き出し）を理解する。 ② 動画編集ソフトの基本操作を習得し、カット編集・音声編集・テロップ挿入などの技術を理解する。 ③ 映像の構成やストーリーテリングの基本を理解し、視聴者に伝わる動画制作の方法を理解する。			
【成績評価】 科目修得試験により評価する。			
【教科書】 『世界一わかりやすい動画制作の教科書』（2022 年 小島真也（著） 技術評論社） 【参考文献】 なし			
【アクティブラーニング】 【学習の手引き】 における「より学びを深めるために」に主体的に取り組むこと。 【事前事後学習】 教科書の該当部分の読み込み、 【学習の手引き】 における「学習のポイント」の振り返りなど、予習や復習を行うこと。 【ICT の活用】 学習、科目修得試験は、すべてWEB 上で行う。			
【備考】			

授業計画

回	テーマ	学習内容
1	動画制作の流れ	動画制作の流れや概要について学ぶ。
2	動画の企画とリサーチ	動画制作の企画書の作成方法や下調べのポイントについて学ぶ。
3	映像構成とストーリーテリング	視聴者に伝わりやすい構成の考え方と、ストーリーの組み立て方を学ぶ。
4	撮影台本とナレーション原稿作成	構成案をもとに撮影台本を作成し、効果的なナレーション原稿を作る手法を学ぶ。
5	カメラワークの基本	カメラの種類、基本操作、フレームレート、動画サイズなどの基礎知識を習得する。
6	編集で困らないための撮影技法	編集で困らない撮影技法として、イマジナリーラインや30 度ルールなどを学ぶ。
7	ストーリーを意識した撮影	5W1H を意識した撮影やスムーズな場面転換の方法を学ぶ。
8	音声収録とナレーション録音	クリアな音声を録るためのマイクの選び方や、ナレーションの録音技術を学ぶ。
9	ライティングの基礎と実践	光の種類と特性、基本的なライティング技法を学び、実際の撮影に活かす。
10	動画編集の基礎（カット編集・トランジション）	動画編集ソフトの基本操作を学び、カット編集や場面転換の手法を習得する。
	映像の編集とつなぎの基礎	編集の基本原理とカットつなぎ・場面転換の手法を学ぶ。
12	音声の編集	音量調整やノイズの除去などの音声編集の基本を学ぶ。
13	テロップ・タイトル作成と挿入	伝わるテロップのデザインや、タイトル画面の作成方法を学ぶ。
14	カラーグレーディングの基礎	映像のチェック、修正作業、クオリティを高めるための方法を学ぶ。
15	動画の書き出しと公開方法	動画の納品形態、適切な書き出し設定、YouTube などへの公開方法を学ぶ。

通信教育課程 メディア 科目			
ナンバリング	Ls2n258	ディプロマポリシー	DP1、DP3、DP4
動画編集応用			履修年次
			2前
Video editing application			単 位
			2
			卒業要件
			選択
担当・シラバス執筆教員：豊田 雄彦			授業区分
			専門科目
担当形態：単独		授業形態	講義
		授業方法	メディア（オンデマンド）
【実務経験との関連性】 なし			
【授業の概要】 動画制作の基礎スキルをさらに発展させ、より高度で実践的な映像制作技術を習得する。実践学習を通じて、トランジションやアニメーション効果、高度なエフェクトの適用方法、複数トラックを使った動画編集技術を学ぶ。また、カラーグレーディングや音声の調整、BGM や効果音の活用による映像の完成度向上にも取り組む。さらに、映像作品の目的やターゲットに応じたストーリーテリングや構成力を養い、企画から編集、最終出力までの全プロセスを実践的に経験する。この科目を通じて、映像制作における表現力と技術力を向上させ、自分のアイデアを効果的に伝える動画作品を制作する力を身につけることを目指す。			
【授業の到達目標 及び テーマ】 ① 高度な動画編集技術（トランジション、エフェクト、カラーグレーディング、音響編集）を習得する。 ② ストーリーテリングや構成技術を活用し、ターゲットに適した魅力的な映像作品を制作できる。 ③ 実践的な編集プロセスを通じて、自分のアイデアを効果的に表現するスキルを養う。			
【成績評価】 課題の結果（70％）と、視聴状況および最終課題の提出（30％）を踏まえ、総合的な観点で評価する。			
【教科書】 『センスがUPする、動画編集の教科書』（2023年 Rec Plus（著） ビー・エヌ・エヌ） 【参考文献】 なし			
【アクティブラーニング】 各回の授業の指示に従い、積極的に取り組むこと。 【事前事後学習】 教科書・配布資料の該当部分の読み込み、各回で実施する確認テスト等の振り返りなど、予習や復習を行うこと。 【ICT の活用】 授業は全てWEB 上で行う。			
【備考】			

授業計画

回	テーマ	学習内容
1	動画編集の発展的理解	高度な編集技術の概要、目的に応じた編集の考え方を理解する。
2	カット編集の応用	カットの連続性、リズムとテンポ、モンタージュ理論を理解する。
3	構図の発展技術	画面バランス、動きの表現、3D 的な構図の活用を学ぶ。
4	トランジションとエフェクト	シームレスな切り替え技法、効果的な演出手法を学ぶ。
5	音声編集の応用	BGM と効果音の活用、音の心理的影響について理解する。
6	カラーグレーディングの基礎	色補正の基本、明度・彩度・コントラスト調整を理解する。
7	カラーグレーディングの応用	映画風の色調補正、ムード作りの技法を学ぶ。
8	文字とテロップデザイン	フォント選び、レイアウト、可読性の向上を理解する。
9	アニメーションとモーションデザイン	動きを加えた表現の技術を学ぶ。
10	映像のストーリーテリング	ナラティブ構成、視聴者を惹きつける手法を身につける。
11	マルチトラック編集	複数映像・音声レイヤーを活用した編集技法を学ぶ。
12	SNS 向け動画編集	短尺動画の編集、視聴率を高める工夫について学ぶ。
13	プロジェクト制作①（企画・撮影準備）	最終課題のターゲットを設定し、シナリオの作成及び撮影準備を行う。
14	プロジェクト制作②（撮影・編集）	第13回授業を踏まえ、最終課題の撮影・編集を行う。
15	プロジェクト制作③（編集・仕上げ）	第14回授業を踏まえ、最終課題の動画編集の仕上げを行う。

通信教育課程 メディア 科目				
ナンバリング	Ls1n259	ディプロマポリシー	DP1、 DP3、 DP4	
データサイエンス			履修年次	1 前
			単 位	2
Data Science			卒業要件	選択
			授業区分	専門科目
担当・シラバス執筆教員：沢田 史子		担当形態：単独	授業形態	講義
			授業方法	メディア（オンデマンド）
【実務経験との関連性】 情報通信・ソフトウェア企業にて情報技術者として勤務。				
【授業の概要】 現代社会の生活やビジネスシーンにおいて、データがどのように活用され、社会課題の解決に寄与しているかを理解する。授業の中で、データの正しい扱い方やビジネスへの応用など、実践的なスキルを身につけることを目指す。また、データの倫理的な扱いやプライバシー保護についても学び、データを活用する上での重要な知識を総合的に習得する。これにより、統計学の知見がない学生でもデータサイエンスの基礎をしっかりと理解し、実際のビジネスシーンで活用できる能力を養う。				
【授業の到達目標 及び テーマ】 ①データサイエンスの実社会での有用性を理解する。 ②グラフやデータの読み取り方や分析の手法を身につける。 ③プライバシーや倫理に配慮し、データを適切に扱うリテラシーを身につける。				
【成績評価】 課題の結果（70％）と、視聴状況および最終課題の提出（30％）を踏まえ、総合的な観点で評価する。				
【教科書】 『図解まるわかり データサイエンスのしくみ【参考文献】』（2022 年 増井敏克著 飛泳社） 【参考文献】 なし				
【アクティブラーニング】 各回の授業の指示に従い、積極的に取り組むこと。 【事前事後学習】 教科書・配布資料の該当部分の読み込み、各回で実施する確認テスト等の振り返りなど、予習や復習を行うこと。 【ICT の活用】 授業は全てWEB 上で行う。				
【備考】				

授業計画

回	テーマ	学習内容
1	データサイエンスとは	データサイエンスの基本概念を学ぶ
2	データの種類と収集方法	データの分類と収集手法を理解する
3	Excel の基本操作	エクセルの基本的な操作方法を習得する
4	エクセルでのデータ処理①	エクセルを使ったデータの整理方法を学ぶ
5	エクセルでのデータ処理② データの前処理	エクセルを使った2項目の整理と分析を学ぶ データクリーニングと準備の方法を学ぶ
6	データの可視化	データを視覚的に表現する方法を学ぶ
7	グラフの基礎	基本的なグラフの種類とその使い方を学ぶ
8	統計の基礎	基本的な統計概念とその応用を学ぶ
9	グラフの読み取り方	グラフから情報を正しく読み取る方法を学ぶ
10	ビジネスデータの分析	ビジネスにおけるデータ分析の実例を学ぶ
11	データの解釈と意思決定	データに基づく意思決定の方法を学ぶ
12	ケーススタディ	実社会でのデータ活用の成功事例を分析する
13	データ倫理とプライバシー	データの倫理的な扱いとプライバシー保護を学ぶ
14	AI とデータサイエンス	AI 技術とデータサイエンスの関係を学ぶ
15	AI 利活用の最新動向	現代社会で活用されているAI 技術について学ぶ。

通信教育課程 印刷教材 科目				
ナンバリング	Ls1n260	ディプロマポリシー	DP1、DP3、DP4	
IT と社会			履修年次	1 前
			単 位	2
IT and Modern Society			卒業要件	選択
			授業区分	専門科目
担当・シラバス執筆教員：沢田 史子		担当形態：単独	授業形態	講義
			授業方法	印刷教材
【実務経験との関連性】 情報通信・ソフトウェア企業にて情報技術者として勤務。				
【授業の概要】 IT について専門的に学んだことが無い学生を対象に、現代社会におけるデジタル技術や IT の役割とその影響を理解することを目的とする。AI、ロボティクス、ビッグデータ、ブロックチェーン、5G や 6G などの最新テクノロジーについて学び、これらがどのように社会課題の解決に寄与しているか、事例を交えて学習する。また、地方創生や教育分野などにおいて昨今のテクノロジーの活用方法についても取り上げる。デジタルやIT の基礎から最新技術まで幅広く学び、社会におけるIT 技術の重要性を理解することを目指す。				
【授業の到達目標 及び テーマ】 ①最新のデジタル・IT 技術のトレンドを理解し、教養として身に付ける。 ②事例研究を通して、IT によってどのように社会課題を解決できるかの視点を養う。				
【成績評価】 科目修得試験により評価する。				
【教科書】 『【図解】コレ1 枚でわかる最新IT トренд [改訂第5 版] (2024 年 斎藤 昌義 (著) 技術評論社) 【参考文献】 なし				
【アクティブラーニング】 【学習の手引き】における「より学びを深めるために」に主体的に取り組むこと。 【事前事後学習】 教科書の該当部分の読み込み、【学習の手引き】における「学習のポイント」の振り返りなど、予習や復習を行うこと。 【ICT の活用】 学習、科目修得試験は、すべてWEB 上で行う。				
【備考】				

授業計画

回	テーマ	学習内容
1	デジタルとIT	デジタルや IT の基本概念を学ぶ。
2	デジタル・トランスフォーメーション①	デジタル・トランスフォーメーション(DX)とは何かを理解する。
3	デジタル・トランスフォーメーション②	DX が必要とされている背景や期待される効果を学ぶ。
4	IoT (モノのインターネット)	IoT の仕組みと応用例を学ぶ。
5	AI の基礎	人工知能の基本原理と応用例を学ぶ。
6	生成AI	生成AI の基礎と活用方法や注意事項を学ぶ。
7	AI と人間の違い	AI でできることとできないことを理解する。
8	5G	次世代通信技術の特徴と可能性を学ぶ。
9	ブロックチェーン	分散型台帳技術の仕組みと応用を学ぶ。
10	WEB3	自律分散型社会の概念について理解する。
11	VR・AR	VR やAR などの技術について学ぶ。
12	メタバース	メタバースの技術やメタバース空間の可能性について学ぶ。
13	クラウドコンピューティング	クラウド技術の基本とその利点を理解する。
14	サイバーセキュリティ	インターネットの安全性とその対策を学ぶ。
15	IT 業界のトレンド	IT サービスの開発現場のトレンドについて学ぶ。

通信教育課程 メディア 科目				
ナンバリング	Ls1n261	ディプロマポリシー	DP1、DP3、DP4	
IT 戦略概論 I			履修年次	1 前
			単 位	2
IT Strategy I			卒業要件	選択
			授業区分	専門科目
担当・シラバス執筆教員：沢田 史子		担当形態：単独	授業形態	講義
			授業方法	メディア（オンデマンド）
【実務経験との関連性】 情報通信・ソフトウェア企業にて情報技術者として勤務。				
【授業の概要】 「IT 戦略概論 I」では、IT の基本概念と最新技術について幅広くカバーする。ビジネスシーンや実社会でIT が活用されている事例を取り上げ、分析することで、技術に関する知識と同時に論理的思考力や課題解決力の素地を養う。DX や生成 AI など、ビジネスシーンでトレンドとなっている事例を取り上げ、またその技術にも触れることで、ビジネスパーソンとしてはもちろん、生活者としても必要なIT リテラシーを身に付ける。また、社会課題へ目を向けることで、社会の構成員としての当事者意識を醸成することを目指す。				
【授業の到達目標 及び テーマ】 ①現在の生活やビジネスシーンで活用されているIT 技術のトレンドを理解する。 ②生活者やビジネスパーソンとしてのIT リテラシーを身につける。 ③事例研究を通した、論理的思考力や課題解決力の基礎を身につける。				
【成績評価】 課題の結果（70％）と、視聴状況および最終課題の提出（30％）を踏まえ、総合的な観点で評価する。				
【教科書】 『【図解】コレ1枚でわかる最新 IT トренд [改訂第5版] 』（2024 年 斎藤 昌義（著）技術評論社） 【参考文献】 なし				
【アクティブラーニング】 各回の授業の指示に従い、積極的に取り組むこと。 【事前事後学習】 教科書・配布資料の該当部分の読み込み、各回で実施する確認テスト等の振り返りなど、予習や復習を行うこと。 【ICT の活用】 授業は全てWEB 上で行う。				
[備考]				

授業計画

回	テーマ	学習内容
1	IT の歴史と現在	IT 技術の発展の歴史と、現代社会で活用されている基礎的なIT 技術について理解する。
2	最新技術の動向①	5G やIoT などの通信技術の基礎知識やその発展がもたらした効果について学ぶ。
3	最新技術の動向②	ビッグデータの活用やAI 技術の発展による社会への影響について学ぶ。
4	組織のIT 戦略	企業や自治体などの組織が目的を達成するためのIT 戦略について理解する。
5	ソリューションサービス	IT を活用した課題解決のサービスの種類について学ぶ。
6	デジタルトランスフォーメーション(DX)の基礎	デジタルトランスフォーメーション(DX)の基本的な概念を理解する。
7	DX 事例研究	DX の成功事例からビジネスシーンでのIT の活用方法の理解を深める。
8	広告とIT	IT 技術の発達によって広告のトレンド変化について学ぶ。
9	消費行動とIT	IT 技術の発達や広告手法の変化によってもたらされる消費者行動の変化について学ぶ。
10	観光とIT	IT を活用した、観光施策の事例について学ぶ。
11	インバウンドとIT	IT 技術の発展とインバウンド観光の関係について学ぶ。
12	地域の福祉とIT	IT を活用した、地域の医療・福祉の問題解決の事例について学ぶ。
13	地域創成創生とIT	IT を活用した、地域創成創生の事例について学ぶ。
14	教育とIT	教育分野におけるIT の活用事例や役割について学ぶ。
15	事例研究報告	これまでの事例研究をもとに、社会課題をリサーチし、関心のある現代社会の課題を取り上げて、IT を活用した解決策を考える。

通信教育課程 メディア 科目				
ナンバリング	Ls1n262	ディプロマポリシー	DP1、 DP3、 DP4	
IT 戦略概論Ⅱ			履修年次	1 後
			単 位	2
IT Strategy Ⅱ			卒業要件	選択
			授業区分	専門科目
担当・シラバス執筆教員：沢田 史子	担当形態：単独	授業形態	講義	
		授業方法	メディア（オンデマンド）	
【実務経験との関連性】 情報通信・ソフトウェア企業にて情報技術者として勤務。				
【授業の概要】 この科目では「IT 戦略概論Ⅰ」で学んだ内容や課題意識をさらに深め、実際に IT を活用した問題解決のプロセスを体験する。興味のある分野のテーマから、問題発見の方法から、データやリサーチをもとにユーザーの行動を分析する手法、解決策に落とし込む際の戦略の立て方まで一気通貫で学ぶ。また、要件定義やプロジェクトマネジメントの方法についても押さえることで、IT 業界で必要とされる知識も同時に習得する。IT 業界はもちろん、幅広い業界で必要とされる論理的思考力や課題解決能力、IT 技術へのリテラシーを高めることを目的とする。				
【授業の到達目標 及び テーマ】 ①IT 業界のサービス開発プロセスを理解する。 ②データやリサーチの基づいたサービス開発の手法を学ぶことで、ユーザー起点の開発の重要性を理解する。 ③問題解決から企画提案のプロセスを学ぶことで、論理的思考力や課題解決能力を高める。				
【成績評価】 課題の結果（70％）と、視聴状況および最終課題の提出（30％）を踏まえ、総合的な観点で評価する。				
【教科書】 『【令和8年度】 いちばんやさしい ITパスポート 絶対合格の教科書＋出る順問題集』（2025 年 高橋京介著、SBクリエイティブ） 【参考文献】 なし				
【アクティブラーニング】 各回の授業の指示に従い、積極的に取り組むこと。 【事前事後学習】 教科書・配布資料の該当部分の読み込み、各回で実施する確認テスト等の振り返りなど、予習や復習を行うこと。 【ICT の活用】 授業は全てWEB 上で行う。				
【備考】				

授業計画

回	テーマ	学習内容
1	問題発見のプロセス	フレームワークを活用した問題発見のプロセスについて学ぶ。
2	優先順位のプロセス	解決すべき問題の優先順位のつけ方のプロセスを学ぶ。
3	ユーザー行動分析	サービスを利用するユーザーの行動を分析する手法について学ぶ。
4	データ分析	データを活用した分析の手法について学ぶ。
5	アイデア発想法	問題解決策のアイデアを生み出す手法について学ぶ。
6	業務改善のプロセス	業務プロセスの分析と改善のための手法を学ぶ。
7	サービス開発	アイデアをもとにしたサービス開発の手法について学ぶ。
8	UX 設計	ユーザーがサービスを使うときのストーリーを分析し設計する方法を学ぶ。
9	要件定義	サービス開発のための必要な要素を洗い出す方法について学ぶ。
10	戦略設計	サービスが広く利用されるための戦略の立て方を学ぶ。
11	プロジェクトマネジメントの基礎①	マネジメントとは何かについて学ぶ。
12	プロジェクトマネジメントの基礎②	プロジェクトを管理する手法について学ぶ。
13	プロジェクトマネジメントの基礎③	組織マネジメントの手法について学ぶ。
14	企画書の作成	問題発見、解決策立案、戦略設計、プロジェクト計画などを企画書にまとめる方法について学ぶ。
15	企画書の提案	簡潔でわかりやすいプレゼンテーションの方法や心構えについて学ぶ。

通信教育課程 印刷教材 科目				
ナンバリング	Ls2n263	ディプロマポリシー	DP1、DP3、DP4	
情報化技術Ⅰ			履修年次	2前
			単 位	2
Information Processing Ⅰ			卒業要件	選択
			授業区分	専門科目
担当・シラバス執筆教員：沢田 史子		担当形態：単独	授業形態	講義
			授業方法	印刷教材
【実務経験との関連性】 情報通信・ソフトウェア企業にて情報技術者として勤務。				
【授業の概要】 「情報化技術Ⅰ・Ⅱ」では、生活やビジネスを支えるIT に関する基本的な知識を身につけることを目的とする。この科目ではコンピュータやソフトウェア、ネットワークなど、社会生活のインフラとなっている基礎技術の知識を身につける。また、データベースや近年注目されているビッグデータの活用手段についても学ぶ。この科目を通して、IT 業界はもちろん、広くビジネスシーンでの業務課題の解決のベースとなる力を備えることを目指す。				
【授業の到達目標 及び テーマ】 ①生活者やビジネスパーソンとして、日々活用するIT 技術の基礎知識を身につける。 ②IT 業界で働く、もしくはIT 業界の人と働くことを想定したIT リテラシーを身につける。				
【成績評価】 科目修得試験により評価する。				
【教科書】 『キタミ式イラストIT 塾 IT パスポート 令和07 年』（2024 年 きたみりゅうじ 技術評論社） 【参考文献】 なし				
【アクティブラーニング】 【学習の手引き】における「より学びを深めるために」に主体的に取り組むこと。 【事前事後学習】 教科書の該当部分の読み込み、【学習の手引き】における「学習のポイント」の振り返りなど、予習や復習を行うこと。 【ICT の活用】 学習、科目修得試験は、すべてWEB 上で行う。				
[備考]				

授業計画

回	テーマ	学習内容
1	コンピュータの基礎	コンピュータの基本構造と動作原理を学ぶ。
2	周辺デバイス	コンピュータの流出力を拡張するデバイスについて学ぶ。
3	デジタルデータの表し方	2進法の考え方やデータ量の単位について学ぶ。
4	文字や画像の表現	文字や画像のデジタルデータでの表現について学ぶ。
5	ファイルとディレクトリ	ファイルやディレクトリの基礎について学ぶ。
6	ハードディスク	ハードディスクの構造と記録方法について学ぶ。
7	OS とアプリケーション	OS の役割やアプリケーション、ソフトウェアの基礎知識を学ぶ。
8	表計算ソフト①	表の構成や表計算ソフトの基本的な使い方について学ぶ。
9	表計算ソフト②	表計算ソフトの基本的な関数の使い方について学ぶ。
10	データベース①	データベースの役割や基本知識を学ぶ。
11	データベース②	データベースの活用方法や思考法について学ぶ。
12	ビッグデータと人工知能	ビッグデータの活用方法と人工知能との関係性について学ぶ。
13	ネットワーク①	ネットワークの仕組みと基本的な技術について学ぶ。
14	ネットワーク②	ネットワークを構成する装置などについて学ぶ。
15	ネットワーク③	ネットワークを活用したサービスについて学ぶ。

通信教育課程 印刷教材 科目				
ナンバリング	Ls2n264	ディプロマポリシー	DP1、DP3、DP4	
情報化技術Ⅱ			履修年次	2後
			単 位	2
Information Processing Ⅱ			卒業要件	選択
			授業区分	専門科目
担当・シラバス執筆教員：沢田 史子		担当形態：単独	授業形態	講義
			授業方法	印刷教材
【実務経験との関連性】 情報通信・ソフトウェア企業にて情報技術者として勤務。				
【授業の概要】 「情報化技術Ⅰ」で学んだIT に関する基礎的な知識に加え、セキュリティやシステム開発の流れやプログラミングなど、より専門的な内容を学ぶことで、IT 業界や、IT 業界と関わりながら働くために必要な知識を身につける。また、IT に関する知識に留まらず、企業活動や経営に関する知識も網羅することで、広く情報化社会で生活する上で、実用的な知識を身につけ、活用できることを目的にする。				
【授業の到達目標 及び テーマ】 ①情報化社会において広く活用できるIT の技術に関する知識や、業務プロセスの知識を身につける。 ②IT 業界やその他の企業で働く際の、業務課題に対して、IT を活用して解決できる方法を考える観点を養う。				
【成績評価】 科目修得試験により評価する。				
【教科書】 『キタミ式イラストIT 塾 IT パスポート 令和07 年』（2024 年 きたみりゅうじ 技術評論社） 【参考文献】 なし				
【アクティブラーニング】 【学習の手引き】における「より学びを深めるために」に主体的に取り組むこと。 【事前事後学習】 教科書の該当部分の読み込み、【学習の手引き】における「学習のポイント」の振り返りなど、予習や復習を行うこと。 【ICT の活用】 学習、科目修得試験は、すべてWEB 上で行う。				
【備考】				

授業計画

回	テーマ	学習内容
1	セキュリティ①	ネットワークを利用する上での危険性について学ぶ。
2	セキュリティ②	コンピュータウィルスの脅威とその対策について学ぶ。
3	セキュリティ③	暗号化技術について学ぶ。
4	システム開発①	システム開発の流れや手法について学ぶ。
5	システム開発②	ユーザーインターフェースの考え方について学ぶ。 コード設計やテストについて学ぶ。
6	プロジェクトマネジメント	プロジェクト管理の基本概念と手法を学ぶ
7	プログラムの作り方①	プログラミングの言語について学ぶ。
8	プログラムの作り方②	プログラムを制御するアルゴリズムの基礎について学ぶ。
9	プログラムの作り方③	データの持ち方や代表的なアルゴリズムについて学ぶ。
10	システム構成①	システムが社会で円滑に実装される仕組みや技術について学ぶ。
11	システム構成②	システムを安定的に動かす仕組みやバックアップについて学ぶ。
12	企業活動	企業の活動目的や組織戦略について学ぶ。
13	関連法規	著作権法や労働基準法、サイバーセキュリティ基本法などについて学ぶ。
14	業務改善	PDCA やパレート図などのビジネスフレームワークを活用した業務改善について学ぶ。
15	財務会計	費用と利益など、財務諸表の見方について学ぶ。

通信教育課程 メディア 科目				
ナンバリング	Ls1n265	ディプロマポリシー	DP1、DP3、DP4	
WEB 開発 I			履修年次	1 前
			単 位	2
Web Development I			卒業要件	選択
			授業区分	専門科目
担当・シラバス執筆教員：木村 俊一	担当形態：単独	授業形態	講義	
		授業方法	メディア（オンデマンド）	
【実務経験との関連性】 精密機器企業にて技術開発者の責任者として勤務。				
【授業の概要】 この科目では、WEB 開発の基礎を学ぶ。プログラミングの初心者でもわかるように、WEB サイトの基本的な構造や概念とHTMLとCSS の役割を理解する。その後は実際に HTML とCSS のコーディングを行いつつ基本操作とスタイリング技術を学び、レイアウトやデザインの応用を通じて、実際のホームページを作成するための素地を養う。また、フォントや書式の変更や背景色の設定、アニメーションの実装など、視覚的に魅力的なWEB サイトを作成する技術を学ぶ。				
【授業の到達目標 及び テーマ】 ①WEB サービスやホームページがどのように構成・設計されているかを理解する。 ②HTML とCSS の言語の特徴や基礎を理解し、簡単なコーディングが書けるようにする。				
【成績評価】 課題の結果（70％）と、視聴状況および最終課題の提出（30％）を踏まえ、総合的な観点で評価する。				
【教科書】 『1冊ですべて身につくHTML&CSSとWebデザイン入門講座【第2版】』（2024 年 Mana著、SCクリエイティブ）				
【参考文献】 なし				
【アクティブラーニング】 各回の授業の指示に従い、積極的に取り組むこと。				
【事前事後学習】 教科書・配布資料の該当部分の読み込み、各回で実施する確認テスト等の振り返りなど、予習や復習を行うこと。				
【ICT の活用】 授業は全てWEB 上で行う。				
[備考]				

授業計画

回	テーマ	学習内容
1	WEB の基礎とHTML/CSS の役割	WEB サイトの基礎知識とHTML とCSS の役割を学ぶ。
2	開発環境の設定	コーディングのための開発環境を設定する。
3	ホームページの基本構造	ホームページの基本的な構造を理解する。
4	HTML の基礎	HTML の構造と基本的なタグの使い方を理解する。
5	段落、見出し、リスト	見出しやリストなどの効果的な使い方を学ぶ。
6	ハイパーリンクと画像の挿入	リンクの設定と画像の挿入方法について学ぶ。
7	テーブルの作成	テーブルの作成方法を学ぶ。
8	フォームの基礎	入力フォームを作成する方法を学ぶ。
9	CSS の基礎	CSS の基本概念とスタイルシートのリンク方法、基本的なセレクタの使い方を理解する。
10	セレクタとプロパティ	HTML に要素を与えるセレクタとプロパティの概念や種類について学ぶ。
11	CSS を活用したスタイリング①	色と背景の設定方法について学ぶ。
12	CSS を活用したスタイリング②	フォントやテキストのスタイリングを学ぶ。
13	CSS を活用したレイアウト	CSS のボックスモデル（マージン、パディング、ボーダー、コンテンツ）の概念を学ぶ。
14	クラスとID	クラスとIDを使った指定方法を学ぶ。
15	CSS アニメーション	CSS を使ったアニメーションの基本を学ぶ。

通信教育課程 メディア 科目				
ナンバリング	Ls1n266	ディプロマポリシー	DP1、DP3、DP4	
WEB 開発Ⅱ			履修年次	1 前
			単 位	2
Web Development Ⅱ			卒業要件	選択
			授業区分	専門科目
担当・シラバス執筆教員：木村 俊一		担当形態：単独	授業形態	講義
			授業方法	メディア（オンデマンド）
【実務経験との関連性】 精密機器企業にて技術開発者の責任者として勤務。				
【授業の概要】 「WEB 開発Ⅰ」で学んだHTML とCSS の技術を活かして、実際のWEB サイトを制作し、ポートフォリオを作る。ホームページを作るための流れを丁寧に説明することで、学生は着実にWEB サイト制作のスキルを身につける。また、コーディングのスキルだけでなく、ユーザーに見てもらうためのブランディングやコンテンツ制作の基礎についても学び、同時にレスポンシブデザインの知識や、UI やUX の視点も養うことで、ユーザー目線でのWEB サイト制作ができる知識を身につける。				
【授業の到達目標 及び テーマ】 ①ユーザー視点でのWEB 開発ができるための考え方を身につける。 ②WEB サイトのUI やUX の事例を学び、仕組みや考え方を理解することができる。 ③HTML とCSS の仕組みを理解する。				
【成績評価】 課題の結果（70％）と、視聴状況および最終課題の提出（30％）を踏まえ、総合的な観点で評価する。				
【教科書】 『1冊ですべて身につくHTML&CSSとWebデザイン入門講座【第2版】』（2024 年 Mana 著、SCクリエイティブ） 『【第2版】いちばんよくわかるWebデザインの基本きちんと入門 レイアウト／配色／写真／タイポグラフィ／最新テクニック』（2024 年 伊藤 圭平・益子貴寛・久保知己・宮田優希・伊藤由暁著、SBクリエイティブ） 【参考文献】 なし				
【アクティブラーニング】 各回の授業の指示に従い、積極的に取り組むこと。				
【事前事後学習】 教科書・配布資料の該当部分の読み込み、各回で実施する確認テスト等の振り返りなど、予習や復習を行うこと。				
【ICT の活用】 授業は全てWEB 上で行う。				
【備考】				

授業計画

回	テーマ	学習内容
1	目的とターゲット	WEB サイトの目的とサイトを見てくれるターゲットに応じた設計手法を学ぶ。 ユーザーインターフェース (UI) とユーザーエクスペリエンス (UX) の概念について学ぶ。
2	定義	ホームページに掲載するコンテンツや機能の基本について学ぶ。 レスポンシブデザインとモバイルフレンドリーの概念を理解する。
3	コンテンツ企画	効果的なコンテンツの作り方やユーザーに伝わるデザインの作り方について学ぶ。
4	画像・動画制作基礎	素材の集め方や画像や動画を挿入する際の最適化の方法について学ぶ。
5	ワイヤーフレーム	基本のワイヤーフレームを活用してホームページの構成を作成する方法を学ぶ。
6	ホームページブランディング	ホームページのブランディングに合わせた配色やレイアウトの設計方法を学ぶ。
7	ライティング技術	SEO を意識した文章構成や表現について学ぶ。
8	タイポグラフィ	書体の基礎知識とWEBフォントについて学ぶ。
9	コーディング①	ワイヤーフレームに沿ってコーディングをするための基礎を学ぶ。
10	コーディング②	CSS を活用したレイアウトや、適切なマージンの設定、FlexBoxについて学ぶ。
11	コーディング③	機能や目的に合わせ、UI やUX を意識した高度なCSS スタイリングの方法、CSS Gridやアニメーションについて学ぶ。
12	コーディング④	レスポンシブデザインのコーディングについて学ぶ。
13	コーディング⑤	よく起こるエラーの対処方法について学ぶ。
14	ポートフォリオ①	Webサイトを作る。 その1
15	ポートフォリオ②	Webサイトを作る。 その2

通信教育課程 メディア 科目				
ナンバリング	Ls1n267	ディプロマポリシー	DP1、DP3、DP4	
プログラミング基礎Ⅰ			履修年次	1 後
			単 位	2
Introduction to Programming Ⅰ			卒業要件	選択
			授業区分	専門科目
担当・シラバス執筆教員：木村 俊一	担当形態：単独	授業形態	講義	
		授業方法	メディア（オンデマンド）	
【実務経験との関連性】 精密機器企業にて技術開発者の責任者として勤務。				
【授業の概要】 「プログラミング基礎Ⅰ」では、普段人々が生活で使用するWEB サービスやアプリケーションがどのような仕組みやプログラムで稼働しているかを学ぶ。プログラミング言語としては、広く社会で活用されているJava を取り上げる。授業を通して、Java がどのような言語であるかを学びつつ、プログラミングの流れを理解する。まずはプログラミングの基礎的な要素である変数やデータ型、演算子の概念を押さえ、if 文や switch 文といった基本的な構文を学ぶ。この科目を通じて、初めてプログラミングに触れる人でも、基礎をしっかりと身につけ、論理的思考力の向上を目指す。				
【授業の到達目標 及び テーマ】 ①WEB サービスやシステム、アプリケーションが動くために必要であるプログラムの概念について理解できる。 ②プログラミングの目的や基本的な要素を理解できる。 ③Java の基本的な構文について理解できる。				
【成績評価】 課題の結果（70％）と、視聴状況および最終課題の提出（30％）を踏まえ、総合的な観点で評価する。				
【教科書】 『Java[完全]入門』（2024 年 松浦健一郎・司ゆき著、SBクリエイティブ）				
【参考文献】 なし				
【アクティブラーニング】 各回の授業の指示に従い、積極的に取り組むこと。				
【事前事後学習】 教科書・配布資料の該当部分の読み込み、各回で実施する確認テスト等の振り返りなど、予習や復習を行うこと。				
【ICT の活用】 授業は全てWEB 上で行う。				
[備考]				

授業計画

回	テーマ	学習内容
1	プログラミング概要	プログラミング言語の基礎について学ぶ。
2	開発環境構築	プログラミングに必要な環境を構築する。
3	記述ルール／開発環境での操作方法	クラスの作成、ソースコードの記述、コメントなど、基本的な操作方法について学ぶ。
4	Java 概要①	Java の特徴やできることなどの基礎概念について学ぶ。
5	Java 概要②	標準出力、リテラル、エスケープシーケンスなど、Java で作業する際に必要な基礎知識について学ぶ。
6	型と変数①	変数と型の概念について理解する。
7	型と変数②	代入演算子、変数の初期化について学ぶ。
8	演算子①	演算子・文字列結合・インクリメント・デクリメントなどの概念について学ぶ。
9	演算子②	演算子の優先順位について学ぶ。
10	演算子③	データ型を変換する操作であるキャストについて学ぶ。
11	標準入力	プログラムが外部からデータを受け取るための標準入力について学ぶ。
12	条件分岐①	プログラミングにおいて重要な条件分岐の考え方と、関係演算子・if 文について学ぶ。
13	条件分岐②	if 文の派生文について学ぶ。
14	条件分岐③	論理演算子とswitch 文について学ぶ。
15	条件分岐④	if 文とswitch 文の使い分けについて学ぶ。

通信教育課程 メディア 科目				
ナンバリング	Ls1n268	ディプロマポリシー	DP1、DP3、DP4	
プログラミング基礎Ⅱ			履修年次	1 後
			単 位	2
Introduction to Programming Ⅱ			卒業要件	選択
			授業区分	専門科目
担当・シラバス執筆教員：木村 俊一		担当形態：単独	授業形態	講義
			授業方法	メディア（オンデマンド）
【実務経験との関連性】 精密機器企業にて技術開発者の責任者として勤務。				
【授業の概要】 「プログラミング基礎Ⅱ」では、「プログラミング基礎Ⅰ」で学んだ内容の延長として、Java の基本的な構文や技術を学びつつ、徐々に応用的な技術に発展させていくことで、プログラミングスキルと論理的思考力の更なる向上を図る。また、コーディング規約の概念とデバッグについて学習することで、開発現場で重視されるプログラミングの作法とその重要性を理解し、プログラムの品質を向上させるために押さえておくポイントを学ぶ。				
【授業の到達目標 及び テーマ】 ①Java の基本的な構文を学ぶことで、書かれているコードの理解ができる。 ②複雑なデータ処理の効果的な方法を論理的に考え、表現することができる。 ③再利用性やコードの可読性を意識したプログラミングの重要性を理解する。				
【成績評価】 課題の結果（70％）と、視聴状況および最終課題の提出（30％）を踏まえ、総合的な観点で評価する。				
【教科書】 『Java[完全]入門』（2024 年 松浦健一郎・司ゆき著、SBクリエイティブ）				
【参考文献】 なし				
【アクティブラーニング】 各回の授業の指示に従い、積極的に取り組むこと。				
【事前事後学習】 教科書・配布資料の該当部分の読み込み、各回で実施する確認テスト等の振り返りなど、予習や復習を行うこと。				
【ICT の活用】 授業は全てWEB 上で行う。				
[備考]				

授業計画

回	テーマ	学習内容
1	反復構造①	特定の処理を繰り返し実行する反復構造とfor 文について学ぶ。
2	反復構造②	while 文の基本とfor 文との違いについて学ぶ。
3	反復構造③	do～while 文について学ぶ。
4	反復構造④	switch 文、break 文について学ぶ。
5	反復構造⑤	continue 文について学ぶ。
6	ネスト①	複雑な論理構造を処理するためのネストの概念や使い方、注意点を学ぶ。
7	ネスト②	ネストを活用した条件分岐や反復構造の処理について学ぶ。
8	配列①	複数のデータや値を効率よく処理するための配列の基本概念について学ぶ。
9	配列②	配列を効果的に活用するためのfor 文の使い方を学ぶ。
10	配列③	配列の長さ、配列の参照など、発展的な概念について学ぶ。
11	配列④	拡張for 文の使い方やfor 文との違いについて学ぶ。
12	配列⑤	より複雑なデータ構造を処理する多次元配列について学ぶ。
13	コーディング規約	実際の開発現場で重視されるコーディング規約の考え方と重要性について学ぶ。
14	デバッグ①	プログラム内のエラーや不具合を特定して、修正するデバッグの手順について学ぶ。
15	デバッグ②	コーディング規約とデバッグの関係性について学ぶ。

通信教育課程 メディア 科目			
ナンバリング	Ls2n269	ディプロマポリシー	DP1、DP3、DP4
プログラミング応用 I		履修年次	2 前
		単 位	2
Advanced Programming I		卒業要件	選択
		授業区分	専門科目
担当・シラバス執筆教員：木村 俊一	担当形態：単独	授業形態	講義
		授業方法	メディア（オンデマンド）
【実務経験との関連性】 精密機器企業にて技術開発者の責任者として勤務。			
【授業の概要】 「プログラミング応用 I」では、「プログラミング基礎 I・II」で学んだ内容をもとに、効率的なプログラム設計を可能にする、オブジェクト指向の考え方について学ぶ。メソッドの処理やクラスの構造について段階的に学び、オブジェクト指向のメリットを理解するとともにJava プログラミングの知識を深める。また、オブジェクト指向の要素を押さえることで、世の中で使用されているその他のオブジェクト指向プログラミング言語への理解を早め、汎用的なスキルとして知識を身につけることを目指す。			
【授業の到達目標 及び テーマ】 ①オブジェクト指向プログラミングの基本概念を理解する。 ②オブジェクト指向に基づいた、保守性や再利用性を意識したプログラム設計の考え方を理解できる。 ③プログラミング学習を通して、問題解決のための論理的思考力を身につける。			
【成績評価】 課題の結果（70％）と、視聴状況および最終課題の提出（30％）を踏まえ、総合的な観点で評価する。			
【教科書】 適宜講義資料を配布 【参考文献】 なし			
【アクティブラーニング】 各回の授業の指示に従い、積極的に取り組むこと。 【事前事後学習】 教科書・配布資料の該当部分の読み込み、各回で実施する確認テスト等の振り返りなど、予習や復習を行うこと。 【ICT の活用】 授業は全てWEB 上で行う。			
[備考]			

授業計画

回	テーマ	学習内容
1	オブジェクト指向の概要	オブジェクト指向の概念や、それを構成するクラスやオブジェクトなどの基本概念について学ぶ。
2	オブジェクト指向の3 大要素	3 大要素(カプセル化、継承、ポリモーフィズム)について学ぶ。
3	クラス	設計図クラスを構成する属性と操作について理解する。
4	メソッド①	プログラムの動作を記述するメソッドの概要について学ぶ。
5	メソッド②	引数や戻り値がないシンプルなメソッドの処理について学ぶ。
6	メソッド③	引数や戻り値がある場合の複雑なメソッドの処理について学ぶ。
7	インスタンス化	クラスをもとにオブジェクトを作成するインスタンス化について学ぶ。
8	カプセル化①	カプセル化を実現するクラスの問題と構造について学ぶ。
9	カプセル化②	カプセル化を実現するために必要な、アクセス修飾子やセッター、ゲッターの概念や使い方について学ぶ。
10	参照型の値	参照型の値や参照型の引数戻り値について学ぶ。
11	オーバーロード	効率よくメソッドを使用するためのオーバーロードの概要について学ぶ。
12	コンストラクタ①	コードの品質と保守性を高めるコンストラクタの概要やメリットについて学ぶ。
13	コンストラクタ②	コンストラクタへのオーバーロードの適用方法について学ぶ。
14	Static 修飾子	static 変数やメソッドについて学ぶ。
15	クラスメンバ	クラスメンバの概要について学ぶ。

通信教育課程 メディア 科目				
ナンバリング	Ls2n270	ディプロマポリシー	DP1、 DP3、 DP4	
プログラミング応用Ⅱ			履修年次	2前
			単 位	2
Advanced Programming Ⅱ			卒業要件	選択
			授業区分	専門科目
担当・シラバス執筆教員：木村 俊一	担当形態：単独	授業形態	講義	
		授業方法	メディア（オンデマンド）	
【実務経験との関連性】 精密機器企業にて技術開発者の責任者として勤務。				
【授業の概要】 「プログラミング応用Ⅱ」では、オブジェクト指向プログラミングのさらに高度なスキルを身につける。継承や抽象クラス、インターフェイスなどの技術や概念について丁寧に解説し、演習することで、コードの再利用性や保守性、機能の拡張性を高めるスキルを身につける。また、プログラムの実行中に発生する不具合である例外とその処理についても学び、信頼性のあるプログラムを書くための知識を身につける。この科目を通じて、より実用性のあるプログラムを構想する論理的思考力を養う。				
【授業の到達目標 及び テーマ】 ①オブジェクト指向の要素を押さえつつ、コードの再利用性・保守性・拡張性を意識したプログラミングを設計する方法を理解する。 ②適切な例外処理の基礎知識を学び、コードの信頼性に対する重要性を理解する。 ③プログラミング学習を通して、問題解決のための論理的思考力を身につける。				
【成績評価】 課題の結果（70％）と、視聴状況および最終課題の提出（30％）を踏まえ、総合的な観点で評価する。				
【教科書】 適宜講義資料を配布 【参考文献】 なし				
【アクティブラーニング】 各回の授業の指示に従い、積極的に取り組むこと。 【事前事後学習】 教科書・配布資料の該当部分の読み込み、各回で実施する確認テスト等の振り返りなど、予習や復習を行うこと。 【ICT の活用】 授業は全てWEB 上で行う。				
【備考】				

授業計画

回	テーマ	学習内容
1	継承①	継承の概要や適切な使用場面について学ぶ。
2	継承②	継承の基本構文を学ぶ。
3	継承③	オーバーライドの方法について学ぶ。
4	継承④	継承クラスでのコンストラクタの扱い方法を学ぶ。
5	抽象クラス①	継承の応用的な使い方として、抽象クラスの概要について学ぶ。
6	抽象クラス②	抽象クラスを活用した効果的な継承の手法について学ぶ。
7	定数	定数の宣言や処理について学ぶ。
8	インターフェイス①	抽象クラスとインターフェイスの違いと適切な使用状況について学ぶ。
9	インターフェイス②	インターフェイスを活用した多重継承の方法について学ぶ。
10	例外①	例外についての概要について学ぶ。
11	例外②	例外処理の基本的な構文について学ぶ。
12	例外③	throws とthrow の使い分けについて学ぶ。
13	例外④	独自例外の設計について学ぶ。
14	ライブラリ	ライブラリの概要と代表的なライブラリについて学ぶ。
15	フレームワーク	フレームワークの概要と代表的なフレームワークについて学ぶ。

通信教育課程		印刷教材		科目	
ナンバリング	Ls2n271		ディプロマポリシー	DP1、DP3、DP4	
IT 開発プロジェクト I				履修年次	2前
				単 位	2
IT Development Project I				卒業要件	選択
				授業区分	専門科目
担当・シラバス執筆教員：木村 俊一		担当形態：単独		授業形態	講義
				授業方法	印刷教材
【実務経験との関連性】 精密機器企業にて技術開発者の責任者として勤務。					
【授業の概要】 この科目では、これまで身につけたIT の知識や論理的思考力を活かした、サービス開発のプロセスについて学習する。学習を進める上では、IT 技術の専門知識を活用するだけでなく、人間中心主義的なデザイン思考を取り入れることによって、ユーザー起点で課題解決をするための考え方を身につける。また、解決策の立案だけでなく、その裏付けとなるユーザー調査の方法やそれを効果的に他者に伝えるための手法も取り上げる。この科目を通して、IT 業界でのサービス開発に限らず、広くビジネスシーンで活用できる課題解決の思考プロセスを身につける。					
【授業の到達目標 及び テーマ】 ①人間中心的なサービス開発の考え方を理解する。 ②サービス開発に活かすためのユーザー調査やアイデア発散の手法について理解する。 ③専門的な技術や概念をわかりやすく伝えるための手法や心構えを身につける。					
【成績評価】 科目修得試験により評価する。					
【教科書】 『情報デザインの教室 仕事を変える、社会を変える、これからのデザインアプローチと手法』（2010 年 情報デザインフォーラム（編集）、山崎 和彦（編集）、浅野 智（編集）） 【参考文献】 なし					
【アクティブラーニング】 【学習の手引き】における「より学びを深めるために」に主体的に取り組むこと。 【事前事後学習】 教科書の該当部分の読み込み、【学習の手引き】における「学習のポイント」の振り返りなど、予習や復習を行うこと。 【ICT の活用】 学習、科目修得試験は、すべてWEB 上で行う。					
【備考】					

授業計画

回	テーマ	学習内容
1	情報デザインについて	人間中心的な情報デザインの考え方を身につける。
2	情報デザインの活用方法	情報デザインの考え方をプロダクトに反映する方法を学ぶ。
3	社会と情報デザイン	社会における情報デザインに関する役割について学ぶ。
4	組織開発と情報デザイン	組織開発や商品開発における情報デザインの考え方について学ぶ。
5	デザイン思考	デザイン思考について学ぶ。
6	デザインプロセス	情報デザインの考え方をういた企画を形にするプロセスについて学ぶ。
7	ユーザー調査	定量調査や定性調査など、ユーザー調査の手法を学ぶ。
8	インタビュー手法	デプスインタビューの方法について学ぶ。
9	コンセプト立案	コンセプトを作るための情報デザインの手法を学ぶ。
10	ペルソナ手法	コンセプトを磨くための手法としてのペルソナ手法を学ぶ。
11	発想法	発想力を鍛える手法について学ぶ。
12	視覚化の為の手法	企画をユーザーや他者に提案する際に有効な視覚化の手法を学ぶ。
13	プロトタイピング	プロトタイピングの手法について学ぶ。
14	デザイン評価	コンセプトを客観的に評価する方法を学ぶ。
15	ワークショップ事例	情報デザインが活用された事例について学ぶ。

通信教育課程 メディア 科目			
ナンバリング	Ls2n272	ディプロマポリシー	DP1、DP3、DP4
IT 開発プロジェクトⅡ			履修年次
			2後
IT Development ProjectⅡ			単 位
			2
			卒業要件
			選択
担当・シラバス執筆教員：木村 俊一			授業区分
			専門科目
担当形態：単独		授業形態	講義
		授業方法	メディア（オンデマンド）
【実務経験との関連性】 精密機器企業にて技術開発者の責任者として勤務。			
【授業の概要】 この科目では「IT 開発プロジェクトⅠ」で学んだ、人間中心的な情報デザインの考え方を活かしつつ、仮想クライアントからの課題解決依頼に基づき、サービス開発のプロセス全体を体験する。 クライアントの課題の深掘りと特定から、ユーザー調査の設計、サービスコンセプトの作成と立証のプロセスを経て、企画書と要件定義の作成・提案までを実施することを想定して行う。この授業を通して、IT に関する専門的な知識をもって、社会課題をユーザー起点で解決する課題解決力と論理的思考力、提案力を身につける。			
【授業の到達目標 及び テーマ】 ①IT 技術を活用した課題解決のプロセスを理解する。 ②ユーザー起点で物事を考える思考法を身につける。 ③課題の特定や解決策立案に対するアプローチ方法を学び、論理的思考力を高める。			
【成績評価】 課題の結果（70％）と、視聴状況および最終課題の提出（30％）を踏まえ、総合的な観点で評価する。			
【教科書】 『情報デザインの教室 仕事を変える、社会を変える、これからのデザインアプローチと手法』（2010 年 情報デザインフォーラム（編集）、山崎 和彦（編集）、浅野 智（編集）） 【参考文献】 なし			
【アクティブラーニング】 各回の授業の指示に従い、積極的に取り組むこと。 【事前事後学習】 教科書・配布資料の該当部分の読み込み、各回で実施する確認テスト等の振り返りなど、予習や復習を行うこと。 【ICT の活用】 授業は全てWEB 上で行う。			
【備考】			

授業計画

回	テーマ	学習内容
1	課題発見の方法	クライアントの課題を深掘りし、特定する方法を学ぶ。
2	情報デザインの課題解決への活用	特定した課題を解決するためのアプローチとして、人間中心的思考方を活用する方法を学ぶ。
3	ユーザー調査の計画	定量調査や定性調査など、必要な情報を集めるための調査方法を検討する。
4	インタビューの設計	定量情報を得るためのデプスインタビューを設計する。
5	ペルソナの構築	調査をもとに価値を届けるユーザー像をペルソナとして構築する。
6	解決策の立案	課題仮説に基づいてアイデアを発散・収束させる方法を学ぶ。
7	情報デザインのプロダクトへの反映	人間中心的な視点からユーザーが使用している様子を想像し、サービスに反映する方法を学ぶ。
8	コンセプトの視覚化	サービスの提供価値を伝えるためのコンセプトの視覚化の手法を学ぶ。
9	提案書の作成①	クライアント課題の定義と課題解決後の理想的な状態を設定する。
10	提案書の作成②	必要な情報を整理し、構造化・ビジュアル化する方法を学ぶ。
11	インフォグラフィックス	クライアントに効果的に情報を伝えるインフォグラフィックスの作成方法を学ぶ。
12	プロトタイピングの実施	サービスコンセプトがクライアントの課題の解決に結びつくかを実証するためのプロトタイピングの実施方法について学ぶ。
13	要件定義書の作成①	システムやサービスが実現すべき機能を具体的に挙げる。
14	要件定義書の作成②	技術的な制約を検証し、サービスに必要な機能や性能を定義して、まとめる。
15	クライアント提案	企画書や要件定義書をもとにクライアントにわかりやすく伝える方法を学ぶ。

通信教育課程 メディア 科目			
ナンバリング	Ls2n273	ディプロマポリシー	DP1、DP2、DP3、DP4
デュアル実習			履修年次
			2通
Dual training			単 位
			2
			卒業要件
			選択
担当・シラバス執筆教員：伊藤 敏孝/木村 俊一			授業区分
			専門科目
担当形態：複数		授業形態	実習
		授業方法	メディア（リアルタイム）
【実務経験との関連性】 なし			
【授業の概要】 総合研究科目として、これまでの学習を踏まえた企業等での実習を行い、より実践的な知識やスキルを習得する。実習先は、受講学生のアルバイト先や職場とする。実習に向けて課題を設定し、解決策を考案・実行するプロセスを体験することで、問題解決能力や業務改善スキルを養う。また、報告発表会や振り返りを通じて、経験を体系化し、新たな視点で自身のキャリアを見直すことができる。この科目を通じて、学びと実務の相乗効果を最大化し、現場で即戦力として活躍できるスキルと知見を深めることを目指す。			
【授業の到達目標 及び テーマ】 ① 学習した知識や理論を実務の場で活用し、実践的なスキルを習得する。 ② 実習や実習報告会発表会での学びを踏まえて、今後のキャリアプランに活かすことができる。			
【成績評価】 授業で実施する課題などの結果（50％）および授業態度と演習での参加の積極性（50％）を踏まえ、総合的な観点で評価する。 ※デュアル実習を合計18 時間以上行った学生を成績評価の対象とする。			
【教科書】 適宜講義資料を配布 【参考文献】 なし			
【アクティブラーニング】 開講時期及び受講学生の学習進度に合わせて、グループワーク、プレゼンテーションなどを取り入れる。 【事前事後学習】 各回の授業の指示に従い、事前事後学習に取り組むこと。 【ICT の活用】 事前事後指導や課題作成は、すべてWEB 上で行う。			
【備考】 ・事前事後指導はZoom 等の同時双方向 Web 会議システムでの面接にて行う。 ・実習先は学生の勤務先とする（正規非正規は問わず、また複数の勤務先は不可）。			

授業計画

回	テーマ	学習内容
1	【事前指導①】オリエンテーション	デュアル実習の目的や進め方、報告発表会の概要について理解する。
2	【事前指導②】実習計画の策定	実習の課題を明確にし、目標達成のための行動計画を立案する。立案後はグループで行動計画をシェアする。
3	デュアル実習①	事前指導で計画した行動計画を踏まえ、実習に臨む。
4	デュアル実習②	デュアル実習①を踏まえ、実習に臨む。
5	デュアル実習③	デュアル実習②を踏まえ、実習に臨む。
6	デュアル実習④	デュアル実習③を踏まえ、実習に臨む。
7	デュアル実習⑤	デュアル実習④を踏まえ、実習に臨む。
8	デュアル実習⑥	デュアル実習⑤を踏まえ、実習に臨む。
9	デュアル実習⑦	デュアル実習⑥を踏まえ、実習に臨む。
10	デュアル実習⑧	デュアル実習⑦を踏まえ、実習に臨む。
11	デュアル実習⑨	デュアル実習⑧を踏まえ、実習に臨む。
12	【事後指導①】デュアル実習振り返り	デュアル実習を振り返り、実習報告発表会に向けた準備を行う。
13	【事後指導②】実習報告発表会①	グループに分かれて実習報告発表会を行う。
14	【事後指導③】実習報告発表会②	第13回授業に続けて、グループで実習報告発表会を行う。
15	【事後指導④】実習報告発表会振り返り	実習報告発表会を通して学んだことを整理し、今後のキャリアプランを検討する。

通信教育課程 メディア 科目				
ナンバリング	Ls2n274	ディプロマポリシー	DP1、DP2、DP3、DP4	
プレゼンテーション演習			履修年次	2通
			単 位	2
Presentation exercises			卒業要件	選択
			授業区分	専門科目
担当・シラバス執筆教員：入門 貴男/傳法谷 郁乃/谷津 智美	担当形態：複数	授業形態	演習	
		授業方法	メディア（オンデマンド・リアルタイム）	
【実務経験との関連性】 なし				
【授業の概要】 総合研究科目として、自身が学んできた内容をもとにテーマを設定し、プレゼンテーションを行う。プレゼンテーションスキルの向上を最たる目的とし、資料構成、デザイン性、配色、話し方や表現の仕方、「間」の取り方などを養う。また、事後指導でのグループ発表を通して、受講者同士での学び合いは勿論のこと、プレゼンテーションにおける自身の強みと課題の整理を行うこととする。この科目を通じて、専門的な知識を効果的に伝える力と自己表現の自信を身につけ、実社会での活用を目指す。				
【授業の到達目標 及び テーマ】 ① 資料作成や話し方の技術を向上させ、論理的で説得力のある発表ができる。 ② 視覚的要素（デザイン・配色）や非言語的要素（声のトーン・間の取り方）を活用し、相手に伝わるプレゼンを行うことができる。 ③ グループ発表を通して、プレゼンテーションにおける自身の強みと課題を整理することができる。				
【成績評価】 授業で実施する課題などの結果（50%）および授業態度と演習での参加の積極性（50%）を踏まえ、総合的な観点で評価する。				
【教科書】 適宜講義資料を配布 【参考文献】 なし				
【アクティブラーニング】 開講時期及び受講学生の学習進度に合わせて、グループワーク、プレゼンテーションなどを取り入れる。 【事前事後学習】 各回の授業の指示に従い、事前事後学習に取り組むこと。 【ICT の活用】 授業はすべてWEB 上で行う。				
【備考】 ・事前事後指導はZoom 等の同時双方向 Web 会議システムでの面接にて行う。 ・履修者をグルーピングし、グループごとに事後指導の受講日を分けて実施する。				

授業計画

回	テーマ	学習内容
1	【リアルタイム①：事前指導①】 オリエンテーション	本授業の目的と学習の進め方を理解する。また論理的なプレゼンテーションの構成の組み立てを学ぶ。
2	【リアルタイム②：事前指導②】 プレゼンテーション実践練習	グループに分かれて、プレゼンテーション実践練習を行う。
3	【オンデマンド①】 PowerPoint の基本操作	スライド設定や編集、他のソフトで作成したファイルを取り込む方法を学ぶ。
4	【オンデマンド②】 視覚資料の作成（構成編）	スライドの基本的な構成を学び、情報を整理し、わかりやすい資料を作成する方法を学ぶ。
5	【オンデマンド③】 視覚資料の作成（デザイン編）	配色やフォント、図表の活用方法を学び、視覚的に伝わりやすいデザインを学ぶ。
6	【オンデマンド④】 話し方と表現の工夫	声のトーンや抑揚、ジェスチャー、間の取り方を意識した話し方を学ぶ。
7	【オンデマンド⑤】 説得力を高める技法	共感を得るストーリーテリングやデータの効果的な活用方法を学ぶ。
8	【オンデマンド⑥】 発表会準備①（発表内容検討・作成）	発表会に向けて、発表内容の検討及びスライド作成を行う。
9	【オンデマンド⑦】 発表会準備②（スライド作成）	第8 回授業を踏まえて、スライド作成を進める。
10	【オンデマンド⑧】 発表会準備③（スライド作成）	第9 回授業を踏まえて、スライド作成を完成させる。
11	【オンデマンド⑨】 発表会準備④（リハーサルと最終調整）	発表会に向けてリハーサルを行い、当日に向けた手直しを行う。
12	【リアルタイム③：事後指導①】 発表会①	グループ内で発表を行う。
13	【リアルタイム④：事後指導②】 発表会②	第12 回授業に続けて、グループ内で発表を行う。
14	【リアルタイム⑤：事後指導③】 発表会③	第13 回授業に続けて、グループ内で発表を行う。
15	【リアルタイム⑥：事後指導④】 発表会④、全体振り返り	第14 回授業に続けて、グループ内で発表を行う。発表終了後、自身とグループメンバーの発表を振り返り、プレゼンテーションにおける自身の強みや今後の課題を整理する。

通信教育課程 メディア 科目				
ナンバリング	Ls2n275	ディプロマポリシー	DP1、 DP2、 DP3、 DP4	
卒業研究発表			履修年次	2通
			単 位	2
Graduation research presentation			卒業要件	選択
			授業区分	専門科目
担当・シラバス執筆教員：沢田 史子/小祝 慶紀/ 市川 千尋/間野 百子/伊奈川 秀和		担当形態：複数	授業形態	演習
			授業方法	メディア（リアルタイム）
【実務経験との関連性】 なし				
【授業の概要】 総合研究科目として、各自がこれまでに取り組んだ学びを基に研究課題を設定し、研究及び発表を行う。学生はこれまで習得した知識やスキルを活用し、独自のテーマに基づいた研究成果を導き出す力を養う。そして、研究内容の整理と多様な視点、論理性、仮説と検証を踏まえて、プレゼンテーション、論文、動画や作品など何らかの方法で研究成果を発表する。また、発表後の質疑応答やディスカッションを通じて、他者の視点や意見を取り入れ、自身の研究をより深める機会を提供する。この科目を通じて、学びの成果を形にし、卒業後のキャリアや実社会で役立つ応用力と表現力を培うことを目指す。				
【授業の到達目標 及び テーマ】 ①研究テーマに関する専門的な知識を理解・習得し、その内容を他者に伝えることができる。 ②自らが設定した研究テーマに興味・関心を持ち、意欲的に取り組むことができる。 ③研究テーマに関する文献・資料を収集・整理し、その情報を自身の意見や主張を述べるために活用することができる。				
【成績評価】 授業で実施する課題などの結果（50％）および授業態度と演習での参加の積極性（50％）を踏まえ、総合的な観点で評価する。				
【教科書】 適宜講義資料を配布 【参考文献】 なし				
【アクティブラーニング】 開講時期及び受講学生の学習進度に合わせて、グループワーク、プレゼンテーションなどを取り入れる。 【事前事後学習】 各回の授業の指示に従い、事前事後学習に取り組むこと。 【ICT の活用】 授業はすべてWEB 上で行う。				
〔備考〕 ・Zoom 等の同時双方向 Web 会議システムでの面接にて行う。 ・事前指導から事後指導までの間で、担当教員ごとに計9 回ゼミを開催する。				

授業計画

回	テーマ	学習内容
1	【事前指導①】オリエンテーション①	卒業研究発表の目的や進め方、研究の基本を理解する。
2	【事前指導②】オリエンテーション②	ゼミごとにグループに分かれ、互いの研究計画案を発表する。また今後のスケジュールを確認する。
3	【ゼミ①】研究計画検討	担当教員のフィードバックをもとに、研究計画をブラッシュアップする。
4	【ゼミ②】研究計画確定	第3 回授業を踏まえて、研究計画を確定させる。
5	【ゼミ③】先行研究の整理と分析	先行研究の整理と分析の方法を学ぶ。
6	【ゼミ④】研究の方法とプロセスの整理	研究方法とプロセスの整理の仕方について学ぶ。
7	【ゼミ⑤】進捗確認①	卒業研究の進捗を報告し、指導教員よりフィードバックを受ける。
8	【ゼミ⑥】進捗確認②	卒業研究の進捗を報告し、指導教員よりフィードバックを受ける。 ※第7 回授業を踏まえて実施する。
9	【ゼミ⑦】中間発表	現時点の卒業研究成果を発表し、指導教員よりフィードバックを受ける。
10	【ゼミ⑧】進捗確認③	卒業研究の進捗を報告し、指導教員よりフィードバックを受ける。 ※第9 回授業を踏まえて実施する。
11	【ゼミ⑨】最終調整と発表準備	研究内容を最終確認し、発表の流れや話し方、伝え方のブラッシュアップを行う。必要に応じて、適宜指導教員よりフィードバックを受ける。
12	【事後指導①】卒業研究発表会①	ゼミ内で発表を行う。
13	【事後指導②】卒業研究発表会②	第12 回授業に続けて、ゼミ内で発表を行う。
14	【事後指導③】卒業研究発表会③	第13 回授業に続けて、ゼミ内で発表を行う。
15	【事後指導④】卒業研究発表会④、全体振り返り	第14 回授業に続けて、ゼミ内で発表を行う。発表会終了後、卒業研究発表全体を通した振り返りを行う。